
日吉津村
むらづくりのための村民アンケート調査
報告書

令和7（2025）年3月
鳥取県 日吉津村

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 職業	4
4 通勤先又は通学先	5
5 居住歴	7
III 調査結果	8
【1】日吉津村の住みやすさなどについて	8
1 日吉津村のイメージ	8
2 日吉津村への愛着度	23
3 住みやすさ	25
4 永住意向	27
5 住み続けたい理由	29
6 住み続けたくない理由	31
【2】これからのむらづくりについて	32
1 人権尊重のむらづくりを実現するために力を入れるべきこと	32
2 子育てしやすい村にするために力を入れるべきこと	34
3 質の高い教育環境をつくるために力を入れるべきこと	36
4 二酸化炭素の排出抑制を進めるために力を入れるべきこと	38
5 自然災害による被害を防ぐ取組として力を入れるべきこと	40
6 健康づくりを推進するために力を入れるべきこと	42
7 地域福祉を推進するために力を入れるべきこと	44
8 移住支援や定住促進を進めるために力を入れるべきこと	46
9 むらづくりに参画・協働していくために力を入れるべきこと	48
10 幸福度	50
【3】むらづくりの満足度と重要度について	52
1 各施策の満足度と重要度	52
【4】自由記述回答集約結果	62
資料 調査票	73

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「日吉津村総合計画」の見直しにあたって、日吉津村のむらづくりに関する現状やニーズ等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査設計】

調査地域：日吉津村全域

調査対象：18 歳以上の村民（住民基本台帳による無作為抽出）

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査時期：令和 7（2025）年 2 月

【回収結果】

配布数 ----- 800 件

有効回収数 ----- 329 件

有効回収率 ----- 41.1%

【報告書の見方について】

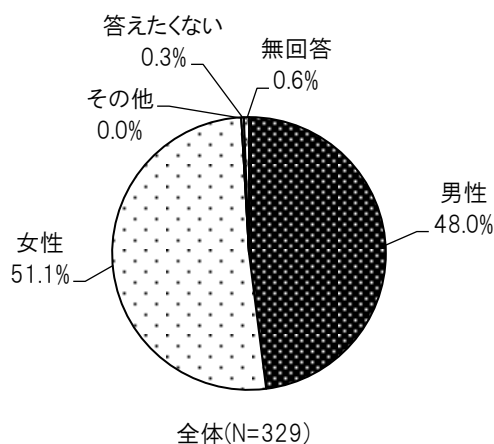
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、令和2年に実施した前回調査との比較を行っている(時系列比較)。その際、図表等の表記は令和2年の調査を「前回調査(R2)」、令和7年の調査を「今回調査(R7)」と略記している。
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）
（回答は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が48.0%、「女性」が51.1%と、ほぼ同割合となっている。

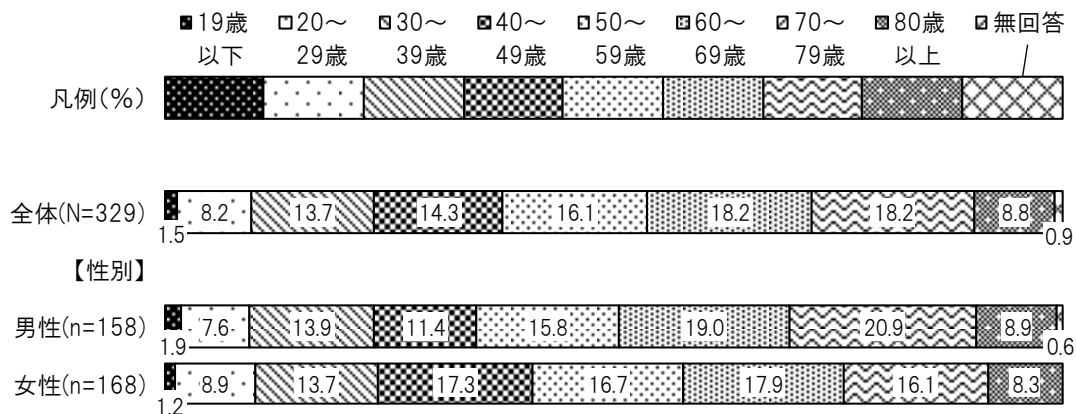


2 年齢

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

年齢別構成は、「60～69 歳」「70～79 歳」の割合が18.2%と最も高く、次いで「50～59 歳」（16.1%）、「40～49 歳」（14.3%）が続いている。

性別では、男性は女性に比べて「70～79 歳」の割合が高く、女性は「40～49 歳」の割合が男性を上回っている。

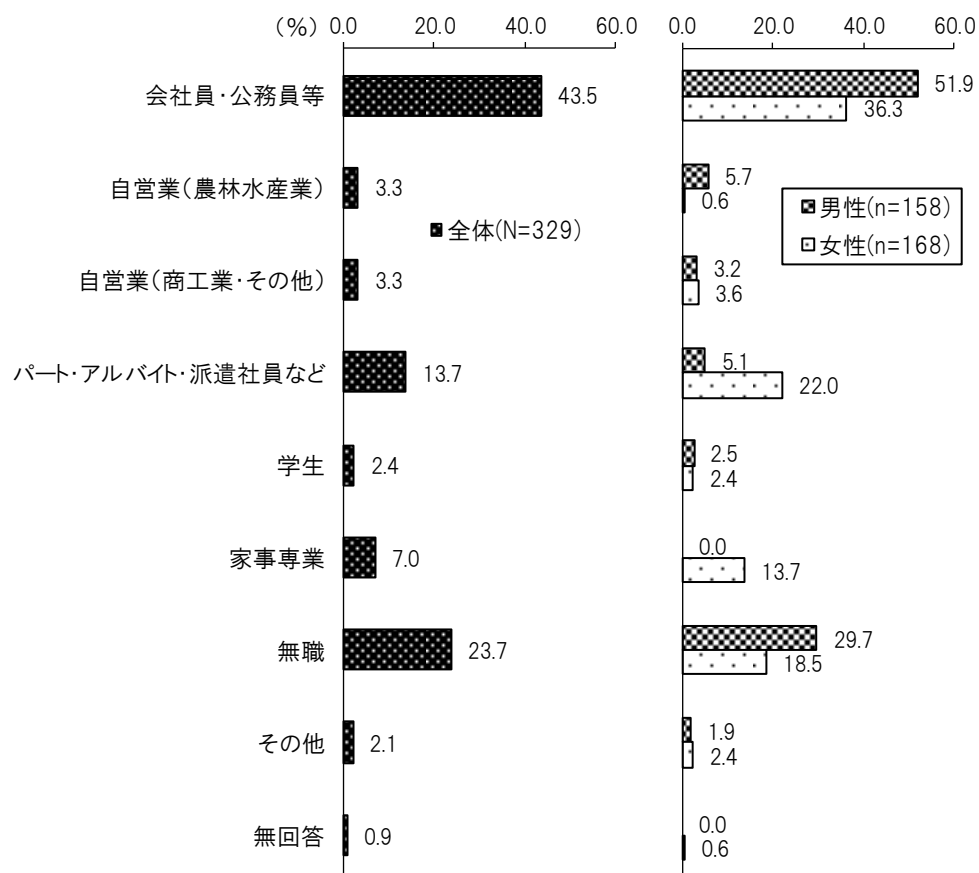


3 職業

問4 あなたの主たる職業をお答えください。（回答は1つ）

職業については、「会社員・公務員等」の割合が43.5%と最も高く、次いで「無職」(23.7%)、「パート・アルバイト・派遣社員など」(13.7%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「会社員・公務員等」「無職」の割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣社員など」「家事専業」の割合が男性を上回っている。

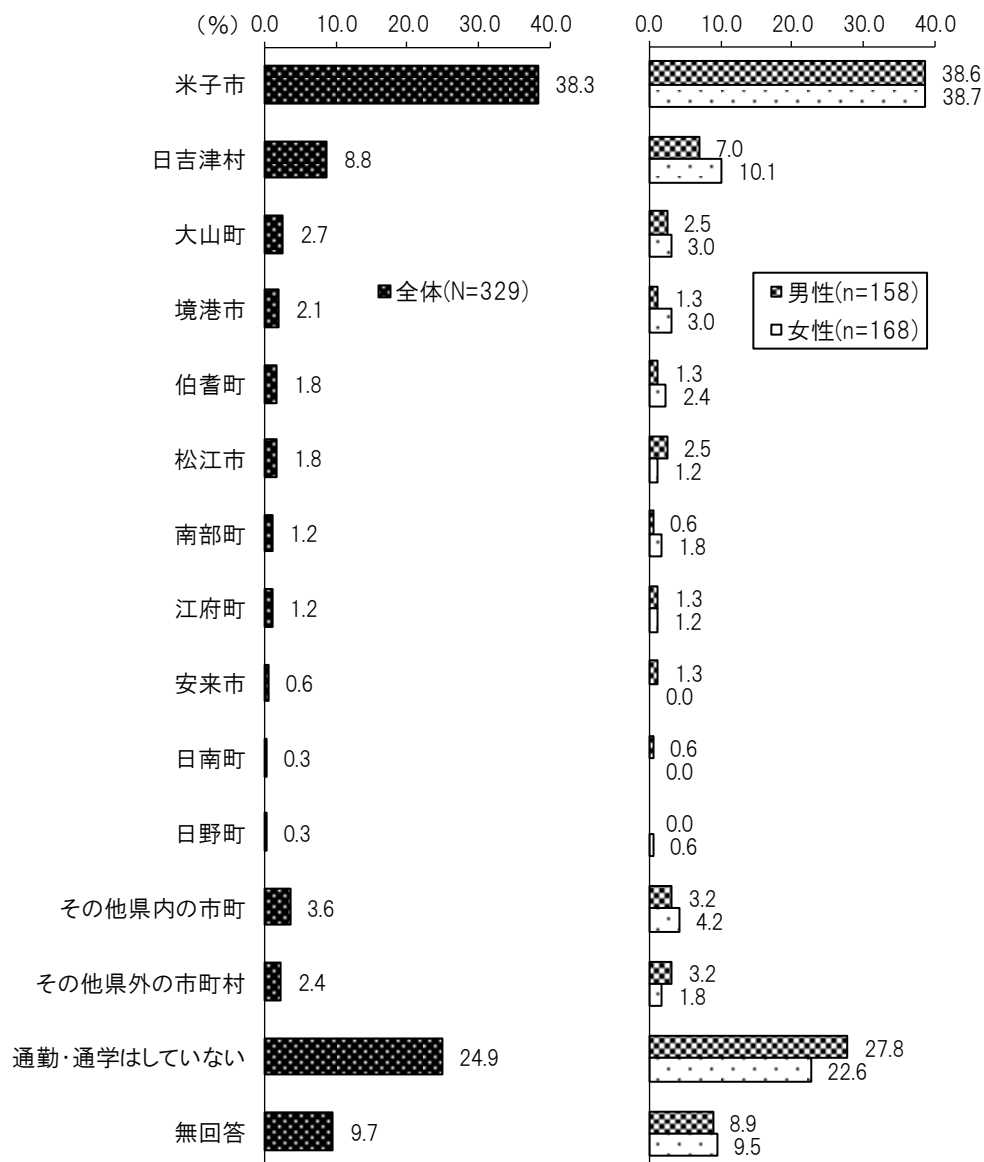


4 通勤先又は通学先

問5 あなたの通勤先又は通学先はどこですか。（回答は1つ）

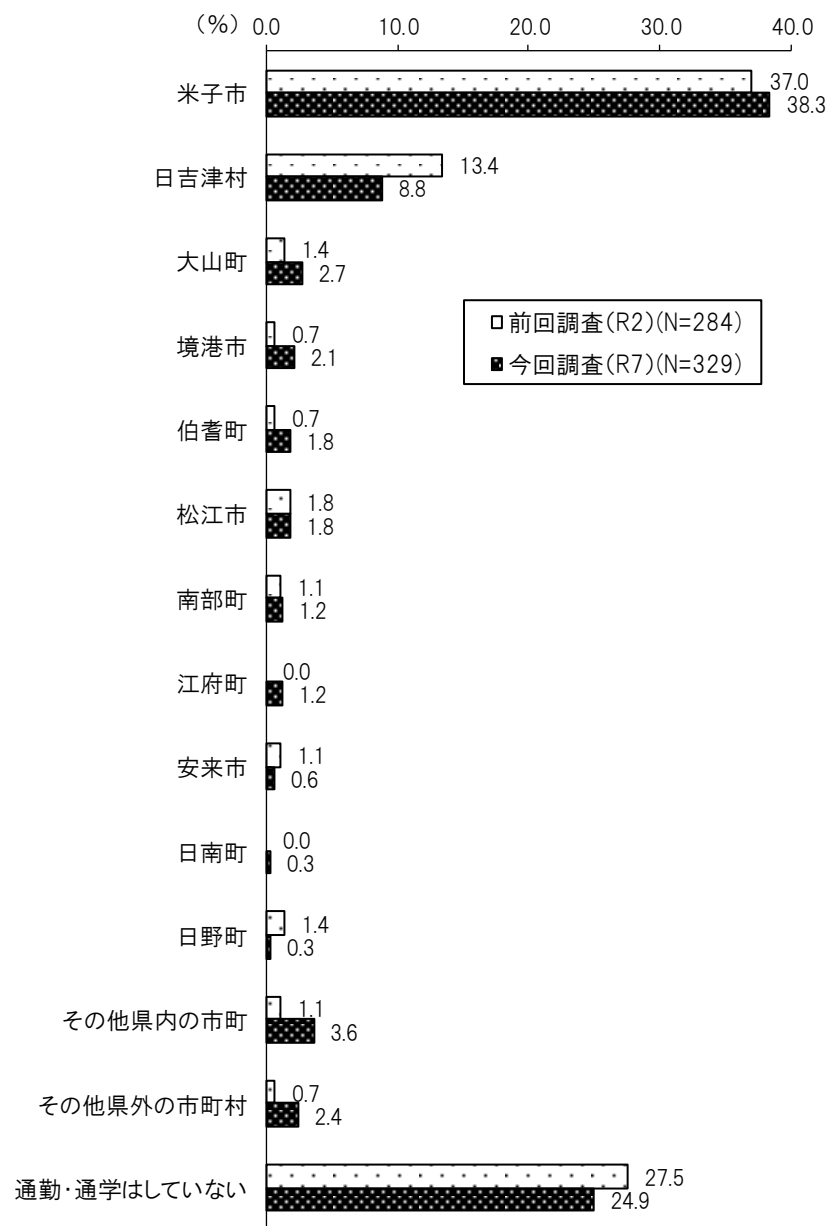
通勤先又は通学先については、「米子市」の割合が38.3%と最も高く、次いで「日吉津村」（8.8%）、「大山町」（2.7%）、「境港市」（2.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「通勤・通学はしていない」の割合が高く、女性は「日吉津村」の割合が男性をやや上回っている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ「日吉津村」が減少している。

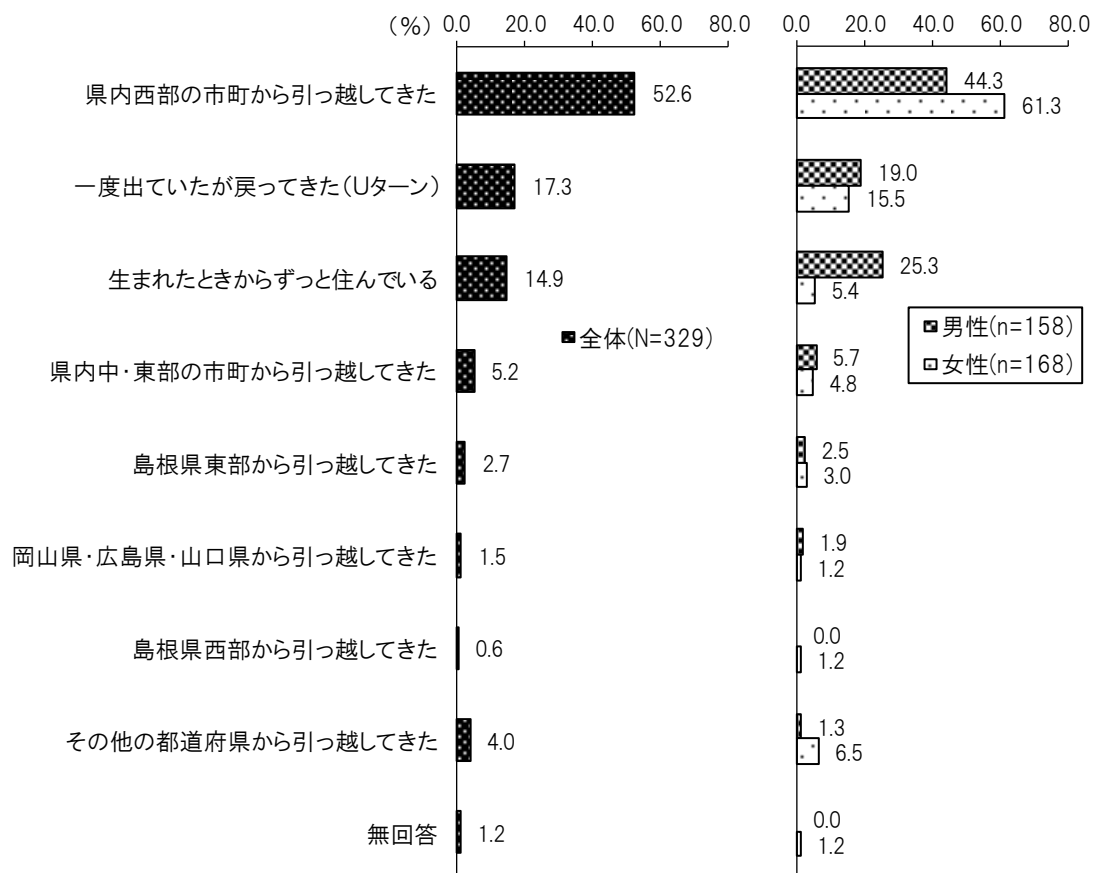


5 居住歴

問6 あなたは、生まれたときからずっと日吉津村に住んでいますか。（回答は1つ）

居住歴については、「県内西部の市町から引っ越してきた」の割合が52.6%と最も高く、次いで「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」（17.3%）、「生まれたときからずっと住んでいる」（14.9%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が高く、女性は「県内西部の市町から引っ越してきた」の割合が男性を上回っている。



Ⅲ 調査結果

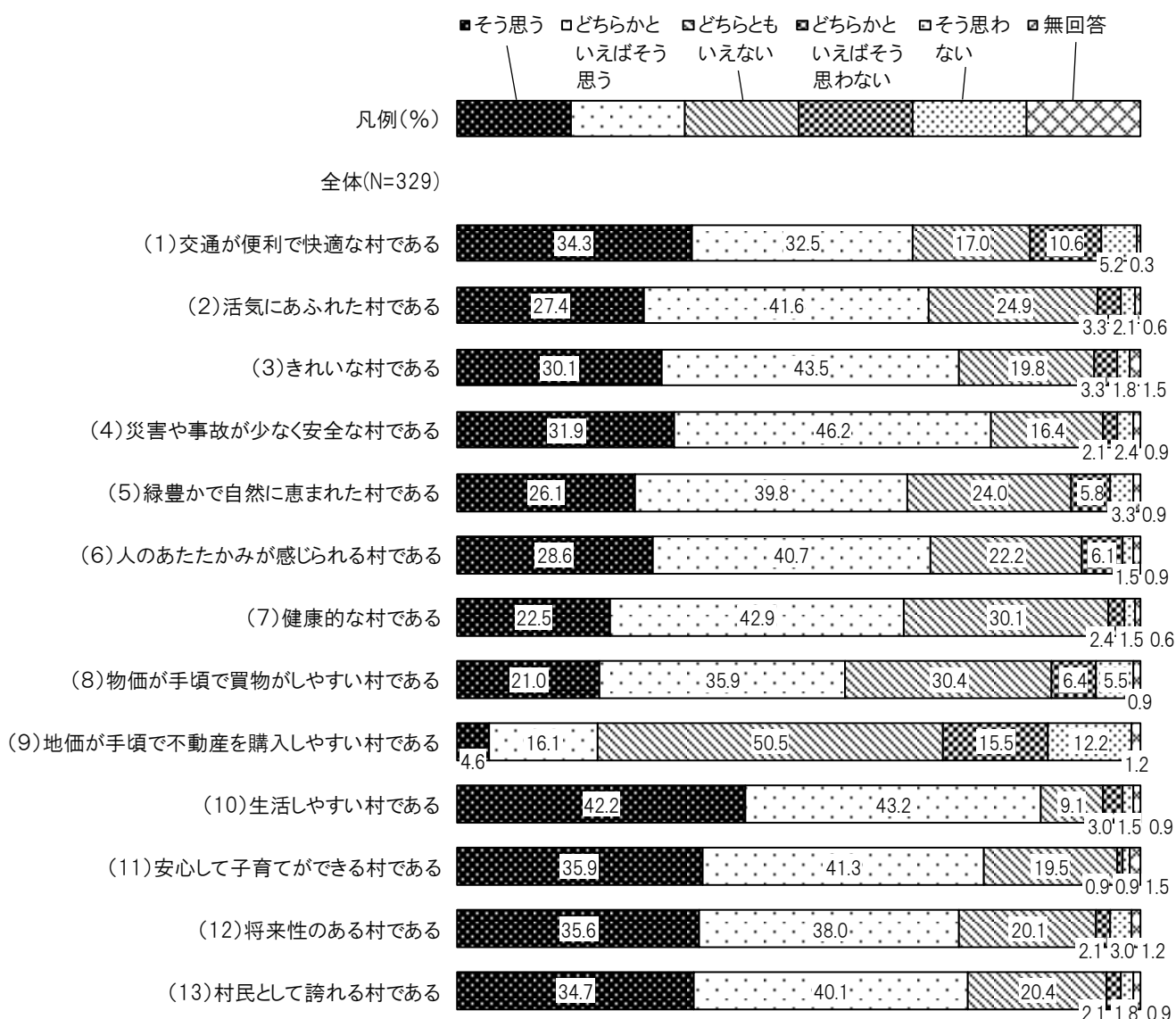
【1】日吉津村の住みやすさなどについて

1 日吉津村のイメージ

問7 あなたは、日吉津村のイメージについてどのように感じていますか。(1)から(13)までの項目について、それぞれお答えください。(回答は1つずつ)

日吉津村のイメージについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計割合が高い順に「(10) 生活しやすい村である」(85.4%)、「(4) 災害や事故が少なく安全な村である」(78.1%)、「(11) 安心して子育てができる村である」(77.2%)、「(13) 村民として誇れる村である」(74.8%)となっている。

一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計割合が高い順に「(9) 地価が手頃で不動産を購入しやすい村である」(27.7%)、「(1) 交通が便利で快適な村である」(15.8%)、「(8) 物価が手頃で買物がしやすい村である」(11.9%)となっている。



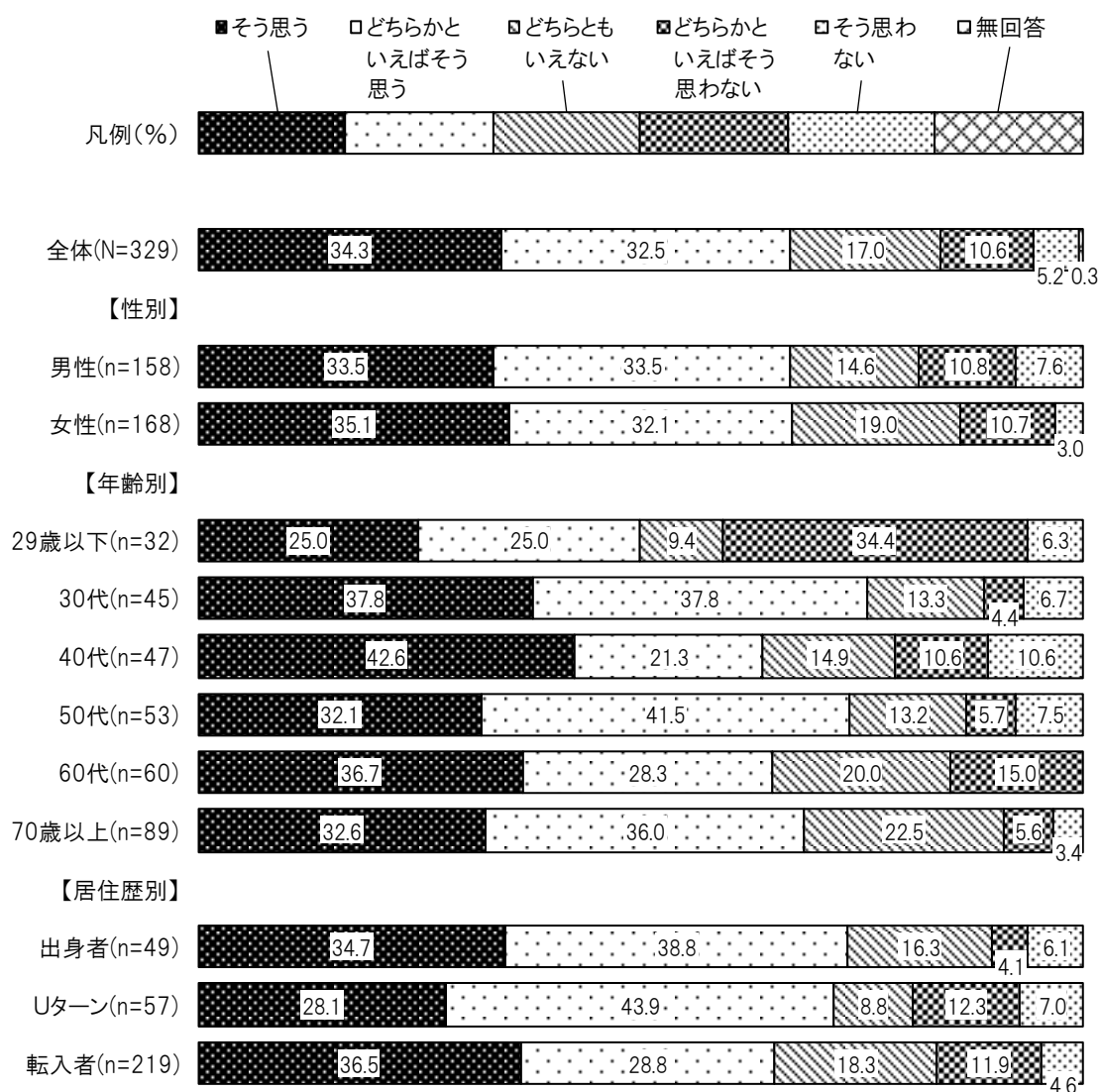
(1) 交通が便利で快適な村である

「交通が便利で快適な村である」については、『そう思う（合計）』が 66.8%、『そう思わない（合計）』が 15.8%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「そう思わない」の割合がやや高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性をやや上回っている。

年齢別では、30代や50代で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高く、29歳以下で「どちらかといえばそう思わない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別（問6）でみると、Uターンや転入者で『そう思わない（合計）』の割合が他の層に比べて高くなっている。



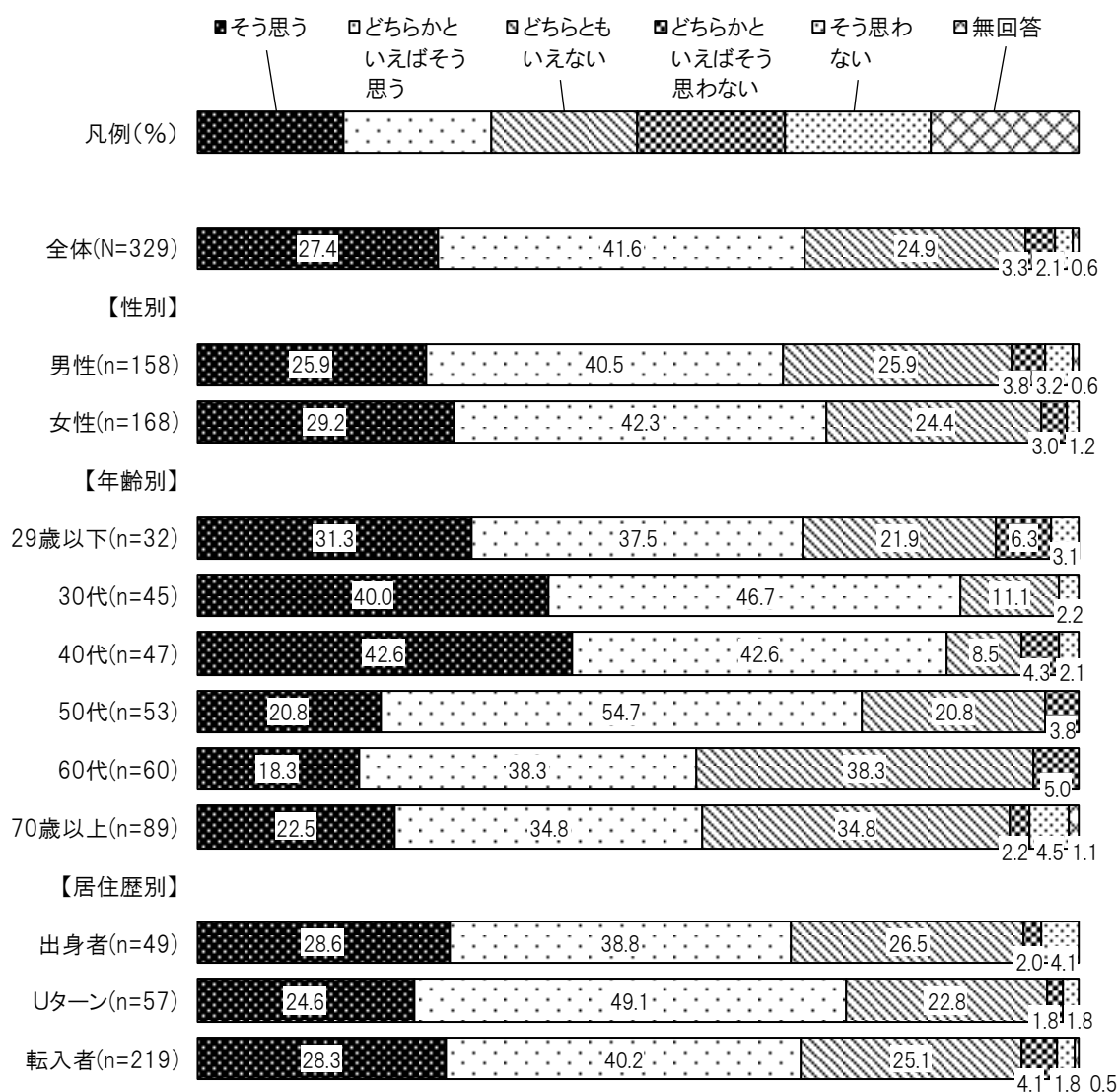
(2) 活気にあふれた村である

「活気にあふれた村である」については、『そう思う（合計）』が 69.0%、『そう思わない（合計）』が 5.4%となっている。

性別では、女性は男性に比べて『そう思う（合計）』の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40 代で『そう思う（合計）』、60 代以上で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、Uターンで『そう思う（合計）』の割合が他の層に比べて高くなっている。



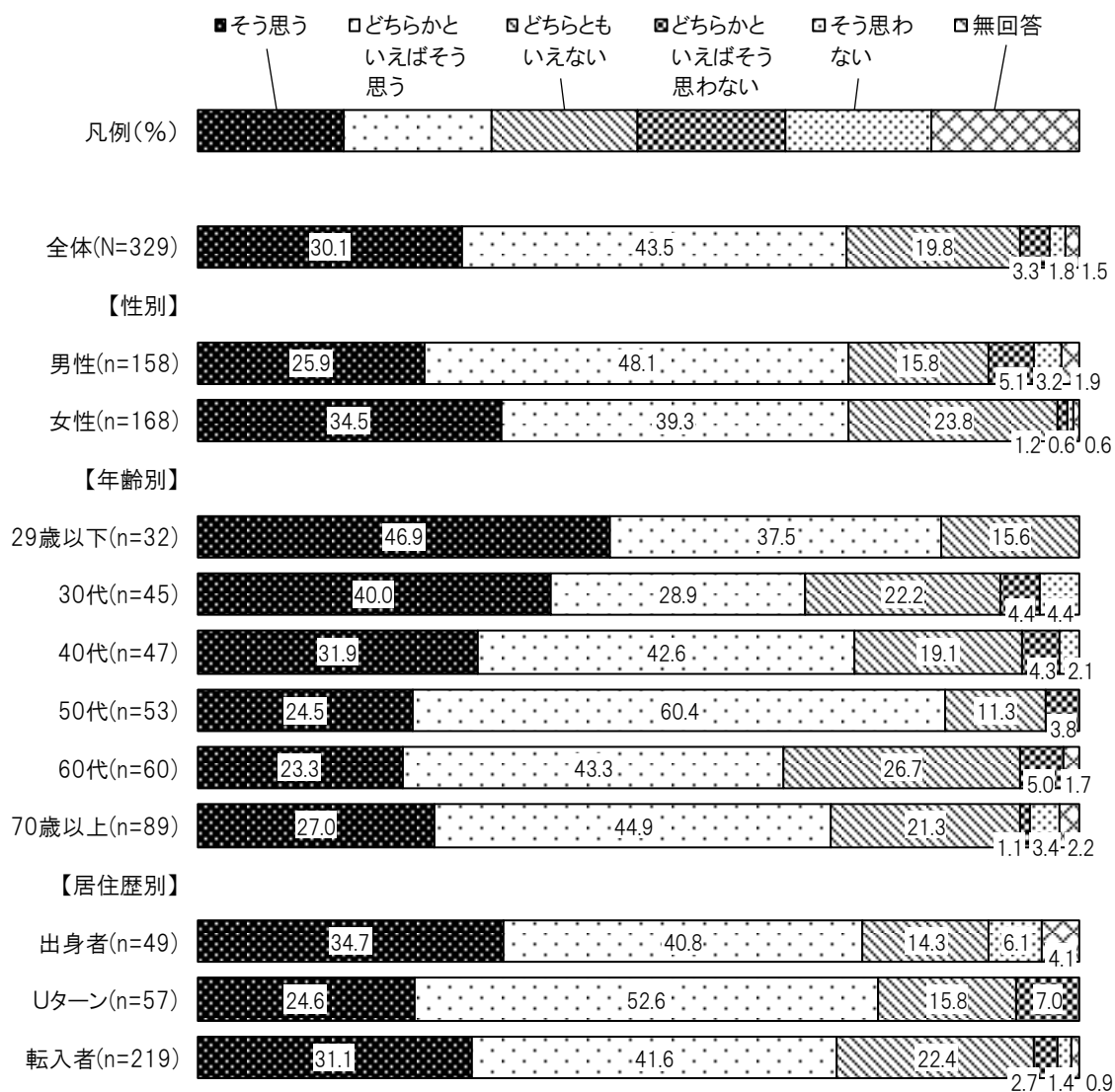
(3) きれいな村である

「きれいな村である」については、『そう思う（合計）』が 73.6%、『そう思わない（合計）』が 5.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『そう思わない（合計）』の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29 歳以下や 50 代で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、転入者で「どちらともいえない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



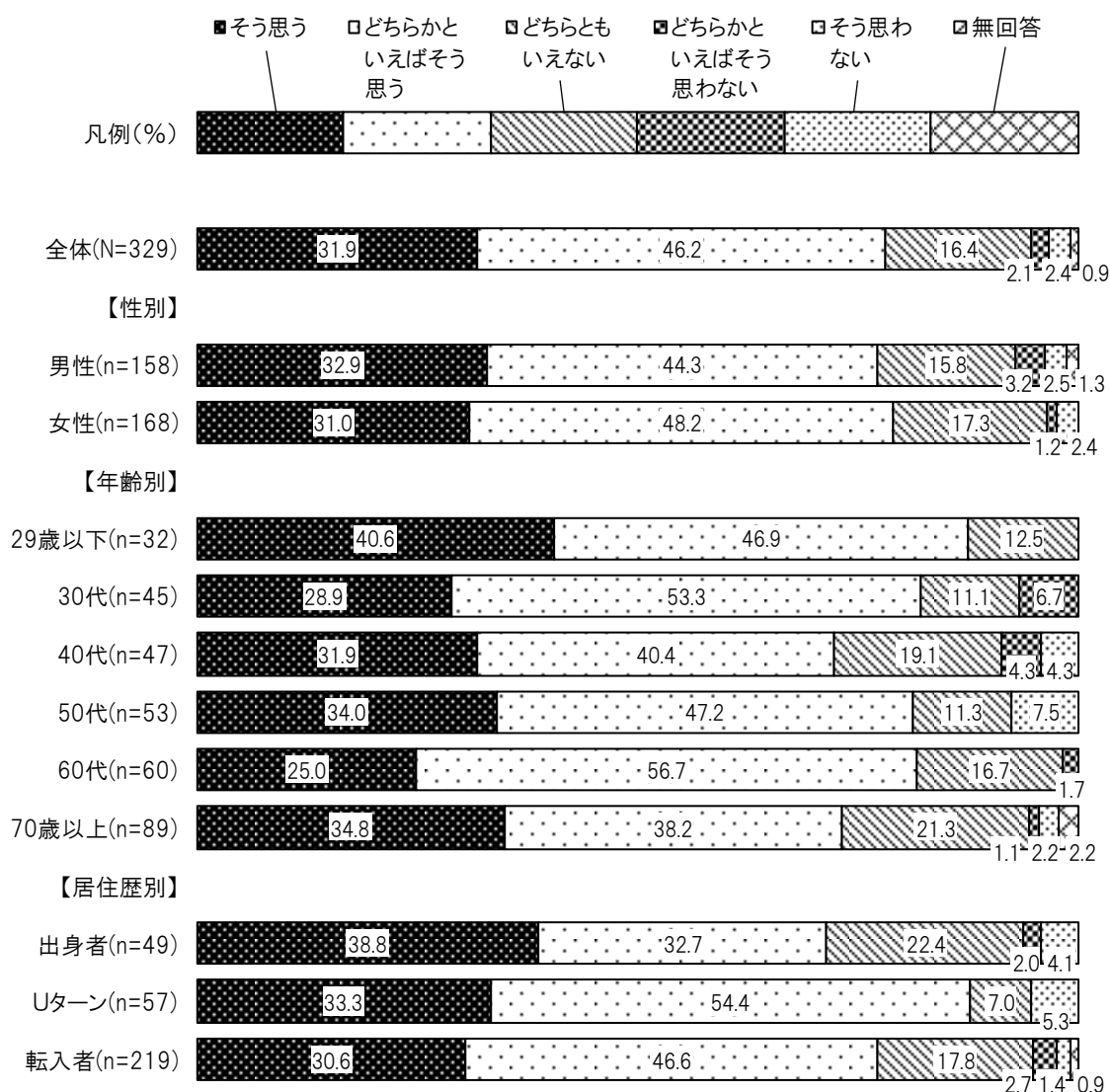
(4) 災害や事故が少なく安全な村である

「災害や事故が少なく安全な村である」については、『そう思う（合計）』が78.1%、『そう思わない（合計）』が4.5%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、29 歳以下で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、Uターンで『そう思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。

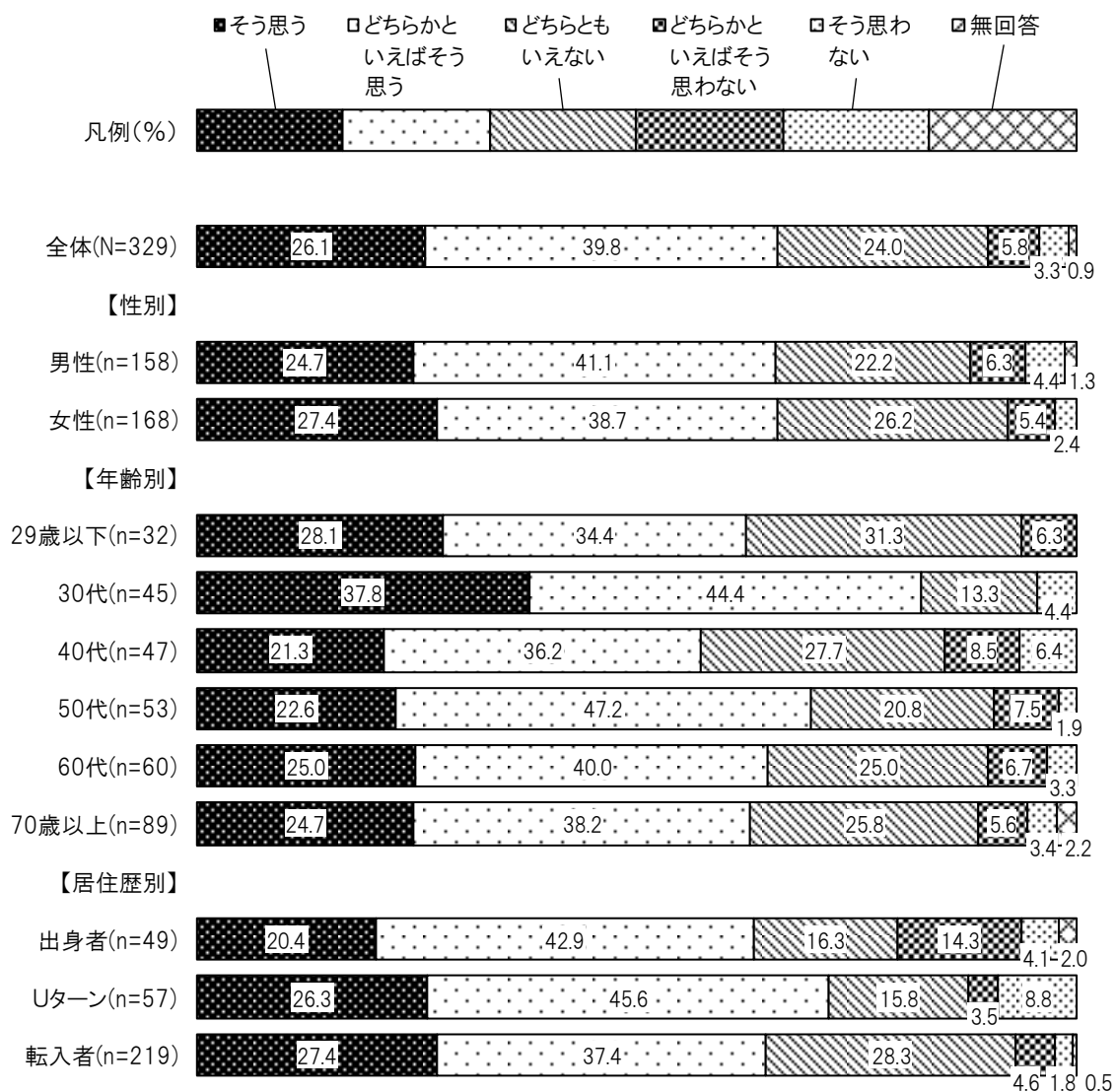


(5) 緑豊かで自然に恵まれた村である

「緑豊かで自然に恵まれた村である」については、『そう思う（合計）』が 65.9%、『そう思わない（合計）』が 9.1%となっている。

性別では、女性は男性に比べて「どちらともいえない」の割合がやや高くなっている。年齢別では、30代で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、転入者で「どちらともいえない」の割合が他の層を大きく上回っている。



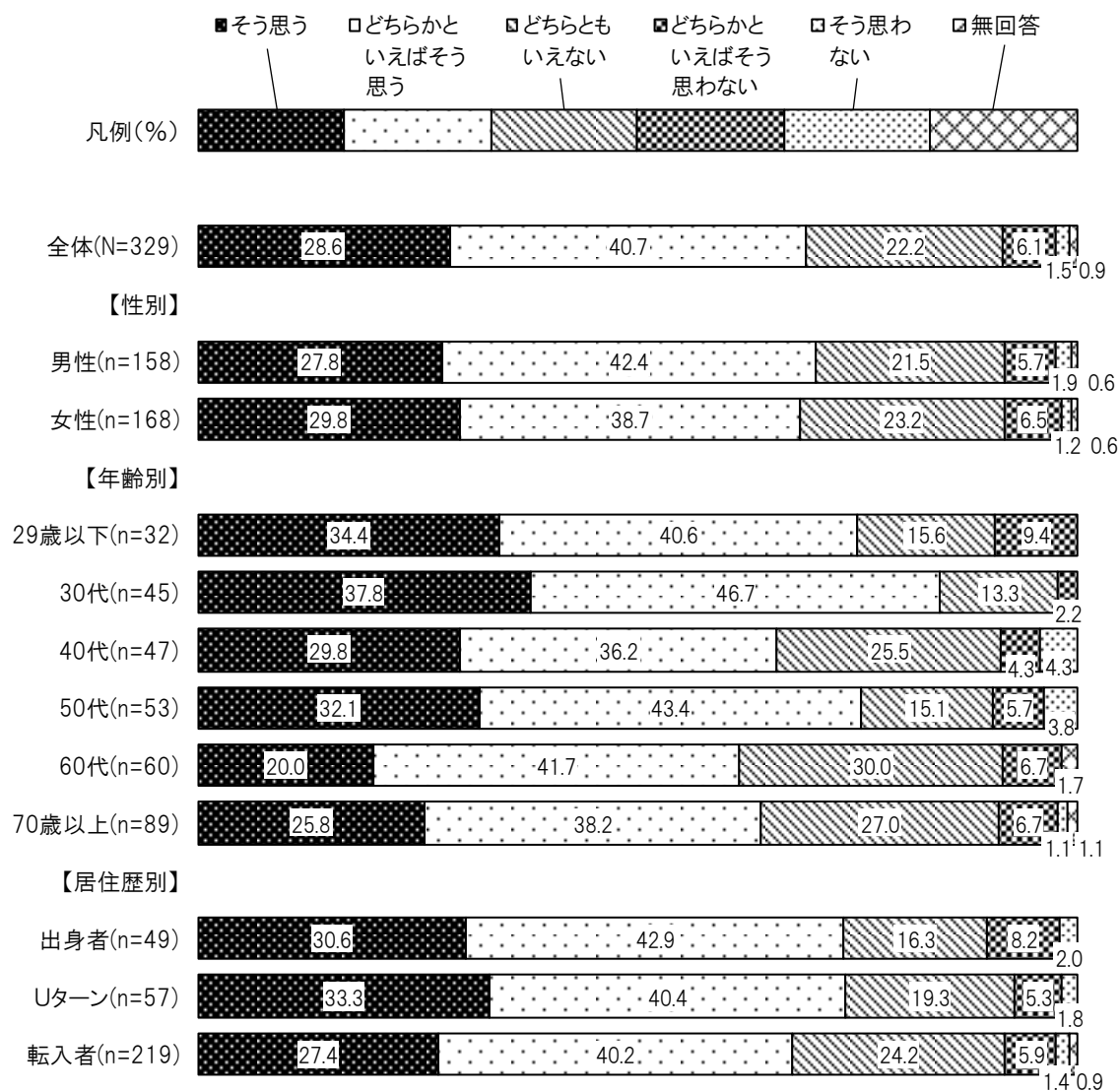
(6) 人のあたたかみを感じられる村である

「人のあたたかみを感じられる村である」については、『そう思う（合計）』が69.3%、『そう思わない（合計）』が7.6%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、30代で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、転入者で「どちらともいえない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



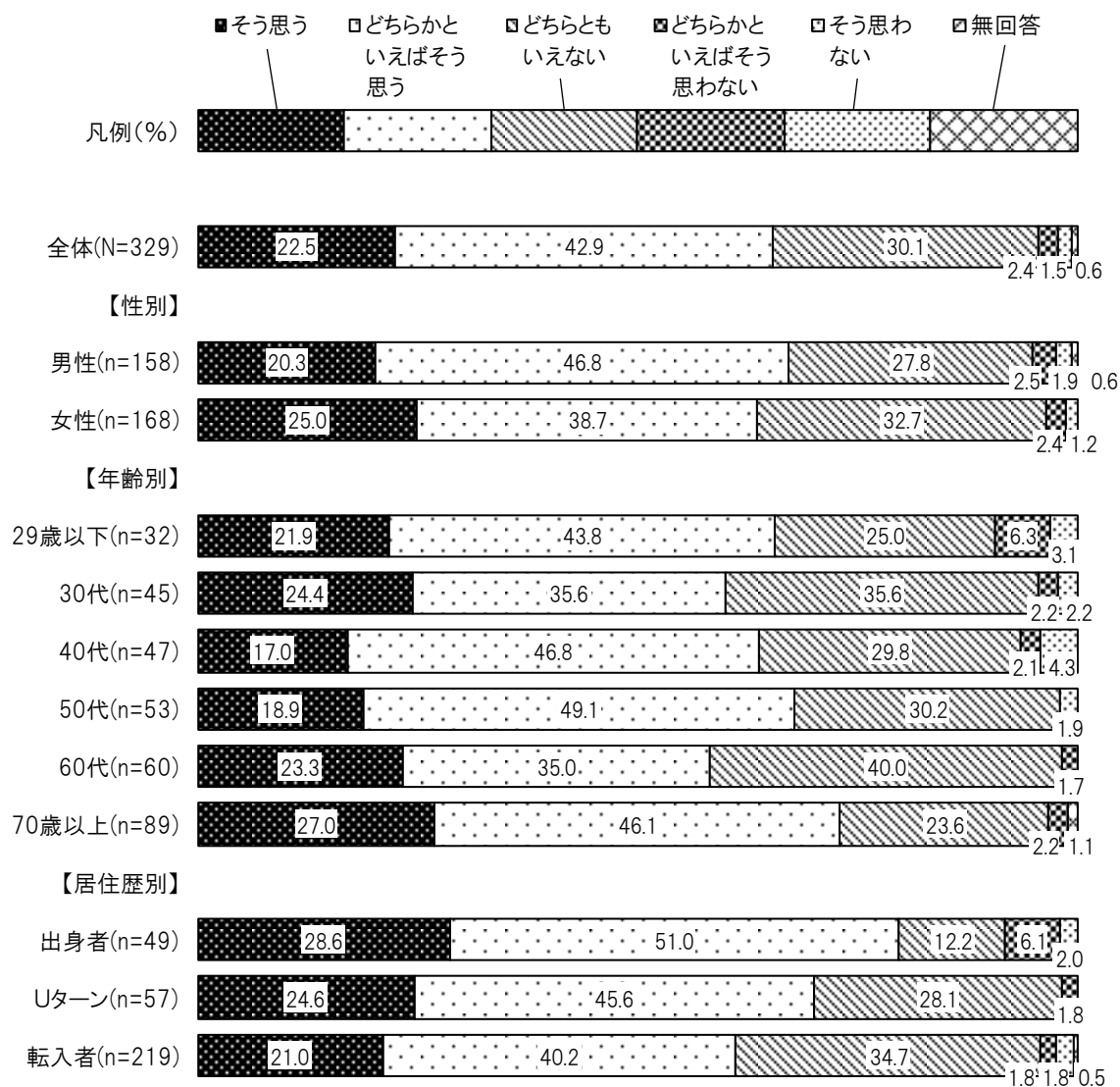
(7) 健康的な村である

「健康的な村である」については、『そう思う（合計）』が 65.4%、『そう思わない（合計）』が 3.9%となっている。

性別では、女性は男性に比べて「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

年齢別では、60代で「どちらともいえない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で『そう思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。



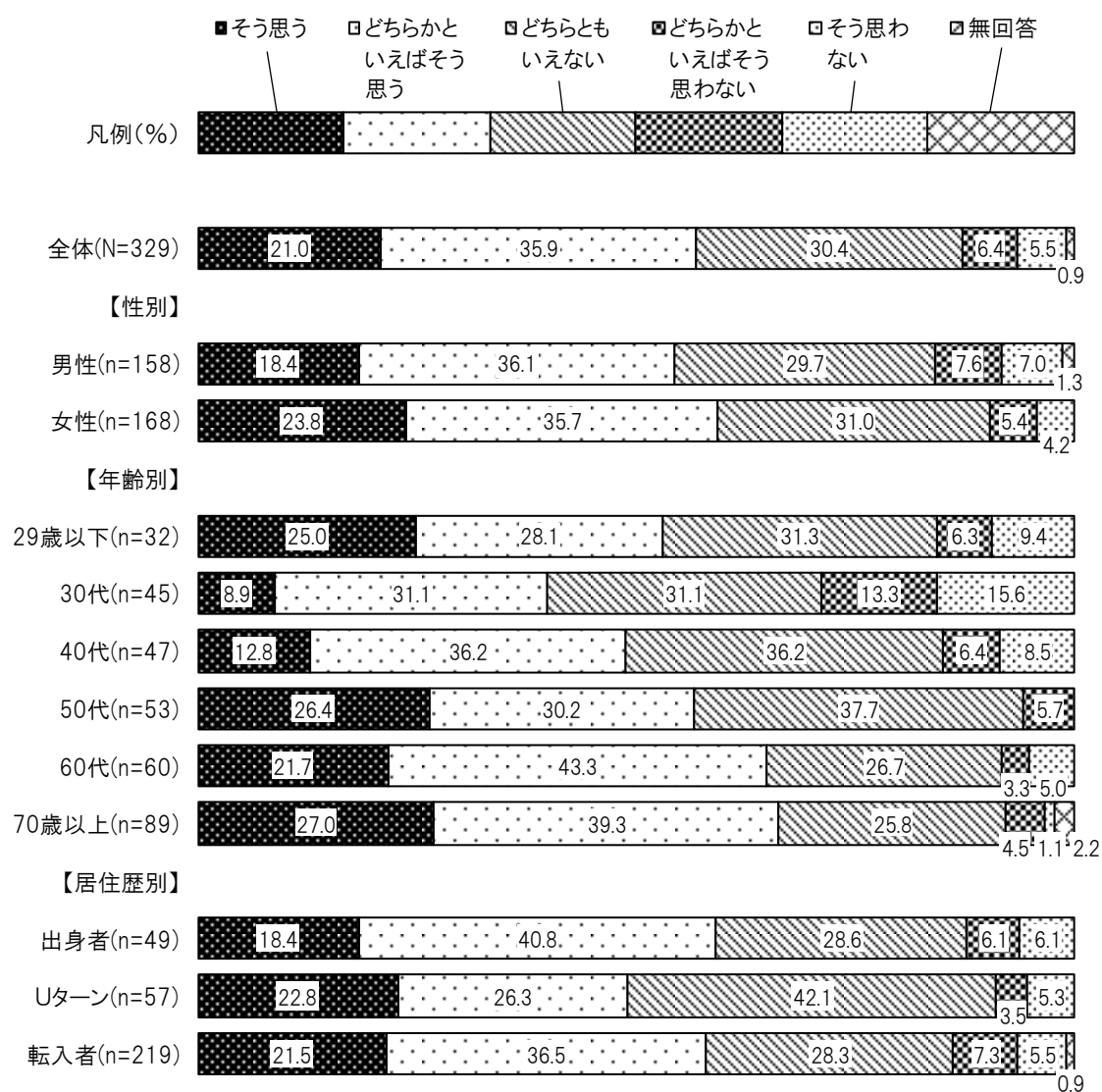
(8) 物価が手頃で買物がしやすい村である

「物価が手頃で買物がしやすい村である」については、『そう思う（合計）』が 56.9%、
『そう思わない（合計）』が 11.9%となっている。

性別では、女性は男性に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、30代で『そう思わない（合計）』、60代以上で『そう思う（合計）』の割合
がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、Uターンで「どちらともいえない」の割合が他の層を大きく上回っ
ている。



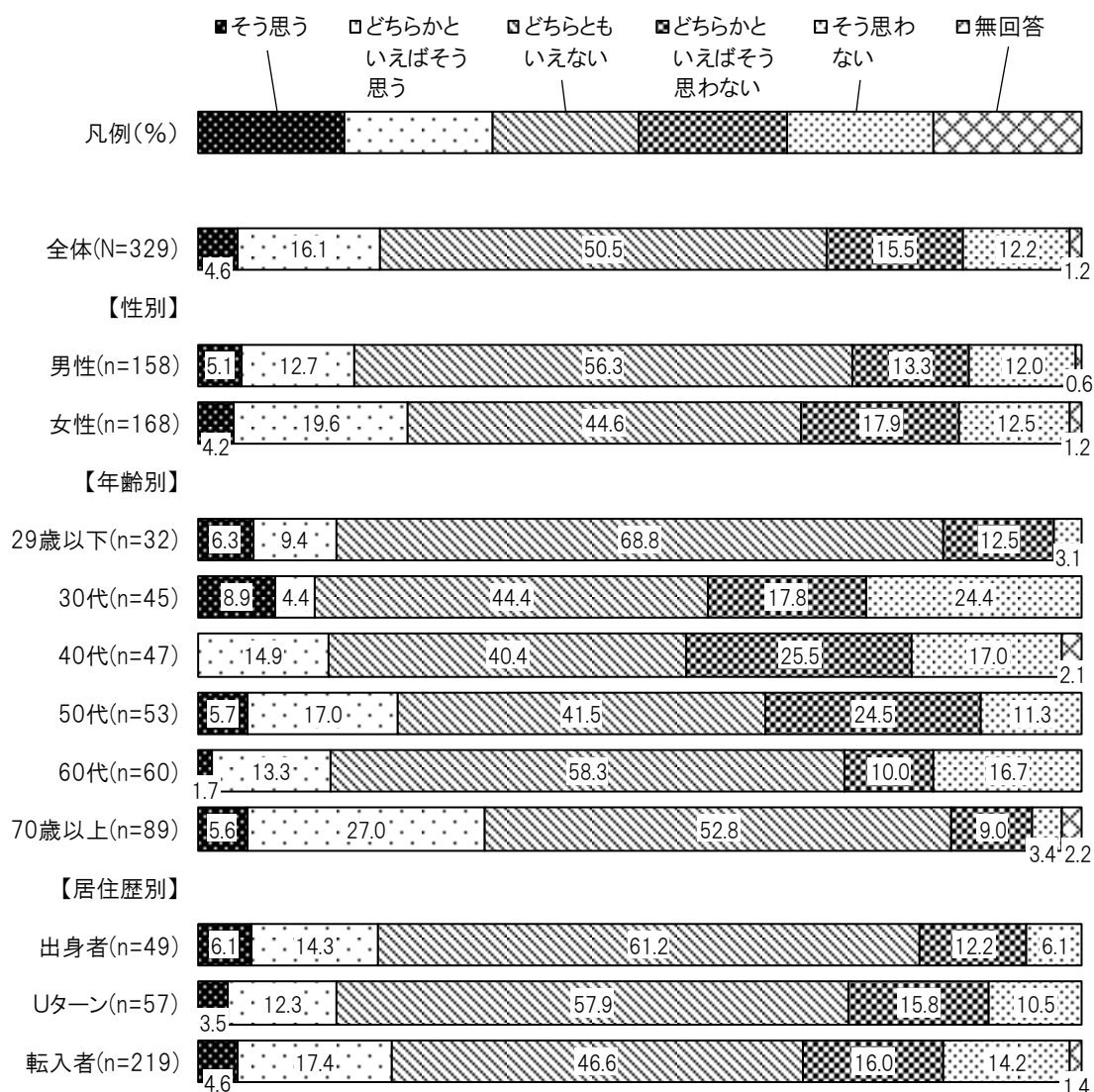
(9) 地価が手頃で不動産を購入しやすい村である

「地価が手頃で不動産を購入しやすい村である」については、『そう思う（合計）』が20.7%、『そう思わない（合計）』が27.7%、「どちらともいえない」が50.5%となっている。

性別では、男性は「どちらともいえない」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30～40代で『そう思わない（合計）』、70歳以上で『そう思う（合計）』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、転入者で『そう思わない（合計）』の割合が他の層に比べて高くなっている。



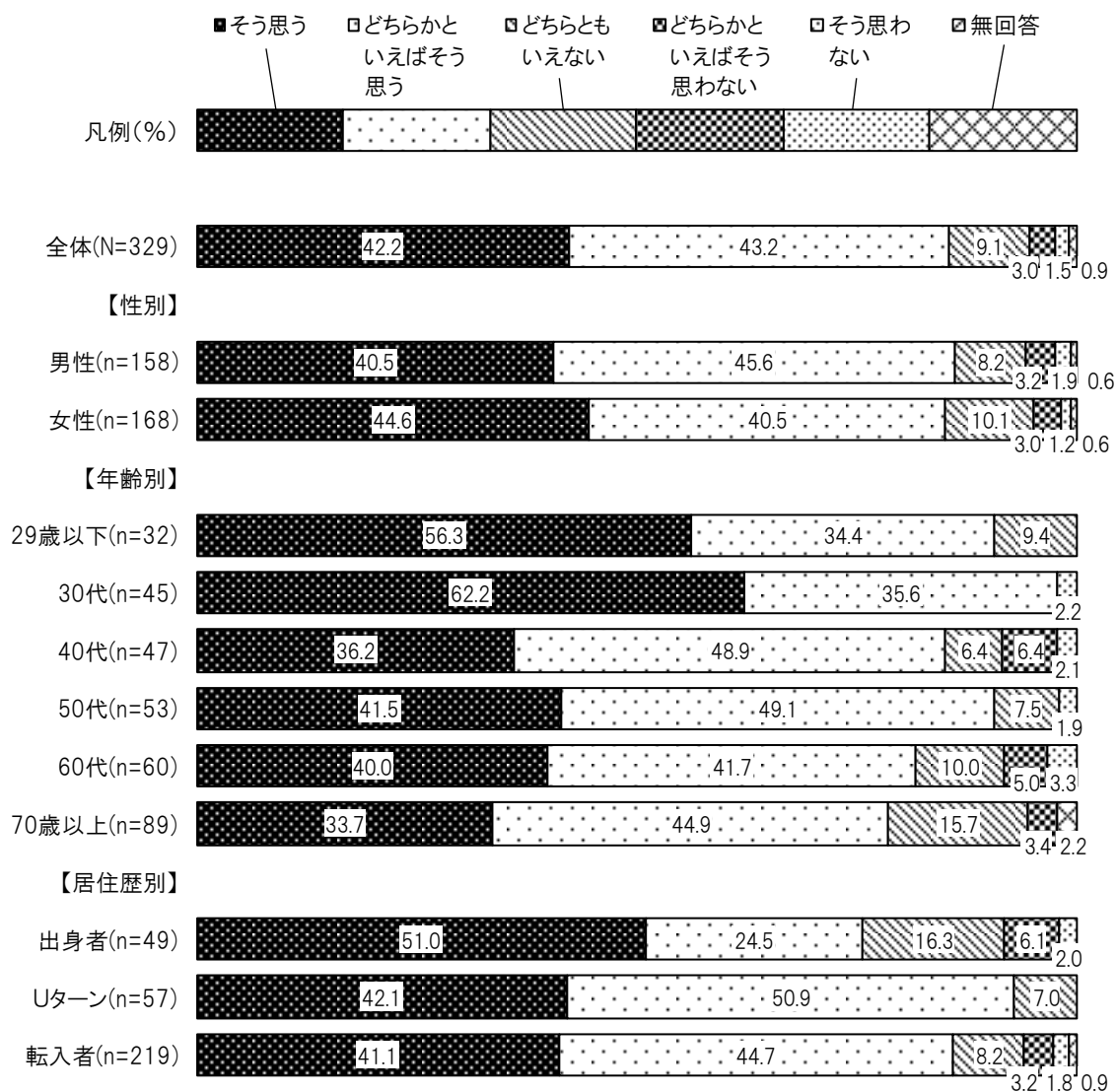
(10) 生活しやすい村である

「生活しやすい村である」については、『そう思う（合計）』が 85.4%、『そう思わない（合計）』が 4.5%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、30 代以下で「そう思う」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、Uターンや転入者で『そう思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。



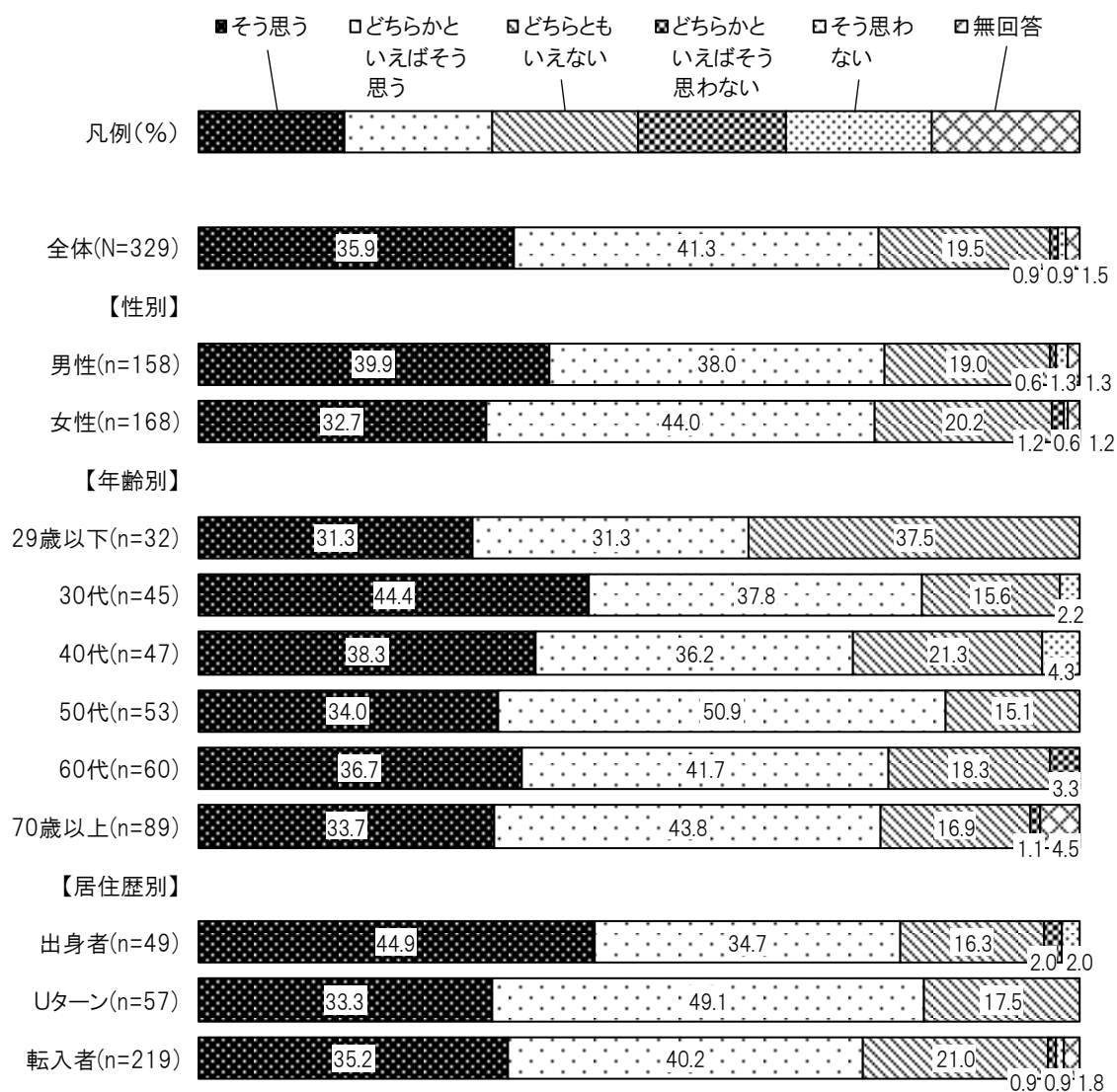
(11) 安心して子育てができる村である

「安心して子育てができる村である」については、『そう思う（合計）』が 77.2%、『そう思わない（合計）』が 1.8%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、29 歳以下で「どちらともいえない」、30 代で「そう思う」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で「そう思う」の割合が他の層を大きく上回っている。



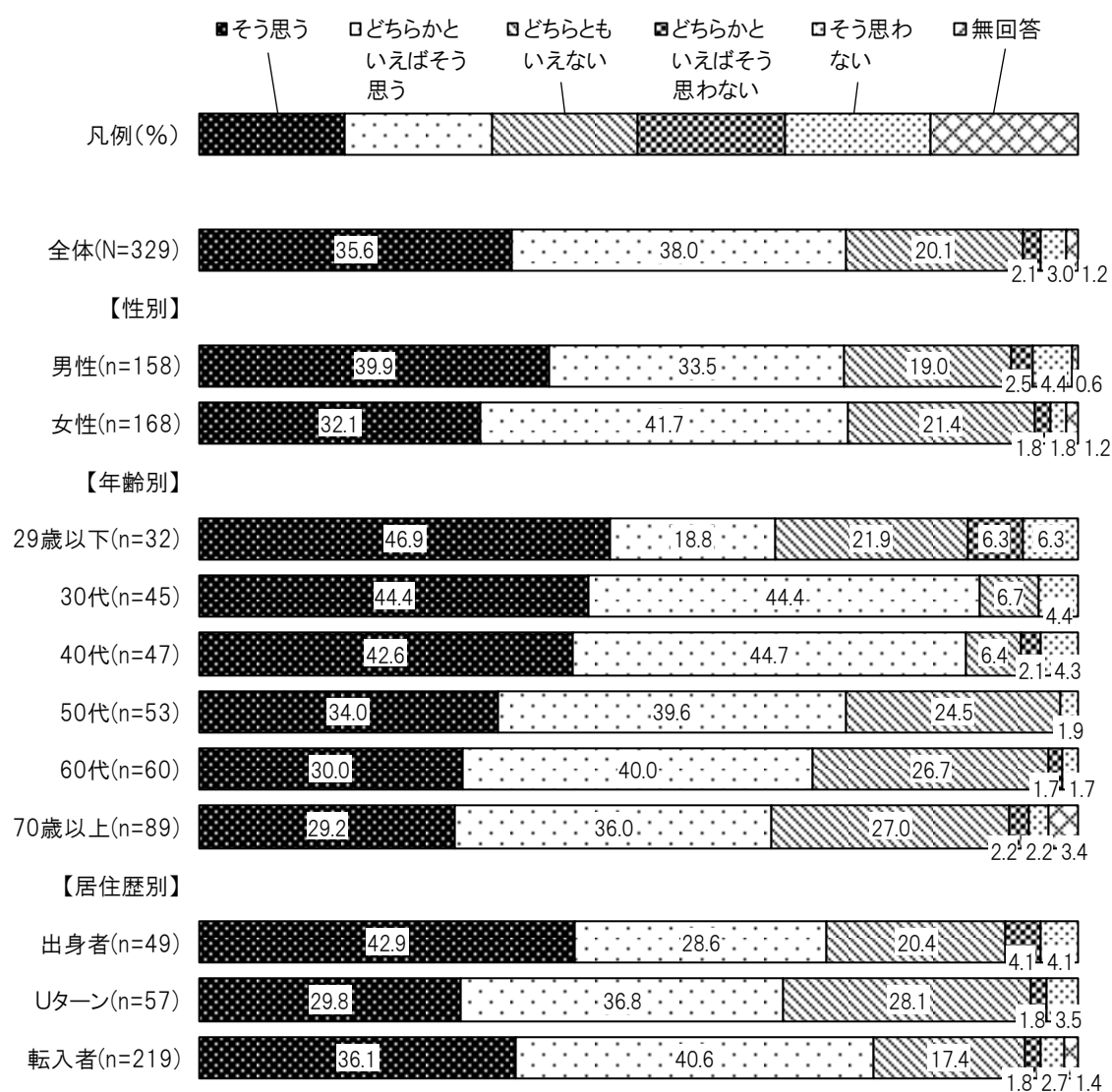
(12) 将来性のある村である

「将来性のある村である」については、『そう思う（合計）』が73.6%、『そう思わない（合計）』が5.1%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、30～40代で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、Uターンで「どちらともいえない」、転入者で『そう思う（合計）』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



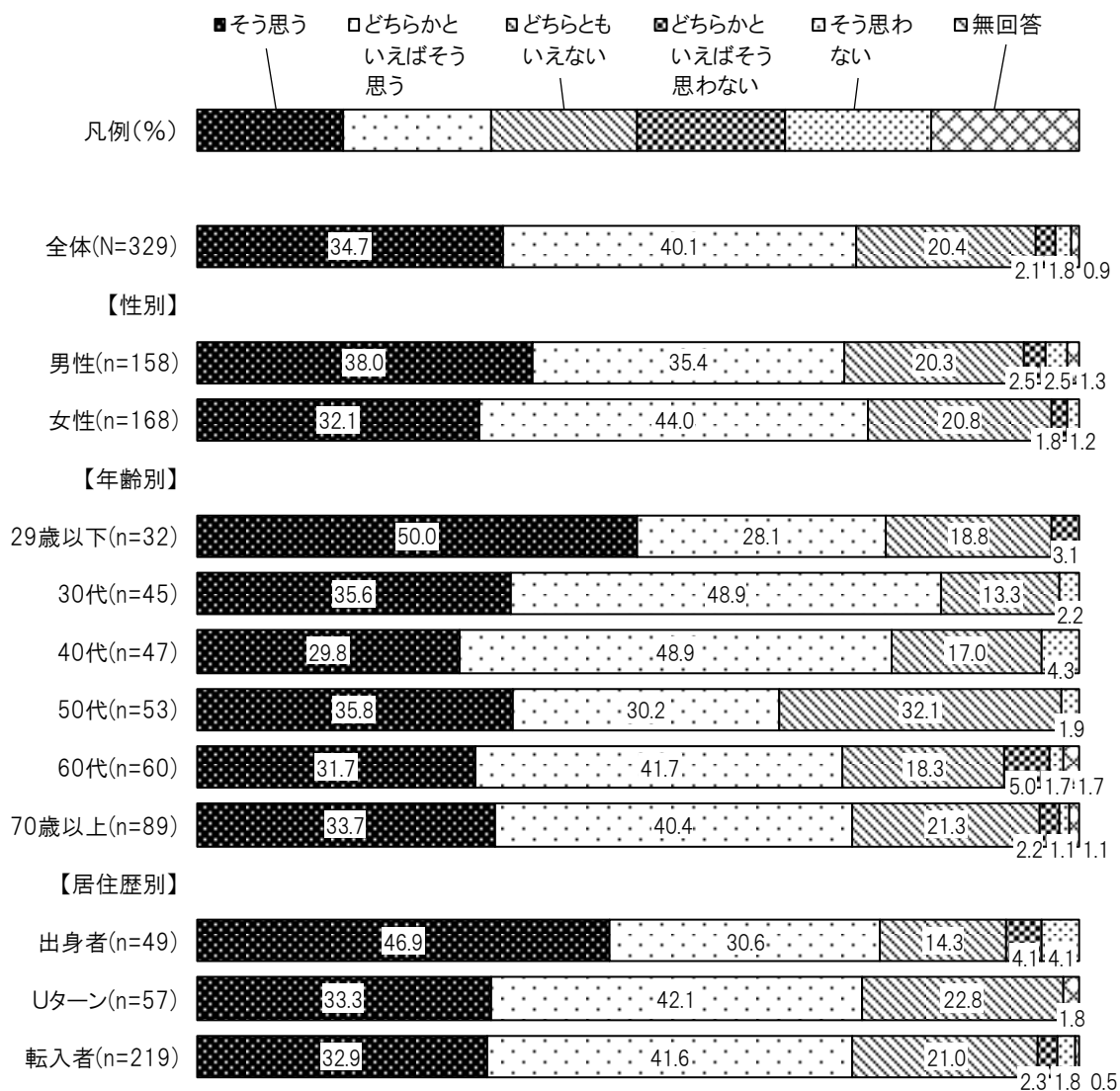
(13) 村民として誇れる村である

「村民として誇れる村である」については、『そう思う（合計）』が 74.8%、『そう思わない（合計）』が 3.9%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、29 歳以下で「そう思う」、50 代で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

居住歴別でみると、出身者で「そう思う」の割合が他の層を大きく上回っている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ「(2) 活気にあふれた村である」「(4) 災害や事故が少なく安全な村である」「(12) 将来性のある村である」で『そう思う(合計)』が増加し、「(8) 物価が手頃で買物がしやすい村である」「(9) 地価が手頃で不動産を購入しやすい村である」で『そう思う(合計)』が減少している。



2 日吉津村への愛着度

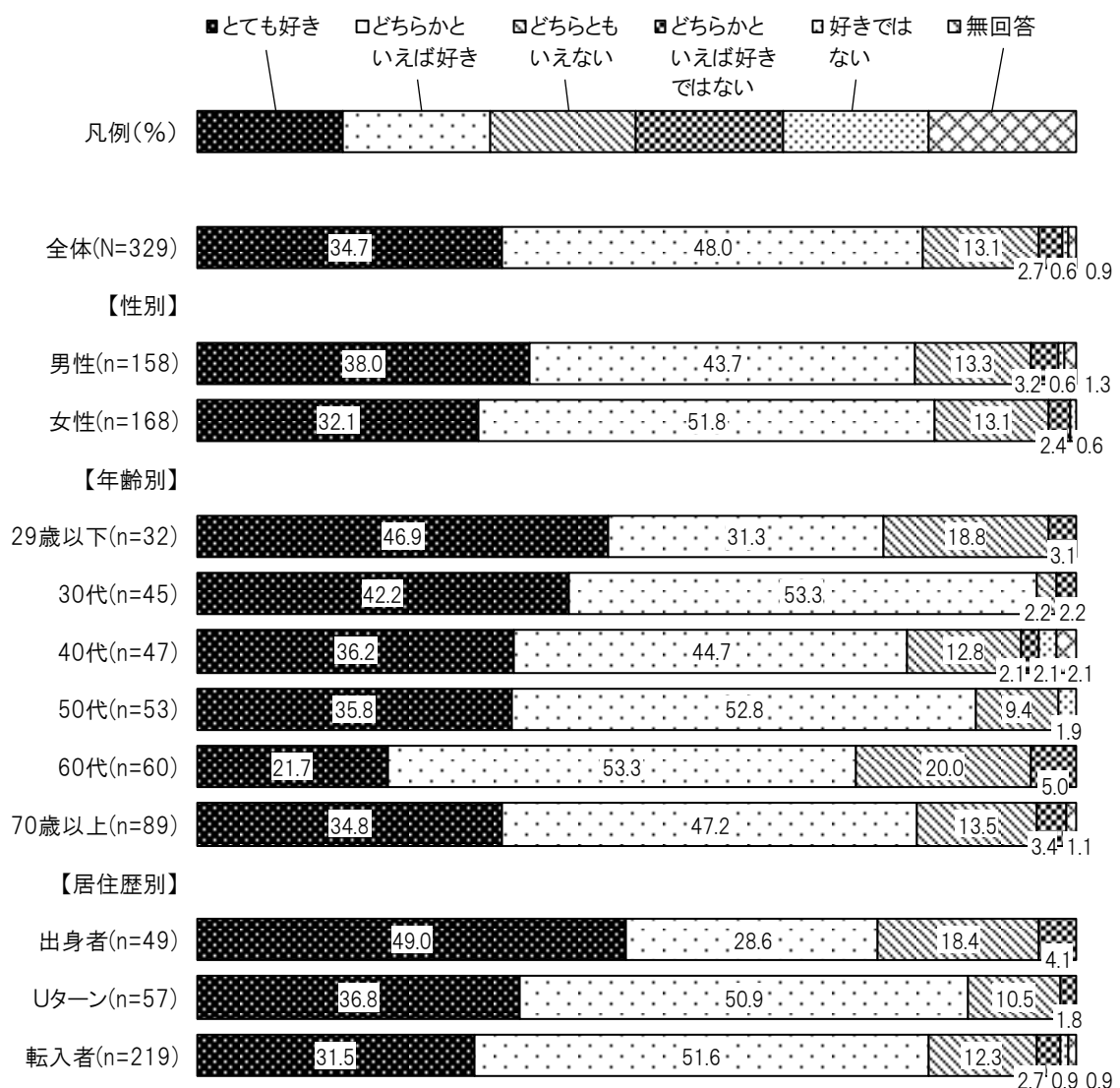
問8 あなたは、日吉津村のことが好きですか。（回答は1つ）

日吉津村への愛着度については、「とても好き」が34.7%、「どちらかといえば好き」が48.0%、合計で82.7%が『好き』と回答している。一方、「どちらかといえば好きではない」（2.7%）、「好きではない」（0.6%）の合計は3.3%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

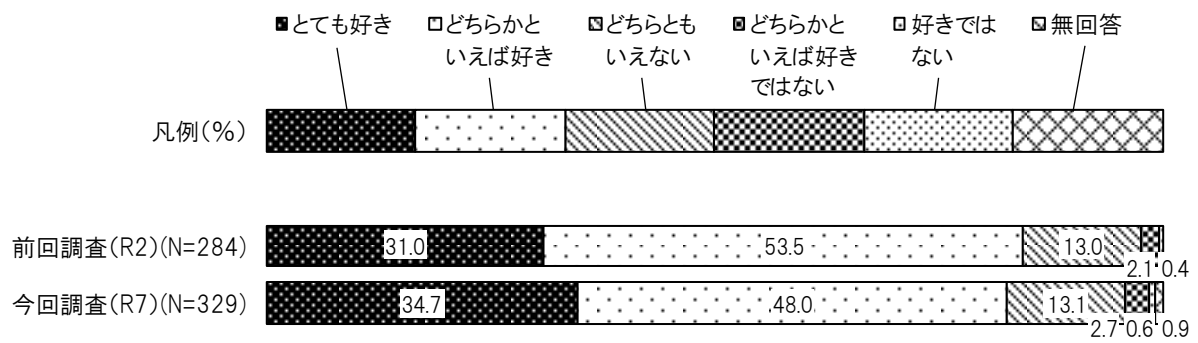
年齢別では、30代で『好き（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で「とても好き」の割合が他の層を大きく上回っている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。

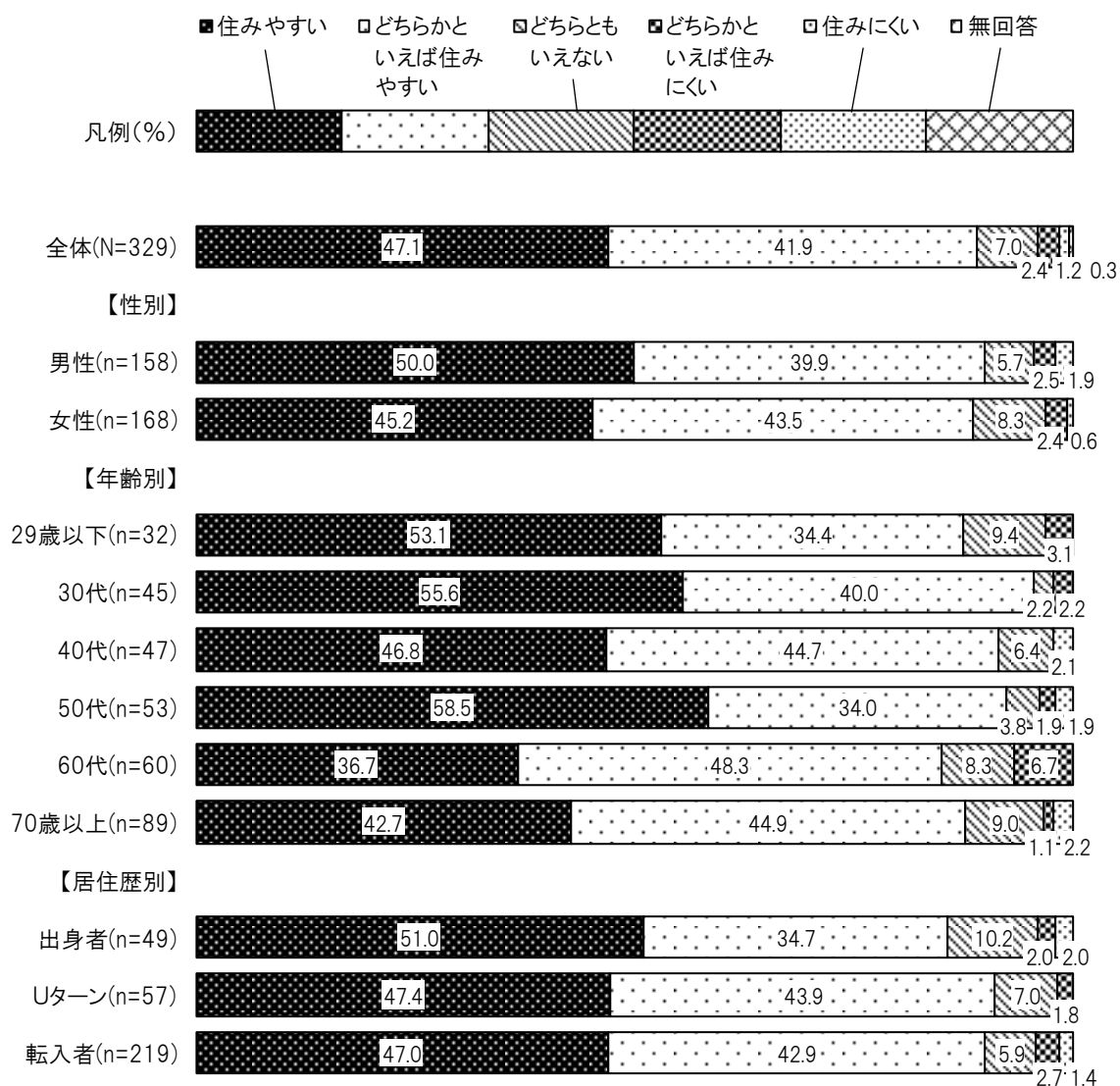


3 住みやすさ

問9 あなたは、日吉津村を「住みやすい村」だと感じますか。（回答は1つ）

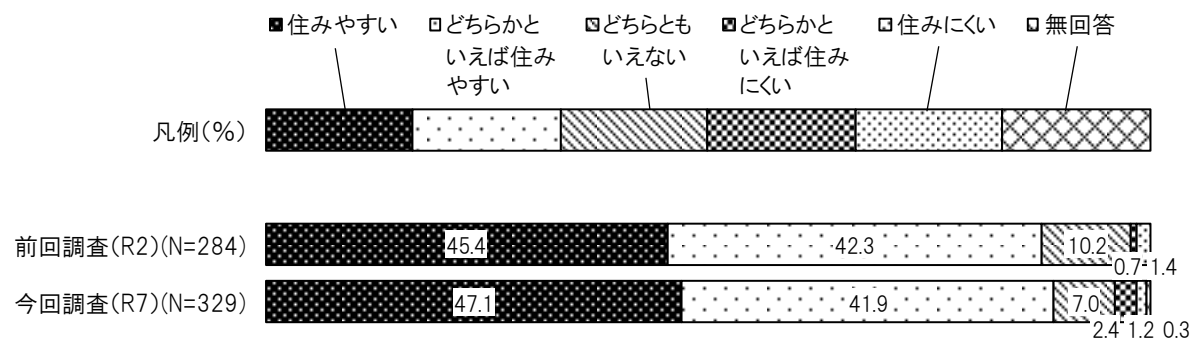
住みやすさについては、「住みやすい」が47.1%、「どちらかといえば住みやすい」が41.9%、合計で89.0%が『住みやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば住みにくい」(2.4%)、「住みにくい」(1.2%)の合計は3.6%となっている。

性別、年齢別、居住歴別では、大きな差はみられない。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ、大きな変化はみられない。



4 永住意向

問 10 あなたは、これからも日吉津村に住み続けたいと思いますか。（回答は1つ）

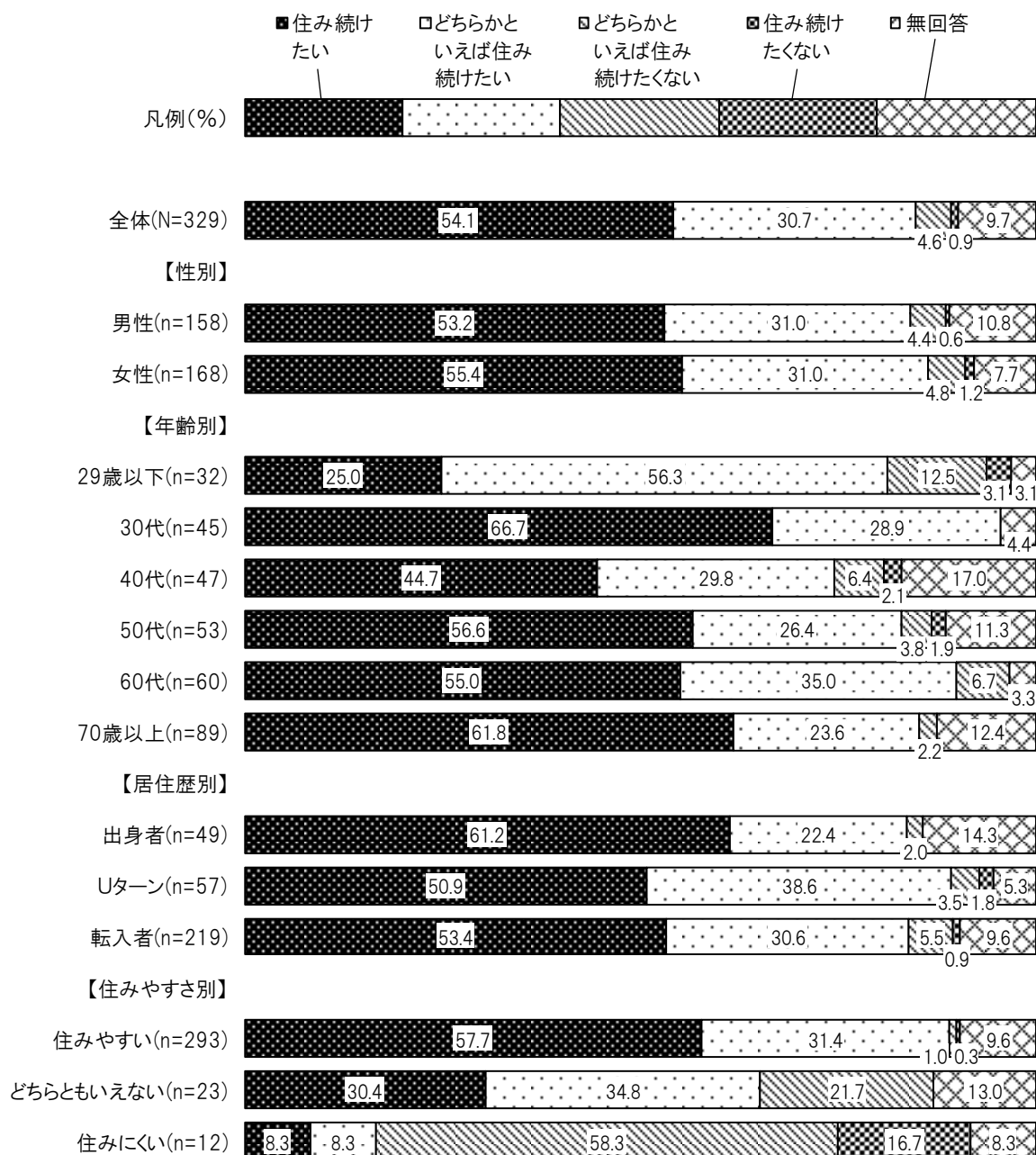
永住意向については、「住み続けたい」が54.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が30.7%、合計で84.8%が『住み続けたい』と回答している。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.6%)、「住み続けたくない」(0.9%)の合計は5.5%となっている。

性別では、大きな差はみられない。

年齢別では、30代で『住み続けたい（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

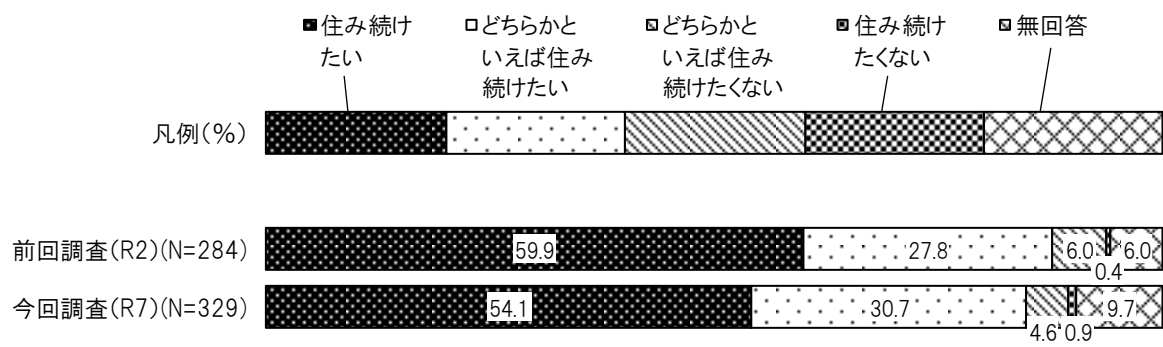
居住歴別でみると、出身者で「住み続けたい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

住みやすさ別（問9）では、住みやすいと回答した層で「住み続けたい」の割合が高くなっている。



【時系列比較】

前回調査結果と比べ「住み続けたい」が減少している。



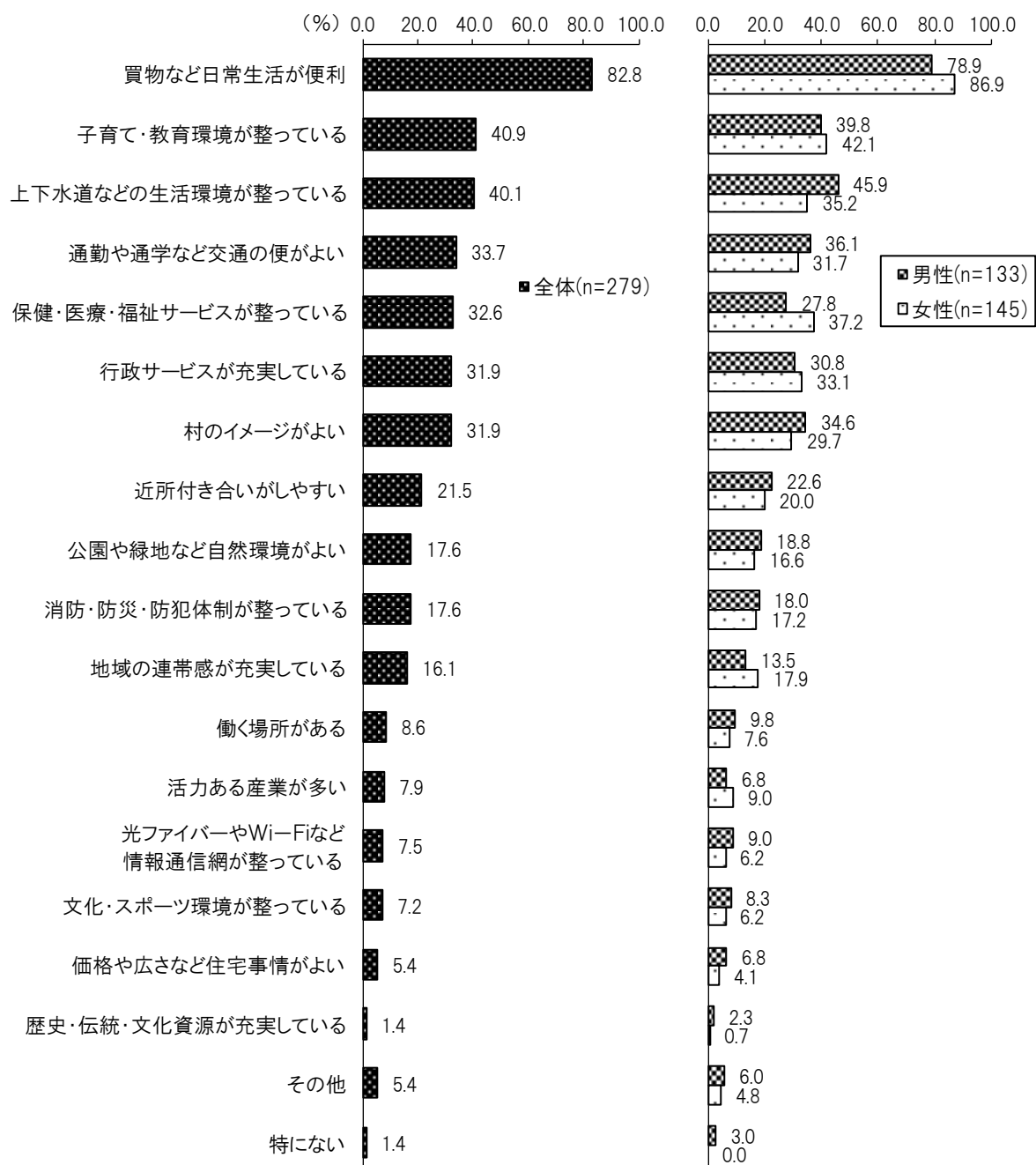
5 住み続けたい理由

【 問 10 で「1～2（住み続けたい）」と答えた方におたずねします。 】

問 11 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

住み続けたい理由については、「買物など日常生活が便利」の割合が82.8%と最も高く、次いで「子育て・教育環境が整っている」（40.9%）、「上下水道などの生活環境が整っている」（40.1%）、「通勤や通学など交通の便がよい」（33.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「上下水道などの生活環境が整っている」の割合が高く、女性は「買物など日常生活が便利」「保健・医療・福祉サービスが整っている」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、30代で「買物など日常生活が便利」「子育て・教育環境が整っている」、70歳以上で「上下水道などの生活環境が整っている」「保健・医療・福祉サービスが整っている」「行政サービスが充実している」などの割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で「上下水道などの生活環境が整っている」、転入者で「買物など日常生活が便利」などの割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	買物など日常生活が	子育て・教育環境が	上下水道などの生活環境が	通勤・通学などの交通	保健・医療・福祉サービスが充実	行政サービスが充実	村のイメージがよい	近所付き合いがしやすい	公園や緑地など自然環境がよい	消防・防災・防犯体制が整っている	地域の連帯感が充実
全体(n=279)	82.8	40.9	40.1	33.7	32.6	31.9	31.9	21.5	17.6	17.6	16.1
【年齢別】											
29歳以下(n=26)	69.2	50.0	15.4	23.1	26.9	30.8	46.2	19.2	15.4	7.7	15.4
30代(n=43)	90.7	62.8	23.3	39.5	32.6	27.9	30.2	18.6	14.0	11.6	16.3
40代(n=35)	82.9	54.3	22.9	45.7	20.0	28.6	40.0	11.4	11.4	20.0	11.4
50代(n=44)	86.4	36.4	29.5	50.0	22.7	31.8	22.7	20.5	20.5	11.4	13.6
60代(n=54)	85.2	33.3	42.6	24.1	24.1	24.1	24.1	14.8	20.4	11.1	11.1
70歳以上(n=76)	80.3	27.6	71.1	26.3	52.6	42.1	35.5	32.9	19.7	31.6	22.4
【居住歴別】											
出身者(n=41)	70.7	43.9	53.7	34.1	26.8	24.4	34.1	26.8	12.2	17.1	17.1
Uターン(n=51)	74.5	33.3	31.4	41.2	27.5	29.4	31.4	17.6	13.7	15.7	15.7
転入者(n=184)	88.6	42.9	39.1	32.1	35.3	34.2	31.5	21.2	20.1	17.9	15.2

単位 (%)	働く場所がある	活力ある産業が多い	ネット・F・アイなどバリエーションの情報や通信	光ファイバーなど新しい環境	文化・芸術・スポーツ環境	事情がよいなど住宅	価格が安いなど住宅	歴史的・伝統的・文化遺産が充実している	その他	特にな
全体(n=279)	8.6	7.9	7.5	7.2	5.4	1.4	5.4	1.4		
【年齢別】										
29歳以下(n=26)	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	3.8	3.8		
30代(n=43)	9.3	9.3	2.3	4.7	4.7	0.0	2.3	2.3		
40代(n=35)	2.9	14.3	11.4	8.6	5.7	5.7	5.7	0.0		
50代(n=44)	6.8	4.5	9.1	4.5	9.1	2.3	2.3	0.0		
60代(n=54)	9.3	1.9	9.3	3.7	7.4	0.0	13.0	1.9		
70歳以上(n=76)	14.5	10.5	9.2	11.8	3.9	1.3	3.9	1.3		
【居住歴別】										
出身者(n=41)	17.1	9.8	7.3	9.8	2.4	7.3	14.6	2.4		
Uターン(n=51)	9.8	5.9	3.9	7.8	0.0	0.0	5.9	3.9		
転入者(n=184)	6.5	8.2	8.7	6.5	7.6	0.5	3.3	0.5		

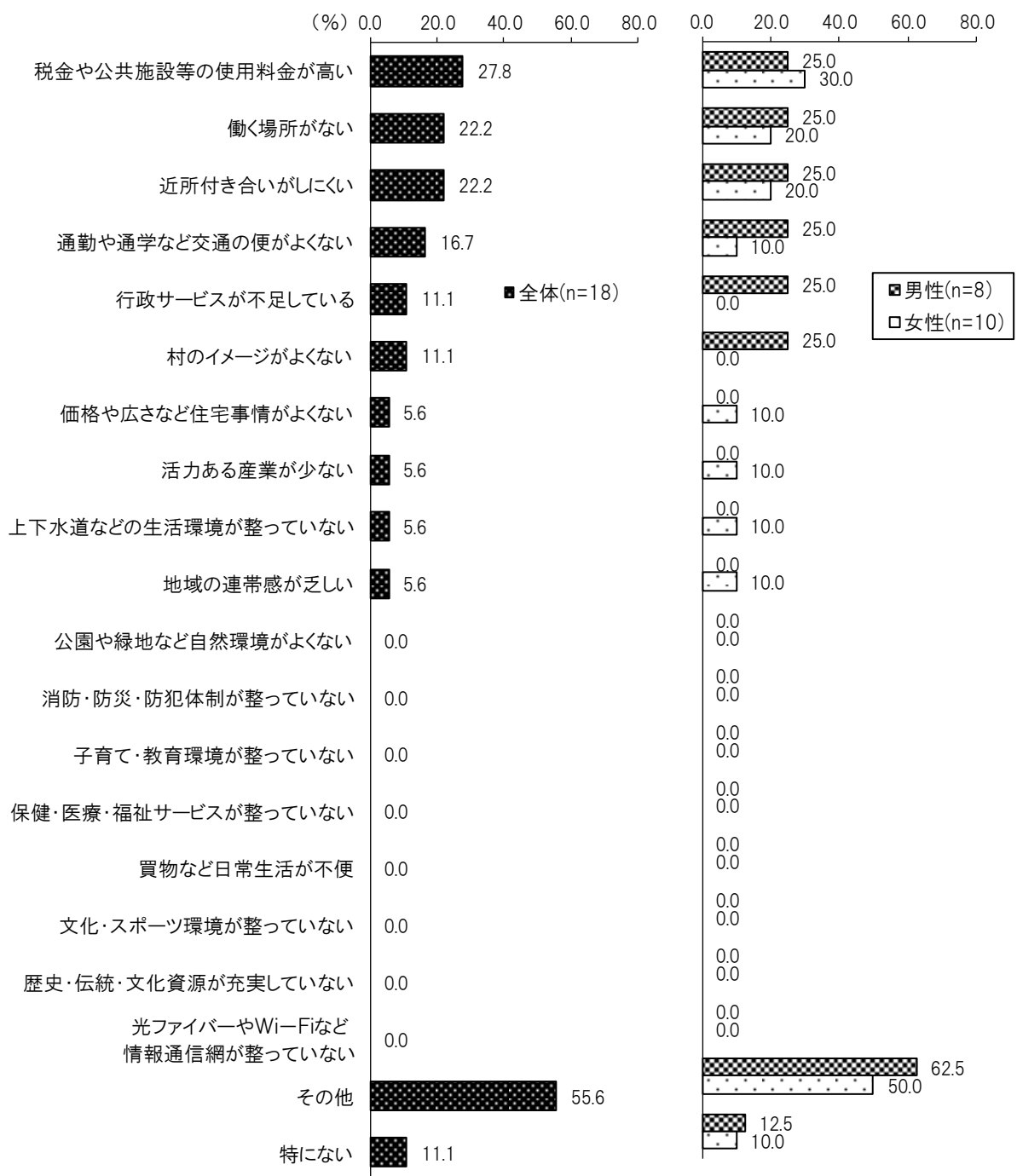
注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。
 但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

6 住み続けたくない理由

【 問 10 で「3～4（住み続けたくない）」と答えた方におたずねします。 】

問 12 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

住み続けたくない理由については、「税金や公共施設等の使用料金が低い」の割合が27.8%と最も高く、次いで「働く場所がない」「近所付き合いがしにくい」（各22.2%）、「通勤や通学など交通の便がよくない」（16.7%）の順となっている。また「その他」では、「催し物、行事の負担が大きい」「老後は不便と感じる」などの回答がみられた。



注：性別については、件数（n）が少ないため参考値として参照

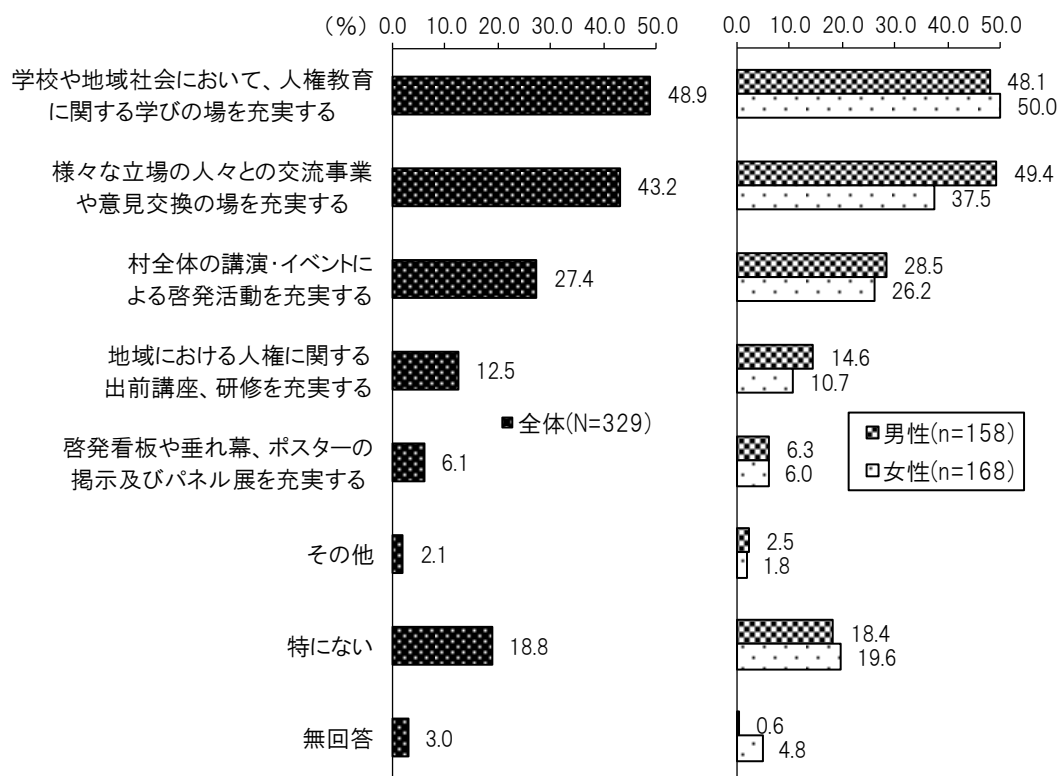
【2】これからのむらづくりについて

1 人権尊重のむらづくりを実現するために力を入れるべきこと

問 13 「村民一人ひとりがお互いを認め尊重し合う、人権尊重のむらづくり」を実現するために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(回答は3つまで)

人権尊重のむらづくりを実現するために力を入れるべきことについては、「学校や地域社会において、人権教育に関する学びの場を充実する」の割合が48.9%と最も高く、次いで「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する」(43.2%)、「村全体の講演・イベントによる啓発活動を充実する」(27.4%)、「地域における人権に関する出前講座、研修を充実する」(12.5%)の順となっている。

性別では、男性は「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、30代や70歳以上で「学校や地域社会において、人権教育に関する学びの場を充実する」、70歳以上で「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する」「村全体の講演・イベントによる啓発活動を充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

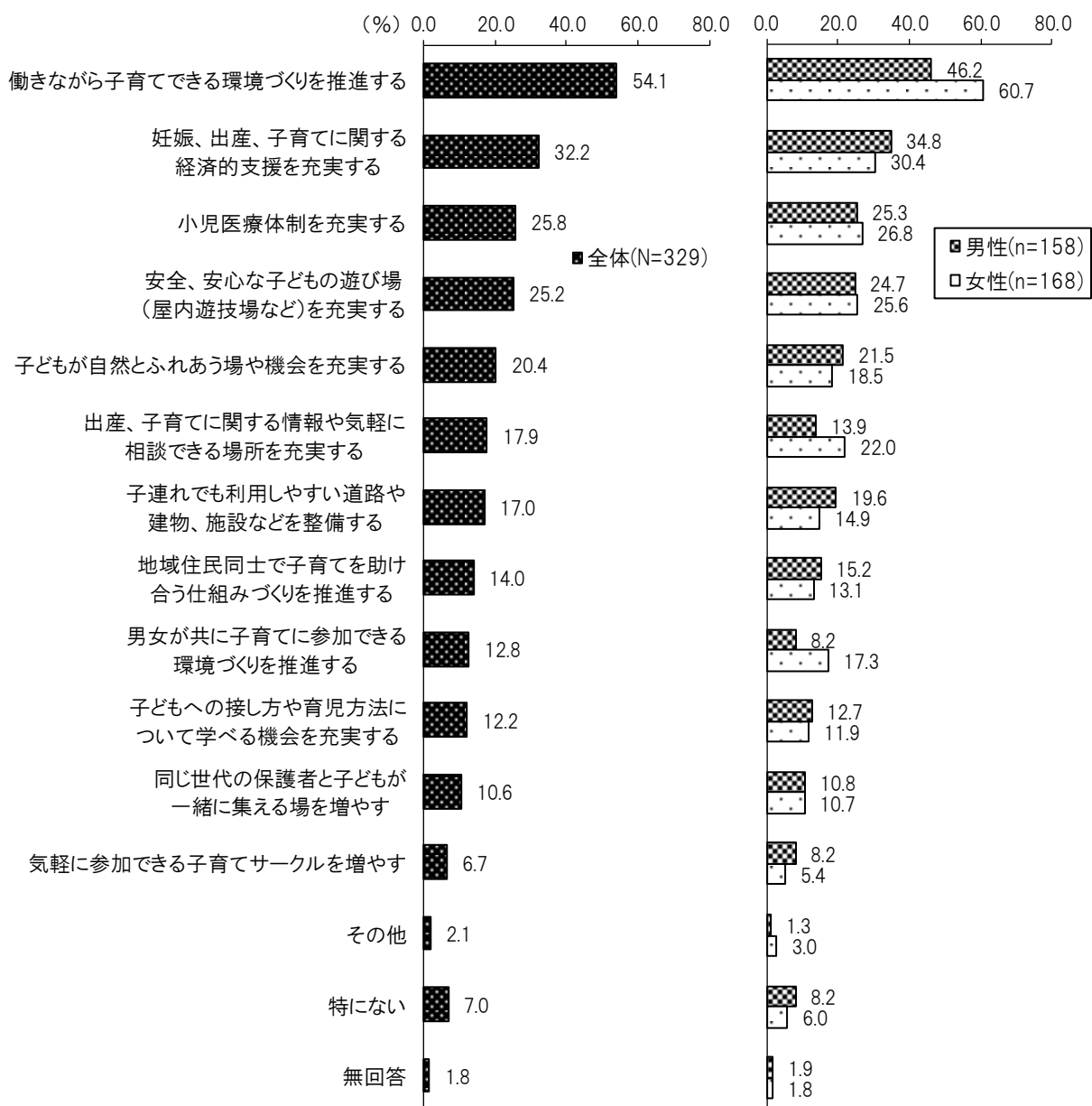
単位 (%)	学校や地域社会において、人権教育に関する学びの場を充実する	様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する	村全体の講演・イベントによる啓発活動を充実する	地域における人権に関する出前講座、研修を充実する	啓発看板や垂れ幕、ポスターの掲示及びパネル展を充実する	その他	特になし
全体(N=329)	48.9	43.2	27.4	12.5	6.1	2.1	18.8
【年齢別】							
29歳以下(n=32)	40.6	25.0	21.9	9.4	6.3	3.1	18.8
30代(n=45)	57.8	35.6	26.7	8.9	4.4	2.2	20.0
40代(n=47)	48.9	42.6	17.0	8.5	2.1	2.1	19.1
50代(n=53)	39.6	39.6	26.4	17.0	5.7	1.9	24.5
60代(n=60)	45.0	46.7	25.0	10.0	6.7	0.0	21.7
70歳以上(n=89)	56.2	53.9	38.2	15.7	7.9	3.4	13.5

2 子育てしやすい村にするために力を入れるべきこと

問 14 子育てしやすい村にするために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

子育てしやすい村にするために力を入れるべきことについては、「働きながら子育てできる環境づくりを推進する」の割合が54.1%と最も高く、次いで「妊娠、出産、子育てに関する経済的支援を充実する」（32.2%）、「小児医療体制を充実する」（25.8%）、「安全、安心な子どもの遊び場（屋内遊技場など）を充実する」（25.2%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「働きながら子育てできる環境づくりを推進する」「出産、子育てに関する情報や気軽に相談できる場所を充実する」「男女が共に子育てに参加できる環境づくりを推進する」の割合が高くなっている。



年齢別では、29歳以下で「妊娠、出産、子育てに関する経済的支援を充実する」「出産、子育てに関する情報や気軽に相談できる場所を充実する」、30代で「安全、安心な子どもの遊び場（屋内遊技場など）を充実する」、30～40代で「小児医療体制を充実する」「子連れでも利用しやすい道路や建物、施設などを整備する」、60代以上で「地域住民同士で子育てを助け合う仕組みづくりを推進する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

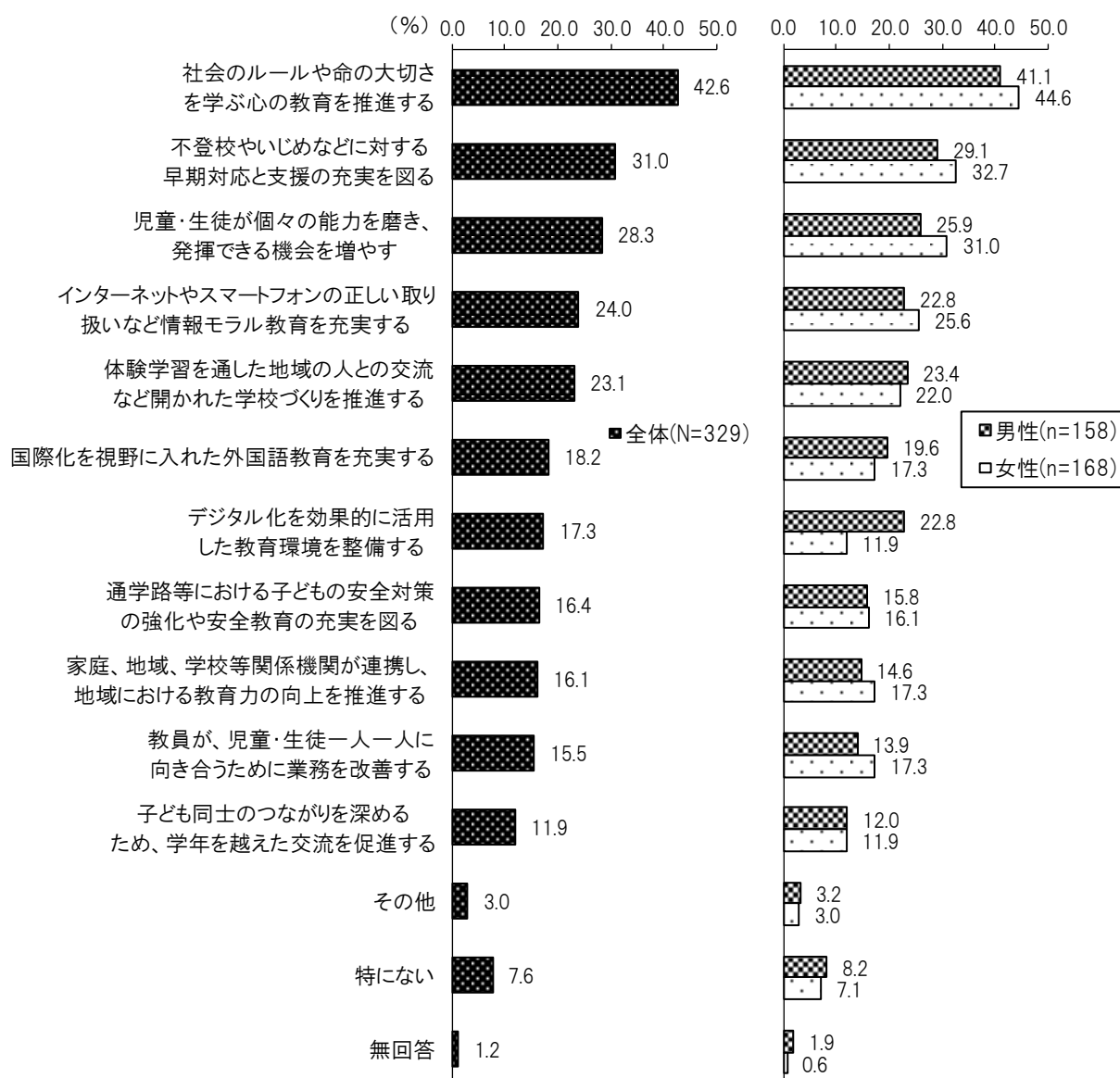
単位 (%)	働きながら子育てできる環境づくりを推進する	妊娠、出産、子育てに関する経済的支援を充実する	小児医療体制を充実する	安全、安心な子どもの遊び場（屋内遊技場など）を充実する	子どもが自然とふれあう場や機会を充実する	出産、子育てに関する情報や気軽に相談できる場所を充実する	子連れでも利用しやすい道路や建物、施設などを整備する	地域住民同士で子育てを助け合う仕組みづくりを推進する	男女が共に子育てに参加できる環境づくりを推進する	子どもへの接し方や育児方法について学べる機会を充実する	同じ世代の保護者と子どもが一緒に集える場を増やす	気軽に参加できる子育てサークルを増やす	その他	特になし
全体(N=329)	54.1	32.2	25.8	25.2	20.4	17.9	17.0	14.0	12.8	12.2	10.6	6.7	2.1	7.0
【年齢別】														
29歳以下(n=32)	37.5	56.3	25.0	25.0	12.5	34.4	12.5	3.1	6.3	12.5	12.5	9.4	0.0	6.3
30代(n=45)	55.6	40.0	31.1	48.9	20.0	8.9	28.9	4.4	15.6	15.6	11.1	4.4	6.7	4.4
40代(n=47)	59.6	34.0	31.9	40.4	17.0	10.6	27.7	6.4	12.8	12.8	6.4	10.6	4.3	0.0
50代(n=53)	50.9	34.0	26.4	11.3	18.9	26.4	15.1	11.3	13.2	13.2	13.2	7.5	1.9	9.4
60代(n=60)	56.7	21.7	26.7	18.3	18.3	18.3	8.3	23.3	8.3	8.3	5.0	0.0	1.7	11.7
70歳以上(n=89)	55.1	25.8	20.2	18.0	25.8	15.7	13.5	22.5	16.9	12.4	14.6	9.0	0.0	7.9

3 質の高い教育環境をつくるために力を入れるべきこと

問 15 質の高い教育環境をつくるために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

質の高い教育環境をつくるために力を入れるべきことについては、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する」の割合が42.6%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る」（31.0%）、「児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす」（28.3%）、「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育を充実する」（24.0%）の順となっている。

性別では、男性は「デジタル化を効果的に活用した教育環境を整備する」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育を充実する」、30代で「国際化を視野に入れた外国語教育を充実する」、40代で「不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る」「児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす」「体験学習を通じた地域の人との交流など開かれた学校づくりを推進する」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

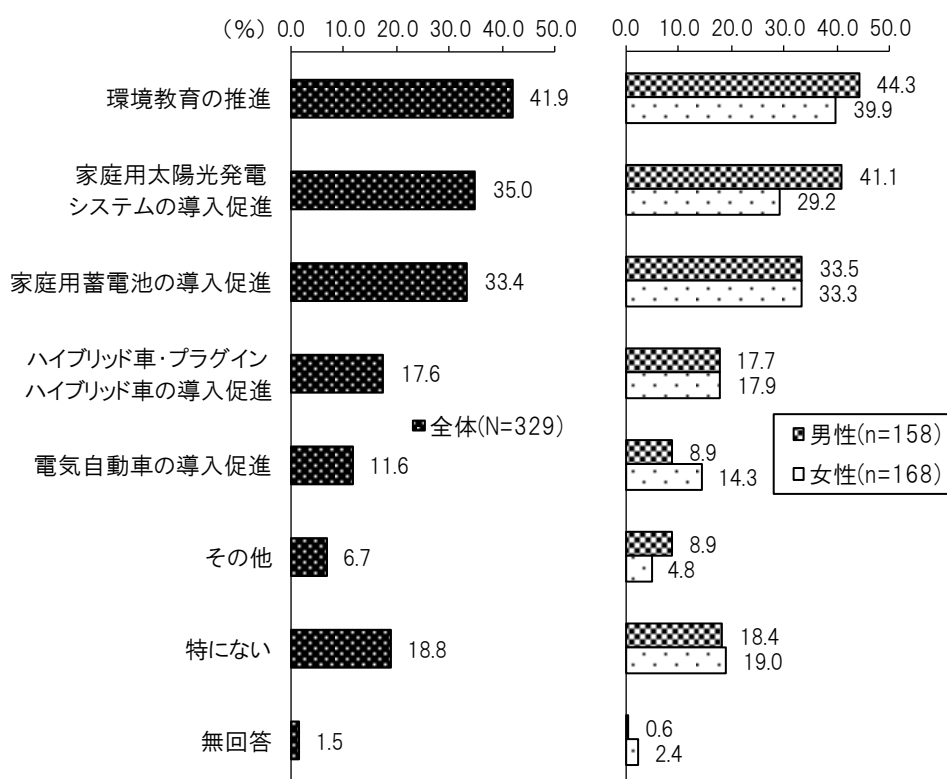
単位（％）	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する	不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る	児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす	正しい取り扱いなど情報モラル教育を充実する	インターネットやスマートフォン教育の充実する	体験学習を通じた地域の人との交流など開かれた学校づくりを推進する	国際化を視野に入れた外国語教育を充実する	デジタル化を効果的に活用した教育環境を整備する	通学路等における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実を図る	家庭、地域、学校等関係機関が連携し、地域における教育力の向上を推進する	教員が、児童・生徒一人一人に向き合うために業務を改善する	子ども同士のつながりを深めるため、学年を越えた交流を促進する	その他	特にな
全体(N=329)	42.6	31.0	28.3	24.0	23.1	18.2	17.3	16.4	16.1	15.5	11.9	3.0	7.6	
【年齢別】														
29歳以下(n=32)	28.1	15.6	25.0	37.5	25.0	15.6	25.0	12.5	18.8	15.6	6.3	6.3	6.3	
30代(n=45)	51.1	26.7	26.7	33.3	24.4	26.7	22.2	26.7	11.1	13.3	8.9	2.2	6.7	
40代(n=47)	23.4	42.6	34.0	23.4	31.9	17.0	21.3	14.9	12.8	25.5	12.8	2.1	2.1	
50代(n=53)	39.6	30.2	24.5	22.6	18.9	17.0	20.8	24.5	17.0	9.4	13.2	5.7	9.4	
60代(n=60)	46.7	25.0	26.7	23.3	20.0	18.3	16.7	10.0	21.7	10.0	5.0	3.3	10.0	
70歳以上(n=89)	52.8	37.1	31.5	16.9	21.3	16.9	9.0	11.2	14.6	18.0	19.1	1.1	9.0	

4 二酸化炭素の排出抑制を進めるために力を入れるべきこと

問 16 あなたは、二酸化炭素の排出抑制を進めるために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

二酸化炭素の排出抑制を進めるために力を入れるべきことについては、「環境教育の推進」の割合が41.9%と最も高く、次いで「家庭用太陽光発電システムの導入促進」(35.0%)、「家庭用蓄電池の導入促進」(33.4%)、「ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車の導入促進」(17.6%)の順となっている。

性別では、男性は「家庭用太陽光発電システムの導入促進」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「特にない」、30～40代で「家庭用蓄電池の導入促進」、50代で「ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車の導入促進」、70歳以上で「環境教育の推進」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

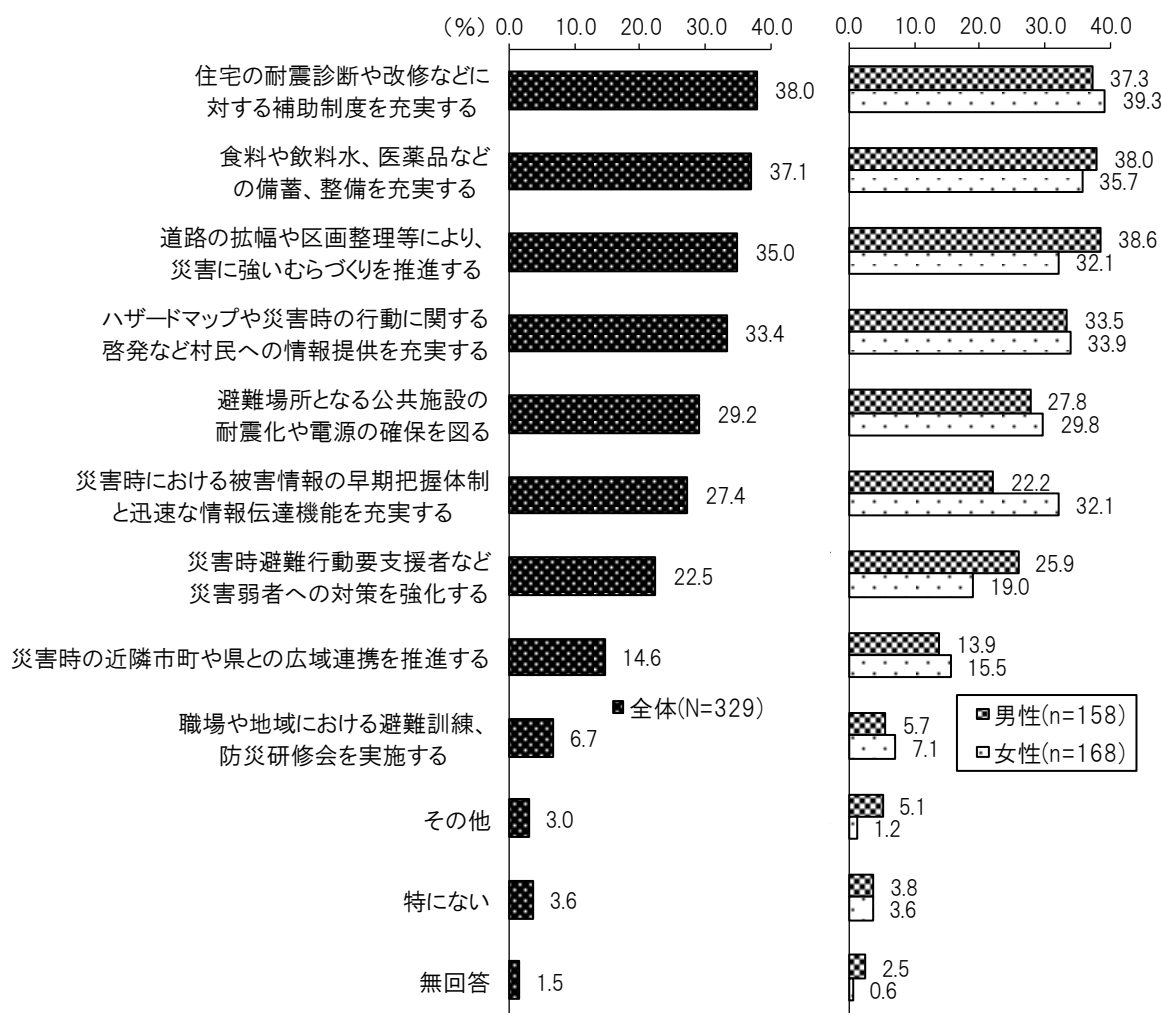
単位 (%)	環境教育の推進	家庭用太陽光発電システムの導入促進	家庭用蓄電池の導入促進	ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車の導入促進	電気自動車の導入促進	その他	特にない
全体(N=329)	41.9	35.0	33.4	17.6	11.6	6.7	18.8
【年齢別】							
29歳以下(n=32)	21.9	21.9	21.9	9.4	6.3	0.0	43.8
30代(n=45)	31.1	35.6	40.0	24.4	11.1	8.9	26.7
40代(n=47)	34.0	42.6	40.4	12.8	17.0	6.4	17.0
50代(n=53)	32.1	37.7	35.8	32.1	18.9	7.5	13.2
60代(n=60)	48.3	25.0	31.7	11.7	5.0	8.3	18.3
70歳以上(n=89)	59.6	40.4	30.3	15.7	11.2	6.7	10.1

5 自然災害による被害を防ぐ取組として力を入れるべきこと

問 17 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

自然災害による被害を防ぐ取組として力を入れるべきことについては、「住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度を充実する」の割合が38.0%と最も高く、次いで「食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備を充実する」（37.1%）、「道路の拡幅や区画整理等により、災害に強いむらづくりを推進する」（35.0%）、「ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など村民への情報提供を充実する」（33.4%）の順となっている。

性別では、女性は「災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、30代で「避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る」、40代で「食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備を充実する」「ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など村民への情報提供を充実する」、50代で「住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度を充実する」、70歳以上で「災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

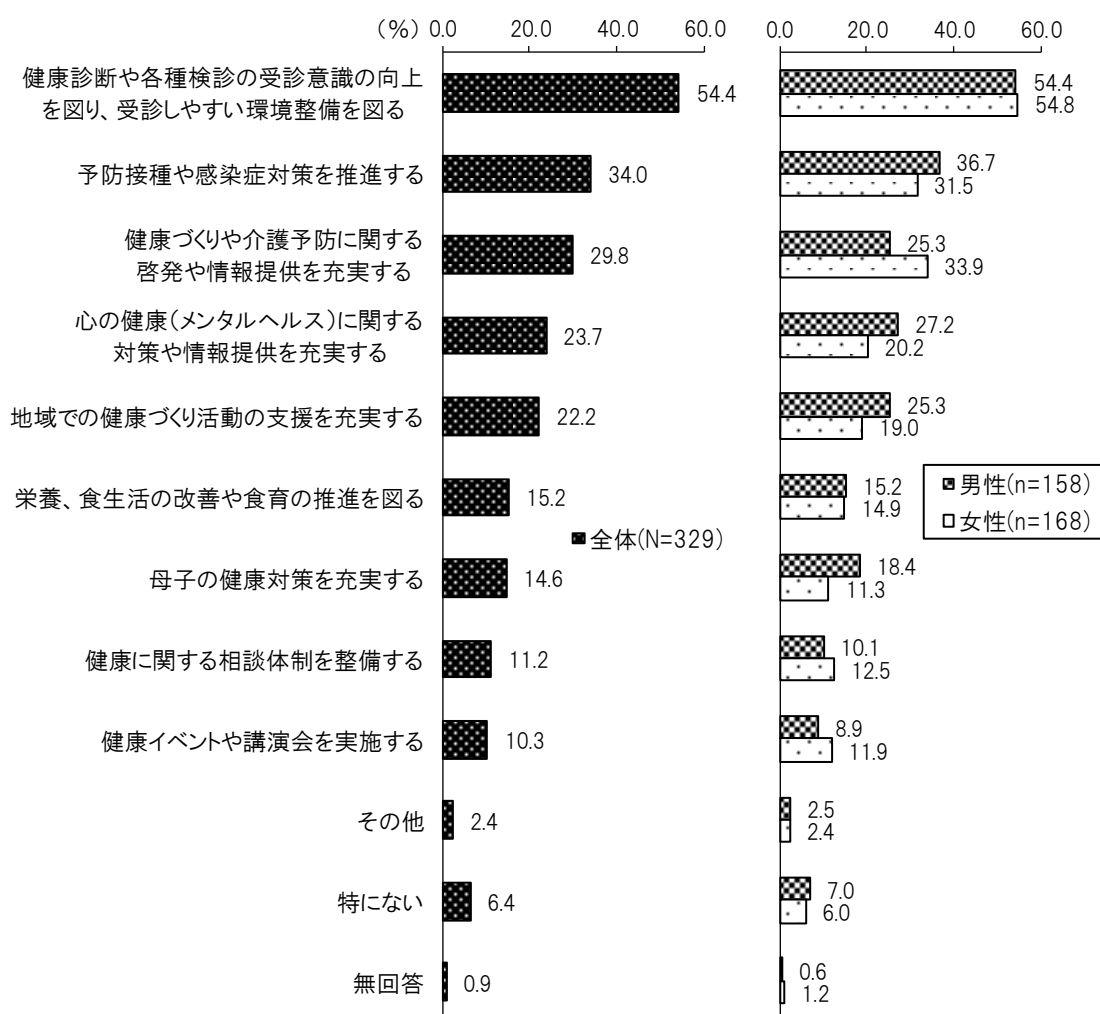
単位 (%)	住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度を充実する	食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備を充実する	道路の幅や区画整理等により、災害に強いむらづくりを推進する	ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など村民への情報提供を充実する	避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る	災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する	災害時避難行動要支援者など災害弱者への対策を強化する	災害時の近隣市町や県との広域連携を推進する	職場や地域における避難訓練、防災研修会を実施する	その他	特になし
全体(N=329)	38.0	37.1	35.0	33.4	29.2	27.4	22.5	14.6	6.7	3.0	3.6
【年齢別】											
29歳以下(n=32)	34.4	43.8	34.4	34.4	31.3	28.1	25.0	9.4	6.3	0.0	3.1
30代(n=45)	40.0	40.0	40.0	33.3	40.0	17.8	13.3	15.6	8.9	6.7	4.4
40代(n=47)	34.0	48.9	40.4	44.7	25.5	19.1	14.9	17.0	4.3	2.1	4.3
50代(n=53)	49.1	35.8	34.0	20.8	32.1	22.6	28.3	9.4	3.8	5.7	5.7
60代(n=60)	33.3	25.0	30.0	33.3	23.3	30.0	25.0	16.7	8.3	1.7	5.0
70歳以上(n=89)	37.1	34.8	34.8	36.0	27.0	36.0	23.6	16.9	7.9	2.2	1.1

6 健康づくりを推進するために力を入れるべきこと

問 18 村民の健康づくりを推進するために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

健康づくりを推進するために力を入れるべきことについては、「健康診断や各種検診の受診意識の向上を図り、受診しやすい環境整備を図る」の割合が54.4%と最も高く、次いで「予防接種や感染症対策を推進する」（34.0%）、「健康づくりや介護予防に関する啓発や情報提供を充実する」（29.8%）、「心の健康（メンタルヘルス）に関する対策や情報提供を充実する」（23.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「心の健康（メンタルヘルス）に関する対策や情報提供を充実する」「地域での健康づくり活動の支援を充実する」などの割合が高く、女性は「健康づくりや介護予防に関する啓発や情報提供を充実する」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「健康診断や各種検診の受診意識の向上を図り、受診しやすい環境整備を図る」「予防接種や感染症対策を推進する」「母子の健康対策を充実する」、30代で「栄養、食生活の改善や食育の推進を図る」、70歳以上で「健康づくりや介護予防に関する啓発や情報提供を充実する」「地域での健康づくり活動の支援を充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

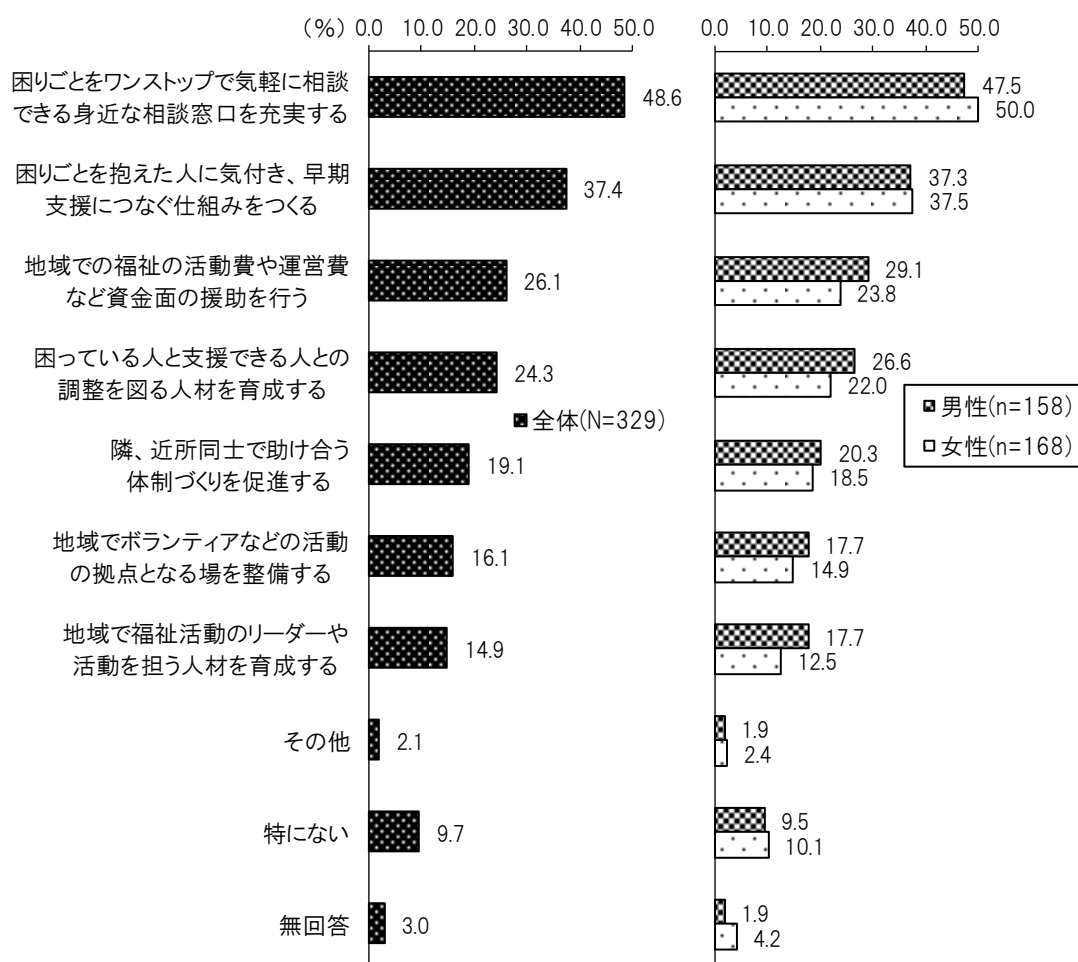
単位 (%)	健康診断や各種検診の受診意識の向上を図る	予防接種や感染症対策を推進する	健康づくりや介護予防に関する啓発や情報提供を充実する	心の健康（メンタルヘルス）に関する対策や情報提供を充実する	地域での健康づくり活動の支援を充実する	栄養、食生活の改善や食育の推進を図る	母子の健康対策を充実する	健康に関する相談体制を整備する	健康イベントや講演会を実施する	その他	特になし
全体(N=329)	54.4	34.0	29.8	23.7	22.2	15.2	14.6	11.2	10.3	2.4	6.4
【年齢別】											
29歳以下(n=32)	62.5	43.8	12.5	28.1	6.3	12.5	34.4	9.4	0.0	3.1	3.1
30代(n=45)	51.1	24.4	20.0	31.1	15.6	24.4	26.7	6.7	15.6	6.7	13.3
40代(n=47)	51.1	31.9	21.3	29.8	21.3	12.8	17.0	19.1	10.6	4.3	8.5
50代(n=53)	56.6	34.0	32.1	22.6	5.7	9.4	15.1	18.9	15.1	0.0	7.5
60代(n=60)	51.7	30.0	30.0	20.0	30.0	13.3	5.0	11.7	6.7	1.7	5.0
70歳以上(n=89)	56.2	38.2	42.7	18.0	37.1	16.9	6.7	5.6	11.2	1.1	3.4

7 地域福祉を推進するために力を入れるべきこと

問 19 地域福祉を推進するために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

地域福祉を推進するために力を入れるべきことについては、「困りごとをワンストップで気軽に相談できる身近な相談窓口を充実する」の割合が48.6%と最も高く、次いで「困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなぐ仕組みをつくる」（37.4%）、「地域での福祉の活動費や運営費など資金面の援助を行う」（26.1%）、「困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する」（24.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「地域での福祉の活動費や運営費など資金面の援助を行う」「困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する」などの割合が高くなっている。



年齢別では、30～40代で「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」、50代で「困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する」、70歳以上で「地域での福祉の活動費や運営費など資金面の援助を行う」「隣、近所同士で助け合う体制づくりを促進する」「地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材を育成する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

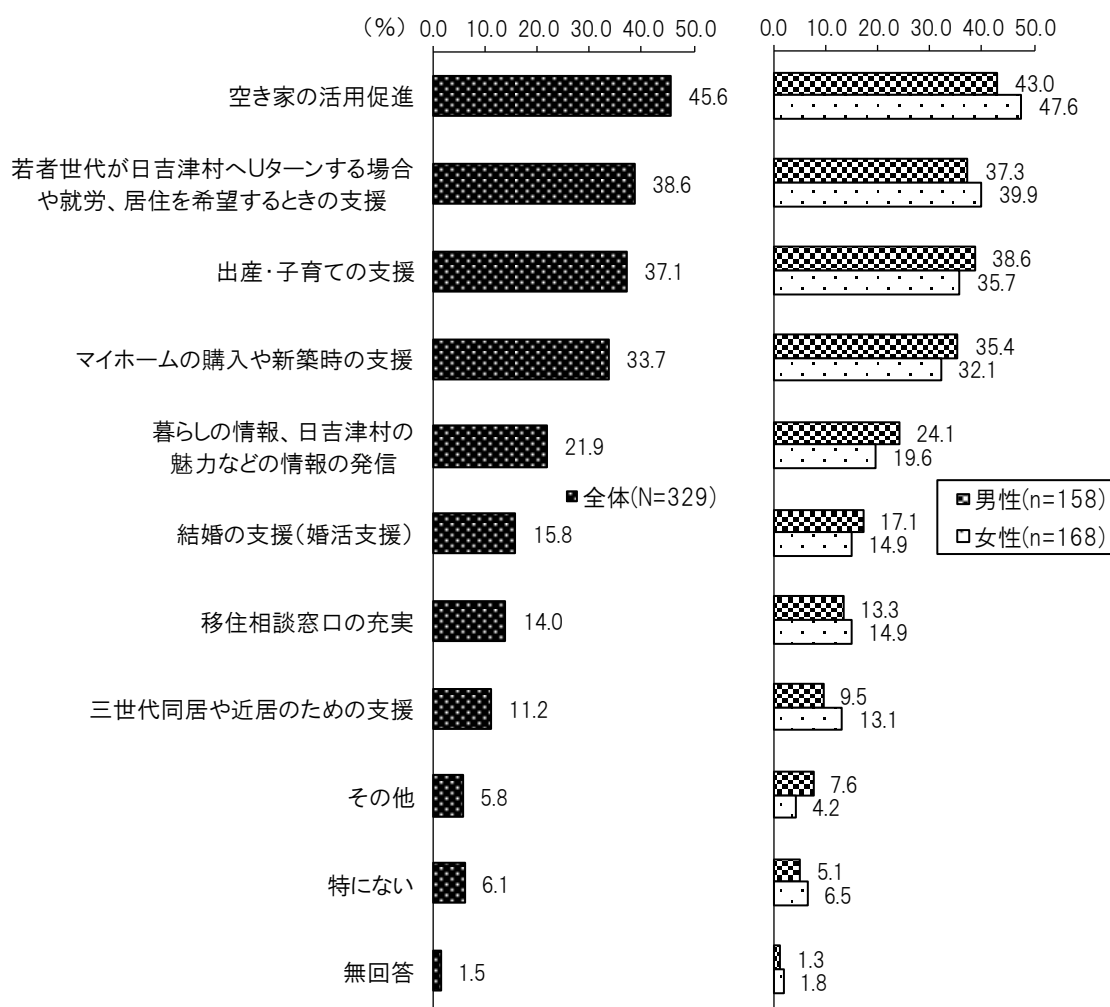
単位 (%)	充実に相 談できる 身近な相 談窓口を 軽	困りごと をワンズ トツプで 気	早期支 援につな ぐ仕組 みをつ く	困りごと を抱えた 人に気 付き、	地域での 福祉の活 動費や運 営費	の調整を 図る人と 支援でき る人と	隣、近所 同士で助 け合う体 制づく	の拠点と なる場を 整備する	地域で福 祉活動の リーダー や活	その他	特 に な い
全体(N=329)	48.6	37.4	26.1	24.3	19.1	16.1	14.9	2.1	9.7		
【年齢別】											
29歳以下(n=32)	50.0	34.4	21.9	21.9	18.8	18.8	0.0	0.0	6.3		
30代(n=45)	42.2	35.6	22.2	26.7	17.8	24.4	17.8	6.7	8.9		
40代(n=47)	51.1	42.6	23.4	27.7	10.6	23.4	8.5	0.0	14.9		
50代(n=53)	43.4	34.0	28.3	34.0	9.4	17.0	5.7	3.8	17.0		
60代(n=60)	55.0	33.3	23.3	23.3	18.3	11.7	8.3	3.3	10.0		
70歳以上(n=89)	49.4	41.6	32.6	16.9	31.5	9.0	31.5	0.0	4.5		

8 移住支援や定住促進を進めるために力を入れるべきこと

問 20 日吉津村への移住支援や定住促進を進めるために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

移住支援や定住促進を進めるために力を入れるべきことについては、「空き家の活用促進」の割合が45.6%と最も高く、次いで「若者世代が日吉津村へUターンする場合や就労、居住を希望するときの支援」（38.6%）、「出産・子育ての支援」（37.1%）、「マイホームの購入や新築時の支援」（33.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「暮らしの情報、日吉津村の魅力などの情報の発信」の割合がやや高く、女性は「空き家の活用促進」の割合が男性をやや上回っている。



年齢別では、29 歳以下で「マイホームの購入や新築時の支援」「結婚の支援(婚活支援)」、30 代で「空き家の活用促進」「出産・子育ての支援」、60 代で「若者世代が日吉津村へ U ターンする場合や就労、居住を希望するときの支援」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で「暮らしの情報、日吉津村の魅力などの情報の発信」、U ターンで「空き家の活用促進」「若者世代が日吉津村へ U ターンする場合や就労、居住を希望するときの支援」、転入者で「出産・子育ての支援」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

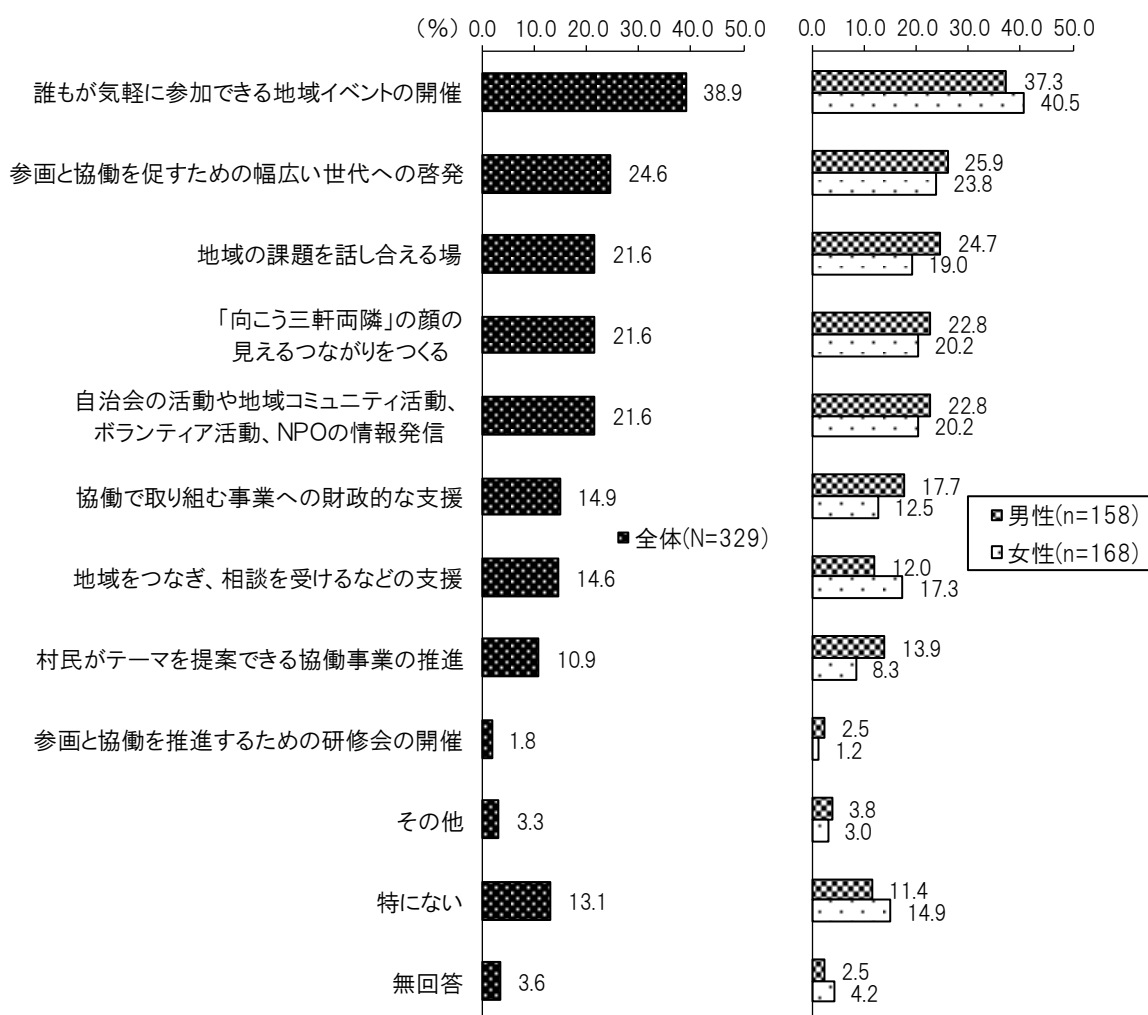
単位 (%)	空き家の活用促進	若者世代が日吉津村へ U ターンする場合や就労、居住を希望するときの支援	出産・子育ての支援	マイホームの購入や新築時の支援	暮らしの情報、日吉津村の魅力などの情報の発信	結婚の支援(婚活支援)	移住相談窓口の充実	三世帯同居や近居のための支援	その他	特になし
全体(N=329)	45.6	38.6	37.1	33.7	21.9	15.8	14.0	11.2	5.8	6.1
【年齢別】										
29歳以下(n=32)	34.4	37.5	50.0	53.1	31.3	25.0	3.1	3.1	6.3	6.3
30代(n=45)	57.8	22.2	60.0	40.0	13.3	15.6	6.7	6.7	11.1	4.4
40代(n=47)	48.9	36.2	44.7	44.7	17.0	8.5	8.5	17.0	4.3	6.4
50代(n=53)	45.3	43.4	39.6	24.5	17.0	11.3	15.1	11.3	7.5	7.5
60代(n=60)	50.0	48.3	18.3	18.3	18.3	15.0	18.3	6.7	6.7	8.3
70歳以上(n=89)	38.2	39.3	28.1	32.6	31.5	20.2	21.3	16.9	2.2	3.4
【居住歴別】										
出身者(n=49)	34.7	34.7	28.6	36.7	36.7	14.3	8.2	16.3	8.2	2.0
Uターン(n=57)	57.9	47.4	31.6	26.3	17.5	17.5	10.5	14.0	7.0	3.5
転入者(n=219)	44.7	37.9	40.6	35.2	20.1	16.0	16.0	9.6	5.0	7.3

9 むらづくりに参画・協働していくために力を入れるべきこと

問 21 様々な主体が積極的にむらづくりに参画・協働していくために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

むらづくりに参画・協働していくために力を入れるべきことについては、「誰もが気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が38.9%と最も高く、次いで「参画と協働を促すための幅広い世代への啓発」（24.6%）、「地域の課題を話し合える場」「向こう三軒両隣の顔の見えるつながりをつくる」「自治会の活動や地域コミュニティ活動、ボランティア活動、NPOの情報発信」（各21.6%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「地域の課題を話し合える場」「協働で取り組む事業への財政的な支援」「村民がテーマを提案できる協働事業の推進」の割合が高く、女性は「地域をつなぎ、相談を受けるなどの支援」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「協働で取り組む事業への財政的な支援」、30代で「誰もが気軽に参加できる地域イベントの開催」、70歳以上で「参画と協働を促すための幅広い世代への啓発」「向こう三軒両隣の顔の見えるつながりをつくる」「自治会の活動や地域コミュニティ活動、ボランティア活動、NPOの情報発信」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

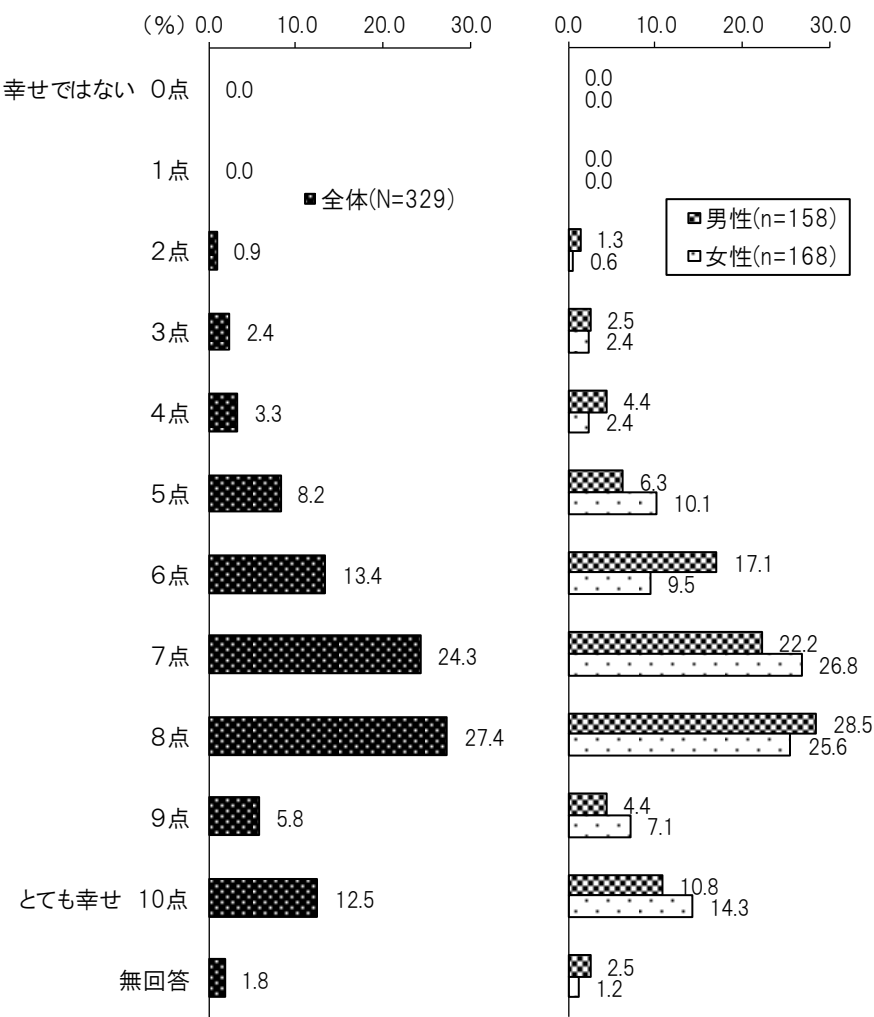
単位 (%)	誰もが気軽に参加できる地域イベントの開催	参画と協働を促すための幅広い世代への啓発	地域の課題を話し合える場	「向こう三軒両隣の顔の見えるつながりをつくる」	NPOの情報発信	自治会の活動や地域コミュニティ活動、ボランティア活動	協働で取り組む事業への財政的な支援	地域の支援、相談を受けるなど	村民がテーマを提案できる協働事業の推進	参画と協働を推進するための研修会の開催	その他	特になし
全体(N=329)	38.9	24.6	21.6	21.6	21.6	14.9	14.6	10.9	1.8	3.3	13.1	
【年齢別】												
29歳以下(n=32)	21.9	28.1	28.1	12.5	15.6	31.3	6.3	18.8	3.1	3.1	12.5	
30代(n=45)	55.6	17.8	17.8	20.0	24.4	11.1	11.1	13.3	2.2	4.4	15.6	
40代(n=47)	48.9	21.3	17.0	6.4	12.8	19.1	23.4	19.1	0.0	4.3	10.6	
50代(n=53)	32.1	17.0	26.4	17.0	11.3	9.4	22.6	7.5	5.7	9.4	18.9	
60代(n=60)	35.0	25.0	23.3	20.0	21.7	13.3	11.7	5.0	0.0	1.7	16.7	
70歳以上(n=89)	37.1	33.7	20.2	38.2	32.6	13.5	12.4	7.9	1.1	0.0	7.9	

10 幸福度

問 22 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「幸せではない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は 1 つ)

幸福度については、「8 点」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「7 点」(24.3%)、「6 点」(13.4%)、「10 点」(12.5%) の順となっており、全体の平均点数は 7.2 点となっている。

性別では、男性は女性に比べて「6 点」の割合が高くなっている。



	平均(点)
全体(N=329)	7.2
男性(n=158)	7.1
女性(n=168)	7.3

年齢別では、29歳以下で「6点」「9点」、40代で「5点」、50代で「7点」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

居住歴別でみると、出身者で「6点」、Uターンで「5点」、転入者で「8点」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	0点 幸せではない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	平均(点)
全体(N=329)	0.0	0.0	0.9	2.4	3.3	8.2	13.4	24.3	27.4	5.8	12.5	7.2
【年齢別】												
29歳以下(n=32)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	21.9	31.3	15.6	12.5	9.4	7.4
30代(n=45)	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	4.4	8.9	26.7	33.3	6.7	13.3	7.5
40代(n=47)	0.0	0.0	2.1	0.0	6.4	14.9	12.8	19.1	27.7	2.1	12.8	7.0
50代(n=53)	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	5.7	13.2	34.0	18.9	1.9	20.8	7.4
60代(n=60)	0.0	0.0	1.7	5.0	3.3	8.3	15.0	20.0	33.3	5.0	6.7	6.9
70歳以上(n=89)	0.0	0.0	0.0	3.4	2.2	9.0	11.2	21.3	29.2	7.9	12.4	7.3
【居住歴別】												
出身者(n=49)	0.0	0.0	2.0	4.1	4.1	6.1	22.4	20.4	20.4	6.1	14.3	7.0
Uターン(n=57)	0.0	0.0	1.8	1.8	5.3	14.0	17.5	22.8	24.6	1.8	8.8	6.8
転入者(n=219)	0.0	0.0	0.5	2.3	2.7	7.3	10.0	25.1	29.7	6.8	13.2	7.4

【3】むらづくりの満足度と重要度について

1 各施策の満足度と重要度

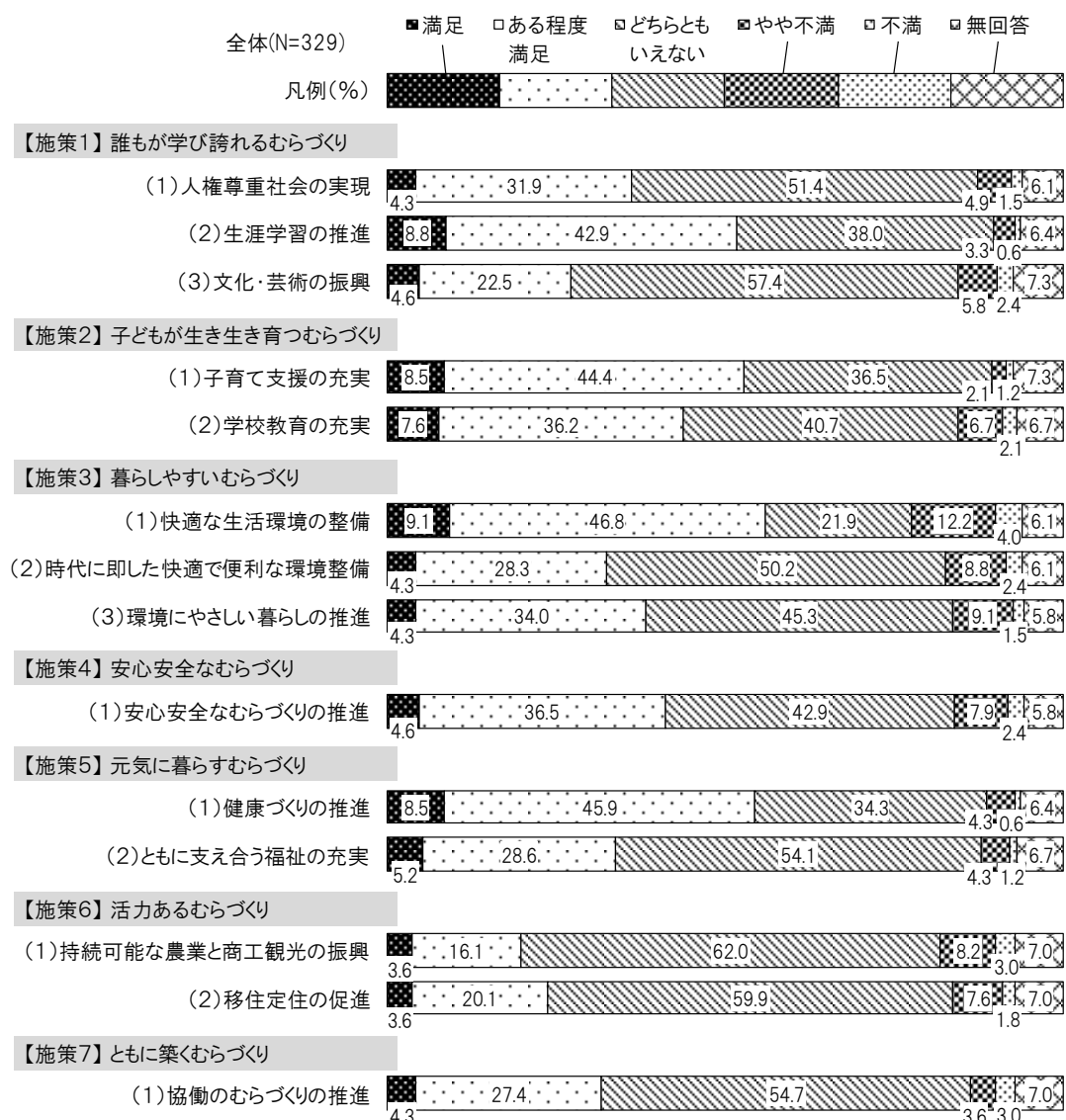
問 23 日吉津村の各施策についてお尋ねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。
(回答はそれぞれ1つずつ)

(1) 満足度

各施策 14 項目について、現在の満足度を 5 段階評価で質問したところ、「満足」「ある程度満足」の合計割合が最も高かったのは「施策 3 (1) 快適な生活環境の整備」(55.9%)で、以下「施策 5 (1) 健康づくりの推進」(54.4%)、「施策 2 (1) 子育て支援の充実」(52.9%)、「施策 1 (2) 生涯学習の推進」(51.7%) の順となっている。

一方、「不満」「やや不満」の合計割合が最も高かったのは「施策 3 (1) 快適な生活環境の整備」(16.2%)で、以下「施策 3 (2) 時代に即した快適で便利な環境整備」「施策 6 (1) 持続可能な農業と商工観光の振興」(各 11.2%)、「施策 3 (3) 環境にやさしい暮らしの推進」(10.6%) の順となっている。

「施策 3 (1) 快適な生活環境の整備」は、満足度が高い一方で、不満も比較的高くなっている。



【参考／施策一覧】

【施策１】誰もが学び誇れるむらづくり	
(１) 人権尊重社会の実現	お互いを認め尊重し合う、人権尊重のむらづくり、人権教育・研修の充実など
(２) 生涯学習の推進	家庭、地域、学校の連携（GUTS 日吉津っ子の育成）の推進、ヴィレステひえづにおける学びの場の充実など
(３) 文化・芸術の振興	日吉津村の歴史や文化についての理解の促進、芸術に親しむ機会の充実など
【施策２】子どもが生き生き育つむらづくり	
(１) 子育て支援の充実	妊娠から子育てまで切れ目のない支援、子育て環境の整備など
(２) 学校教育の充実	質の高い教育環境の実現、地域と共にある学校教育の実践など
【施策３】暮らしやすいむらづくり	
(１) 快適な生活環境の整備	道路施設や通学路、下水道の適正な維持、管理、安心・安全な公園施設の維持、管理など
(２) 時代に即した快適で便利な環境整備	デジタルを活用した行政手続きのオンライン化、暮らしにおけるデジタル化の推進など
(３) 環境にやさしい暮らしの推進	ごみ減量化や不法投棄の防止、二酸化炭素の排出抑制、公害防止対策など
【施策４】安心安全なむらづくり	
(１) 安心安全なむらづくりの推進	災害に強い組織づくり、災害時の村民の協力体制の確立、防犯対策や交通安全対策など
【施策５】元気に暮らすむらづくり	
(１) 健康づくりの推進	保健・介護・医療の一体的な取組の推進、村民の健康寿命の延伸、地域の健康づくり活動への支援など
(２) とともに支え合う福祉の充実	相談窓口の充実、地域で支え合う意識の醸成、悩みを抱える人の早期発見・対応など
【施策６】活力あるむらづくり	
(１) 持続可能な農業と商工観光の振興	意欲的に農業に取り組める環境づくり、中小企業者の経営支援、観光資源の魅力向上、PR など
(２) 移住定住の促進	仕事・住まい・結婚を総合的にサポートし、U・J・I ターン及び移住定住の促進など
【施策７】ともに築くむらづくり	
(１) 協働のむらづくりの推進	村民と行政の協働によるむらづくりの推進、自治会やコミュニティ活動の活性化など

【 満足度／平均評定値による集計 】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「ある程度満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に＋10点、「ある程度満足」に＋5点、「やや不満」に－5点、「不満」に－10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

$$\left[\left(\text{「満足」の回答件数} \right) \times 10 \text{（点）} + \left(\text{「ある程度満足」の回答件数} \right) \times 5 \text{（点）} + \left(\text{「やや不満」の回答件数} \right) \times -5 \text{（点）} + \left(\text{「不満」の回答件数} \right) \times -10 \text{（点）} + \left(\text{「どちらともいえない」の回答件数} \right) \times 0 \text{（点）} \right] \div \left[\text{回答者件数} - \text{無回答件数} \right]$$

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、満足度評価が最も高い施策は「施策2（1）子育て支援の充実」「施策5（1）健康づくりの推進」（各3.07）で、以下「施策1（2）生涯学習の推進」（2.99）、「施策3（1）快適な生活環境の整備」（2.39）、「施策2（2）学校教育の充実」（2.17）の順となっている。

一方、相対的に満足度評価が低い施策としては、「施策6（1）持続可能な農業と商工観光の振興」（0.49）、「施策6（2）移住定住の促進」（0.87）、「施策1（3）文化・芸術の振興」（1.13）、「施策3（2）時代に即した快適で便利な環境整備」（1.23）、「施策7（1）協働のむらづくりの推進」（1.41）などがあげられる。

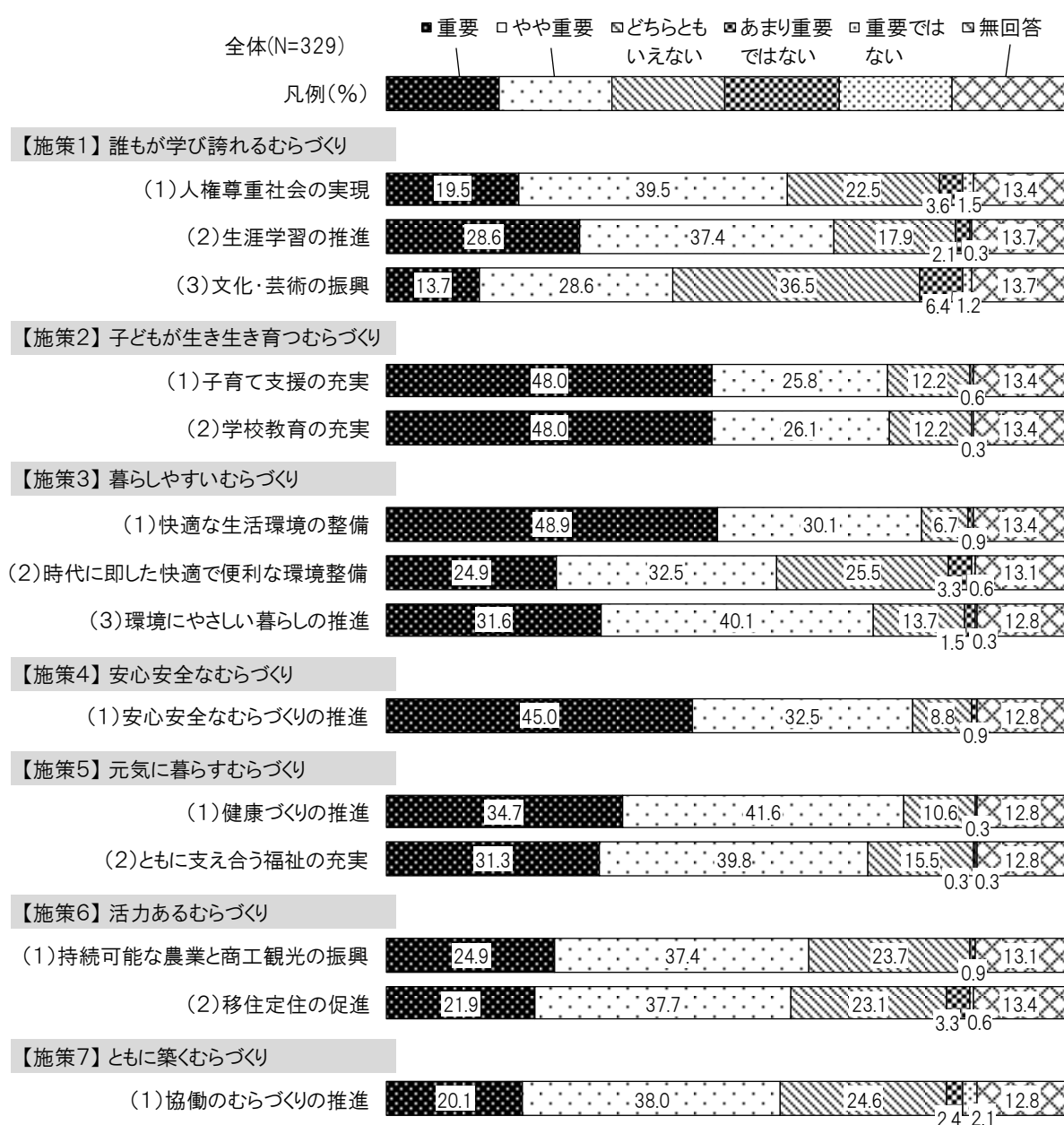
全体(N=329)



(2) 重要度

各施策14項目について、重要度を5段階評価で質問したところ、「重要」「やや重要」の合計割合が最も高かったのは「施策3（1）快適な生活環境の整備」（79.0%）で、以下「施策4（1）安心安全なむらづくりの推進」（77.5%）、「施策5（1）健康づくりの推進」（76.3%）、「施策2（2）学校教育の充実」（74.1%）、「施策2（1）子育て支援の充実」（73.8%）の順となっている。

一方、「重要ではない」「あまり重要ではない」の合計割合が最も高かったのは「施策1（3）文化・芸術の振興」（7.6%）で、以下「施策1（1）人権尊重社会の実現」（5.1%）、「施策7（1）協働のむらづくりの推進」（4.5%）、「施策3（2）時代に即した快適で便利な環境整備」「施策6（2）移住定住の促進」（各3.9%）の順となっている。



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「重要度」については「重要」「やや重要」への回答とともに、「あまり重要ではない」「重要ではない」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「重要」に＋10点、「やや重要」に＋5点、「あまり重要ではない」に－5点、「重要ではない」に－10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「重要」の回答件数）×10（点）＋（「やや重要」の回答件数）×5（点）＋（「あまり重要ではない」の回答件数）×－5（点）＋（「重要ではない」の回答件数）×－10（点）＋（「どちらともいえない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

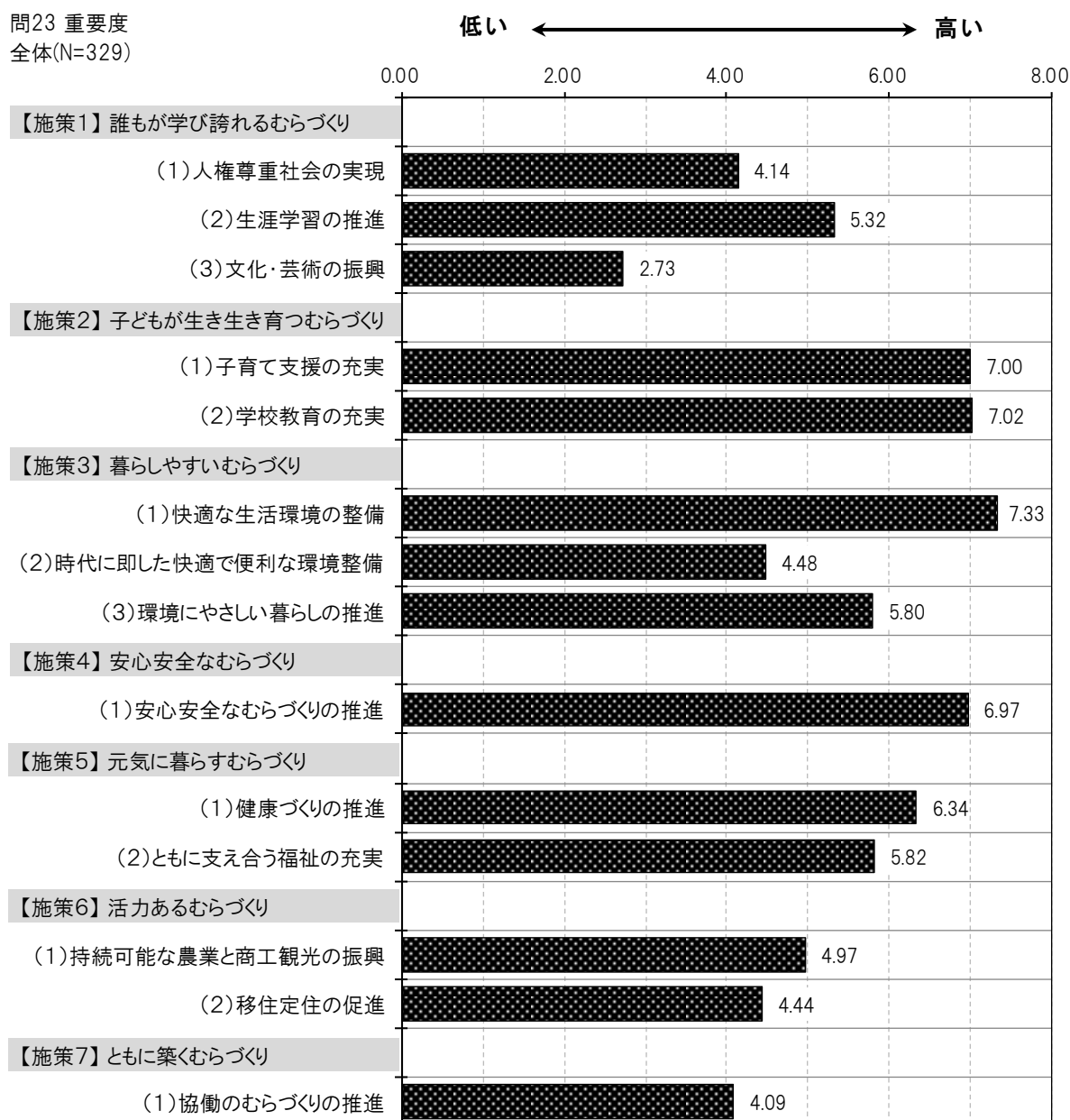
の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「施策3（1）快適な生活環境の整備」（7.33）で、以下「施策2（2）学校教育の充実」（7.02）、「施策2（1）子育て支援の充実」（7.00）、「施策4（1）安心安全なむらづくりの推進」（6.97）、「施策5（1）健康づくりの推進」（6.34）の順となっている。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「施策1（3）文化・芸術の振興」（2.73）、「施策7（1）協働のむらづくりの推進」（4.09）、「施策1（1）人権尊重社会の実現」（4.14）、「施策6（2）移住定住の促進」（4.44）、「施策3（2）時代に即した快適で便利な環境整備」（4.48）などがあげられる。

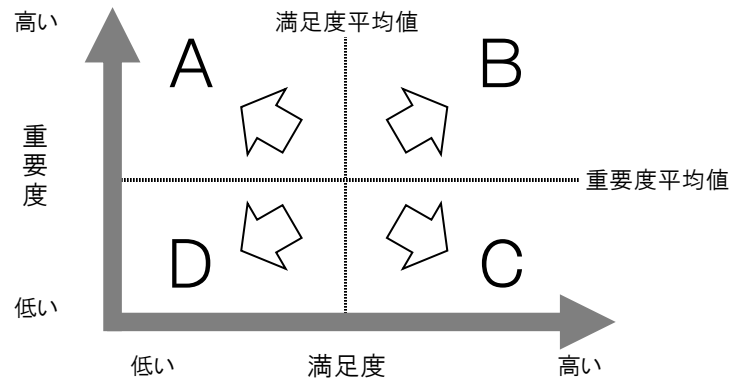
問23 重要度
全体(N=329)



(3) 各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の割合をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、14の施策を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたがい、以下のような傾向を示している。

A 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域

B 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

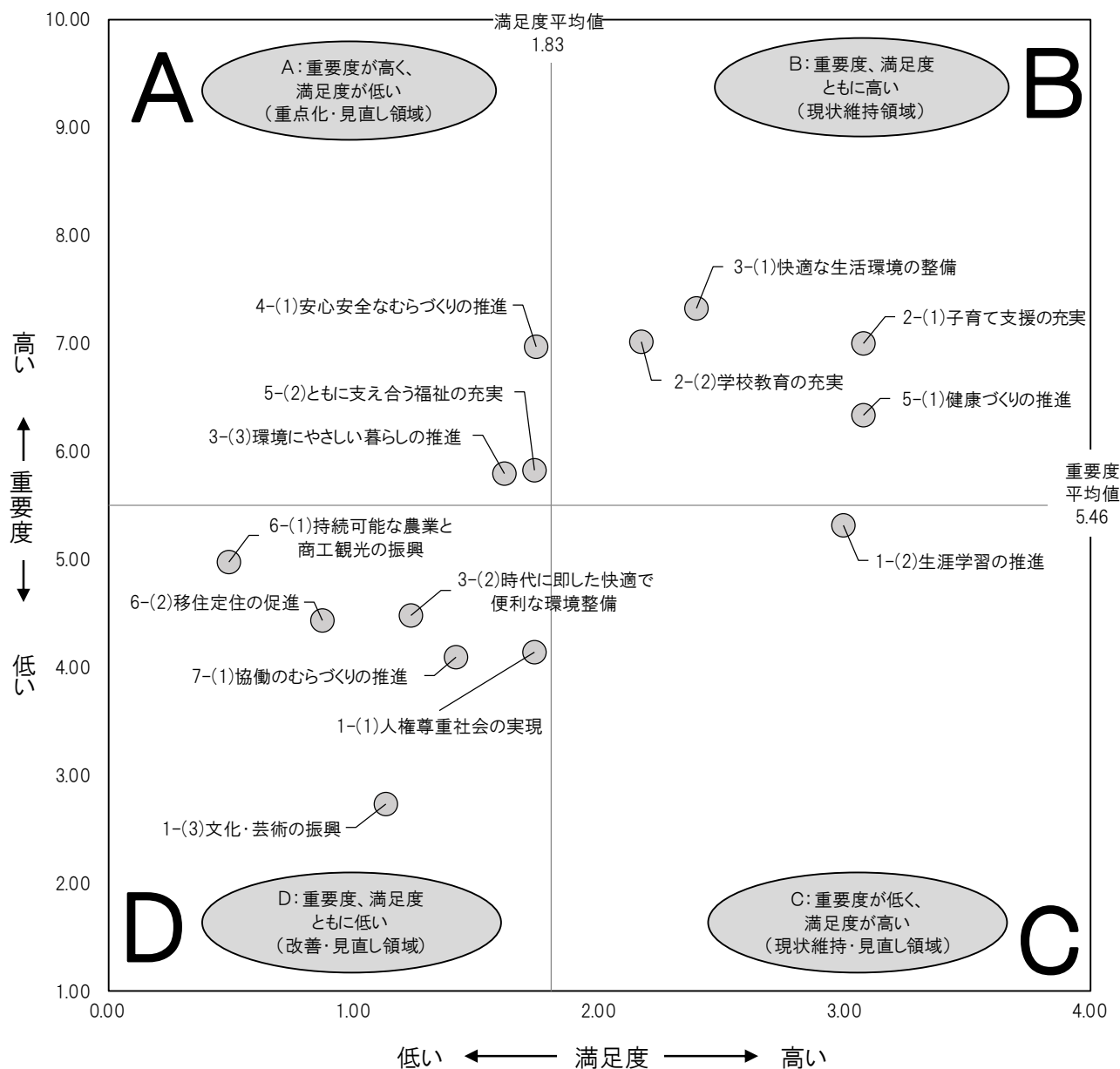
重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域

C 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域

D 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域



【施策1】誰もが学び誇れるむらづくり	領域
(1) 人権尊重社会の実現	D
(2) 生涯学習の推進	C
(3) 文化・芸術の振興	D
【施策2】子どもが生き生き育つむらづくり	領域
(1) 子育て支援の充実	B
(2) 学校教育の充実	B
【施策3】暮らしやすいむらづくり	領域
(1) 快適な生活環境の整備	B
(2) 時代に即した快適で便利な環境整備	D
(3) 環境にやさしい暮らしの推進	A

【施策4】安心安全なむらづくり	領域
(1) 安心安全なむらづくりの推進	A
【施策5】元気に暮らすむらづくり	領域
(1) 健康づくりの推進	B
(2) ともに支え合う福祉の充実	A
【施策6】活力あるむらづくり	領域
(1) 持続可能な農業と商工観光の振興	D
(2) 移住定住の促進	D
【施策7】ともに築くむらづくり	領域
(1) 協働のむらづくりの推進	D

【 A 重点化・見直し領域 】

A 重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策4】（1）安心安全なむらづくりの推進	1.74	6.97
【施策5】（2）ともに支え合う福祉の充実	1.73	5.82
【施策3】（3）環境にやさしい暮らしの推進	1.61	5.80

注：表は重要度が高い順に並べ替えている。（以下同様）

【 B 現状維持領域 】

B 現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策3】（1）快適な生活環境の整備	2.39	7.33
【施策2】（2）学校教育の充実	2.17	7.02
【施策2】（1）子育て支援の充実	3.07	7.00
【施策5】（1）健康づくりの推進	3.07	6.34

【 C 現状維持・見直し領域 】

C 現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策1】（2）生涯学習の推進	2.99	5.32

【 D 改善・見直し領域 】

D 改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策6】（1）持続可能な農業と商工観光の振興	0.49	4.97
【施策3】（2）時代に即した快適で便利な環境整備	1.23	4.48
【施策6】（2）移住定住の促進	0.87	4.44
【施策1】（1）人権尊重社会の実現	1.73	4.14
【施策7】（1）協働のむらづくりの推進	1.41	4.09
【施策1】（3）文化・芸術の振興	1.13	2.73

【4】自由記述回答集約結果

問 24 あなたが将来に向けて日吉津村の行政に望むことや、むらづくりに関するご意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

むらづくりについて、意見や提案等を自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、回答の意図を変えない範囲で誤字等の修正を行った上で掲載している。

【1】子育て支援の充実について

- ・小さい子どもや学生が安心して学び・遊び・成長できる環境を整えるために、施設の充実をさせることが大切だと思います。（日吉津下口・男性 19 歳以下）
- ・出産・子育てに関する支援金を手厚くしてほしい。（日吉津下口・男性 20 代）
- ・将来に渡り、安心して子育てができる環境、マイホーム取得に関する補助金を来年度以降もぜひお願いしたいです。（日吉津下口・男性 20 代）
- ・育った村を誇りに思えること。今後の世代の子育て支援。子どもたちが遊ぶ場を残すこと。（日吉津下口・男性 20 代）
- ・国にできない、村だからできる子育て支援を充実させていくと、日吉津村の繁栄のためにもなると思う。（今吉・男性 20 代）
- ・祝日保育をできるようにしてほしい。日曜日・祝日が休みとなると、正社員で働くことが難しい。物価高騰による生活が困難。現金または商品券などの支給をしてほしい。税金、保育料（1 子、2 子）を無料にしてほしい。（日吉津上 2・女性 30 代）
- ・子どもが多いので、村から何かしら支援や取組をしてほしい。産後の支援（経済支援）を強化してほしい。（海川・女性 30 代）
- ・村内に小児科の病院があるとよい。また病児保育の受入れ体制（場の提供）や利用料の補助等、子どもの医療体制に力を入れてもらいたい。（富吉・女性 30 代）
- ・子育て中のため、子育て・教育環境への要望が多くなりますが、こども園・小規模保育所・児童館の広さや人員の十分な確保、小学校の給食費の保護者負担なしを望みます。（今吉・女性 30 代）
- ・子どもたちが遊べる公園がほしい。（日吉津上 2・女性 40 代）
- ・空き家を活用し、子育て支援のサポートをしたい。（今吉・女性 40 代）
- ・若い方が安心して出産・育児・仕事ができる仕組みを作っていただきたいです。経済的な支援も充実させてほしいです。（今吉・女性 40 代）
- ・人口が増えている本村だからこそ、今後も…入居者・子ども世帯に優しい取組は大切だと思います。（日吉津上 1・女性 50 代）
- ・他の市・町などに比べ村の産後ケアは、どういうことをしているのでしょうか。母親のケアも大事ではないかと思い、気になりました。（海川・女性 70 代）

【2】学校教育の充実について

- ・学校も村内で保育園から高校までできると嬉しいです。（日吉津下口・女性 30 代）
- ・小学校では、毎年のように先生が休職されたり、担任のクラスから離れたりとされています。学校が忙しいことは承知していますが、子どもたちの学習や生活への影響を考えると、何か対策が必要ではないでしょうか。（富吉・女性 40 代）
- ・今後、子どもたちの教育、食育、またさまざまな情報共有が密になることを期待します。（日吉津上 1・男性 50 代）
- ・【日吉津小学校での教育の面での取組改善】デジタル化や、英語早期教育（国際化？）などに熱心に取り組むことや、いわゆるできのよい子を作ることに（学力テストの点数がよいと喜ぶなど）熱中するなどをやめること。村民の税金を使ってよい子を作っても、大学を出て都会に出てしまい郷土に帰ってこない。農業や漁業や林業といった（第一次産業）大切な仕事に関する教育に税金を使うこと。国際化（グローバル化など、いったい何の意味があるのだ？）などといって、今の時代に選ばれた小学生の子どもだけと教育委員会関係者（教育庁なども）を外国に行かせるお金があるなら、日吉津小学校の経済的に大変な家庭を助けた方がよい。※日吉津小学校での教育は村政としての責任であって、小学校関係者の責任ではない点に注意が必要である。（日吉津下口・男性 60 代）

【3】快適な生活環境の整備について

- ・遊び場が増えると嬉しい。（日吉津下口・女性 19 歳以下）
- ・今、持ち家がある訳でもなく転勤があるため、日吉津村に永住する予定もないので、町内会には入りたくない。しかしゴミを捨てることはしたいので、町内会に入ってもゴミを捨てられる場所があったらとても嬉しいと思っている。除雪をもっとしてほしい。数日で溶けるとはいえ、家の前の道路はひどかった。新しい店は沢山できているが道路が狭いため、いつもあぶないと思いながら運転している。道路の幅も広くしてほしい。（今吉・女性 20 代）
- ・もっと細かい道や住宅街も除雪してほしい。（今吉・女性 20 代）
- ・渋滞の緩和、狭く離合しにくい道の拡張。（日吉津下口・男性 30 代）
- ・日吉津に移住して数年経ちますが、基本的に快適に生活できています。唯一、水道水の臭いが気になります。個人的なことですみません。（自治会不明・男性 30 代）
- ・大きな遊具のある公園を作してほしい（児童館の館庭とは別に）。（日吉津下口・女性 30 代）
- ・下水道代が高いです。（今吉・女性 30 代）
- ・日吉津村から皆生温泉方面（通り抜けて米子市中心部）へと向かう交通は多いですが、国道 431 号（及び皆生大橋）1 本しかルートがないこと。また国道 431 号へと至るための村道出入り口を大型商業施設がふさいでいることで、利便性が損なわれていると感じます。（今吉・女性 30 代）
- ・日野川右岸堤線から温泉線の区間に、普通自転車通行可の歩道を整備。農業用水 P F A S（有機フッ素化合物）等の水質検査。朝の通勤・通学の時間帯のバス路線の運行を要望。陶板タイルのはがれ落ちた波返し（防波堤）の美化。（海川・男性 40 代）

- ・自動車での移動には道路等の整備でよいが、高齢化していく中、公共交通機関での移動…となると、JRまでも遠く、バスも路線が限られている…。運転免許証を持ち、自分が運転しての移動が難しくなったら、ここは大変だと思っています。（日吉津下口・女性 40 代）
- ・スーパー付近の道路整備をしてほしい。←道路が狭く、事故が多発しそう。（今吉・女性 40 代）
- ・公共交通機関の充実。特に鉄路へのアクセスを充実させるため、JRのもより駅である伯耆大山駅へのアクセスの充実を図る施策を。（日吉津上 1・男性 50 代）
- ・最近、学生のような若い方が日吉津村のメイン道路を歩いて、どこかに向かう姿が見られます。夕方以降も歩いている姿があります。自動車を運転していると危なく思うことがあります。だんだんバスみたいに定期バスを走らせたり、多方面から目的地まで送迎して集客すれば、活性化になると思います。（日吉津上 2・男性 50 代）
- ・大型店舗が次々にできるので、村内の交通量が増えるのでは…。道路の整備・渋滞への対応・安全性の確保などを望みます。（日吉津下口・女性 50 代）
- ・日野橋の信号（日吉津から米子に出る右折）が、朝渋滞で 1 台しか進めないときがよくあります。矢印が出る信号か時差式信号に変えてもらえたらすごく助かります。（日吉津下口・女性 50 代）
- ・除雪が遅い。15cm 積もらないと除雪しないのはおかしい。10 cm 積もれば除雪すべきでは？前村長のときのほうが除雪もきれいにされていたように思う。小さい村なので、除雪はすぐにしてほしい。困ります。（今吉・女性 50 代）
- ・村道の拡幅や維持管理が不足、降雪時の除雪が遅すぎる。耕作放棄地が多い。行政が問題を放置している。ホームセンターの出店にあたって、周辺の道路整備しかしてないため、渋滞や事故が多発する恐れがある。（今吉・男性 60 代）
- ・皆生大橋よりも海岸線側にもう 1 本橋があると、便利だろうなと思います。（日吉津下口・女性 60 代）
- ・下水道の耐震化をドンドン進めてほしい。トイレの問題です（地震時のトイレの問題）。一番の重要な問題と思っています。上水道、食物は何とかなると思います。（日吉津下口・女性 60 代）
- ・子育て支援は、手厚いように思います。これからの高齢化に備えた支援の充実を望みます。素早い除雪対応などの生活環境整備、車を持たない人の交通手段確保等、暮らしやすいと思える村であってほしいです。（海川・女性 60 代）
- ・環境・インフラの整備・これからのメンテナンス等、充実していただけるとよいです（埼玉のようなでき事が起きないとは限らず）。（富吉・男性 70 代）
- ・9 号線の日野橋の右折する時➡（右折矢印）のついた信号機があるといいと思っています。（富吉・女性 70 代）

【4】時代に即した快適で便利な環境整備について

- ・アンケートを紙でやらない。少なくとも 50 代以下はみんなスマホ持っているので、Google フォームでも使ったら？年寄りが心配なら 60 歳以上は紙でもいいけど…。業者にたのんで作るほど金かけなくてもいいような…。フォームで回答した人にひえづ商品券でも配れば、みんなやると思いますよ。デジタル化っていつているけど、コロナ前と何も変わってないよ。（富吉・女性 20 代）
- ・もっとインターネットを活用した政策が増えるといいと思う。（富吉・女性 20 代）
- ・SNS の規制。（富吉・男性 30 代）
- ・今回のアンケートなど、DX 化を進めてもらえたらありがたいです。スマートフォンの普及率を考えても、以下の方法も簡単にできると思います。はがきに QR コードをつけ、フォームでアンケート回答。フォーム入力なので自動集計が可能。考察や分析は AI でたたき台を作成。あとは人間がまとめる。小さなところからデジタル化を望みます。紙に記入して封筒に入れ、ポストに入れる作業が手間と感じ、書かせてもらいました。（海川・男性 40 代）
- ・QR コードからの回答もできるようにすると、回収率が上がると思います。郵便代も上がった昨今、経費をおさえ、効果が変わらない方法になるとよいです。（富吉・女性 50 代）

【5】環境に優しい暮らしの推進について

- ・製紙工場の騒音・悪臭などの公害対策、近隣への防音工事・空気清浄機の優遇措置又は支援。（日吉津下口・男性 30 代）
- ・ゴミの不法投棄の厳罰化と監視。（富吉・男性 30 代）

【6】安心安全なむらづくりの推進について

- ・様々な商店ができ利便性は高まったが、治安の悪化（特にスーパー周辺）や、交通量の増加による交通事故の増加（商業施設や養光院からビックツールまでの間）に懸念があるので、そこが解消されなければ「行くのはよいけど、住みたくはない日吉津村」になってしまうと思う。今後更に期待しています。（日吉津上 2・男性 30 代）
- ・店や商業施設があって、大変助かっています。しかし、店がたくさんできることで、治安が悪くならないか、心配にもなります。子どもたちがよく歩いているので、いつも何事もないようにと思っはいますが…。その不安を取り除いてほしいです。（日吉津上 2・女性 30 代）
- ・困ったときに相談ができて、自然災害や避難所の分かりやすい表の紙を配ったり、皆が暮らしやすくできたらよいな。（日吉津下口・女性 30 代）
- ・商業施設が増えて、便利さは増えましたが、交通量も増えることから、安全性も考慮していただくと嬉しいです。（今吉・女性 30 代）
- ・商業施設が増え、益々人の出入りが激しくなることが予想される。自治会に入らない人も多いだろう。国籍等で区切るわけではないが、地域の安全安心な暮らしを守るためには、そこに住む全ての人が自治のルールやマナーを守り、住む地域の文化を大切にしなければならない。多様性だの何だの言って、それを守らない人が入ってこられると本当に困る。（今吉・女性 30 代）

- ・今吉の日野川に近い集落は街灯が少なすぎます。夜は真っ暗で子どもを一人で帰らせるには怖いし、危険です。街灯を増やすことはできないのでしょうか。（今吉・男性 40 代）
- ・街路灯が無い暗い道路があり、防犯や交通安全の観点から整備してほしい。（日吉津下口・女性 40 代）
- ・災害対策は自治会まかせでなく、行政主導のもとに行うことが大切です。（海川・男性 60 代）
- ・村内の街灯を増やしてください。夜はとても暗いです。防犯カメラを増やして交通や子ども・犯罪の予防をしてください。（日吉津上 1・男性 70 代）
- ・5 号線に防犯灯を設置してほしい。（今吉・男性 70 代）
- ・大型店舗等、進出により交通事故、自然環境に不安。（今吉・男性 70 代）
- ・安心・安全がいちばん大切だと思います。自転車（特に中学生の通学）が、安全に通れるよう願っています。（富吉・女性 70 代）
- ・最近、地震・台風・火災（海・川が近くにあるため）が他県でも多いので、きちっとした避難場所も知りたい。皆に聞いても、どこがよいか理解していない（ショッピングセンター？、学校？）。どこがいいだろうという声が多い。（富吉・女性 70 代）
- ・431 方面に向かう車が家の前に連なり、毎日、出入りに危険を感じています。（日吉津上 1・男性 80 歳以上）
- ・沢山商店ができましたが、交通の方も何か考えてくださればよいと思います。（富吉・女性 80 歳以上）

【7】健康づくりの推進について

- ・若い住民が使用できるトレーニング施設や、運動場などを充実させてほしいです。（今吉・女性 20 代）
- ・子ども用遊具と大人用の健康遊具を設置した公園を村内の南と北の 2 ヶ所または村内中央に 1 ヶ所整備。（海川・男性 40 代）
- ・誰もがランニング、ウォーキング、筋トレできる場を作してほしい。（自治会不明・男性 40 代）
- ・多くの高齢者が安心して健康に過ごせる取組をお願いします。（日吉津上 1・女性 50 代）
- ・伸び伸びとスポーツのできる安全な広場が、もっとあれば。親子・子ども同士でもスポーツを共有することで、心身の発達を向上できれば素晴らしい。（富吉・女性 60 代）

【8】ともに支え合う福祉の充実について

- ・子育て支援は十分充実していると思います。今後は、高齢者に対する支援にも力を入れてほしいです。福祉や教育の分野とも協力し、若い世代が近所の高齢者と気軽に交流できる機会があるとよいと思います。（日吉津上 1・女性 20 代）
- ・障がいのある子どもの交流の場があって、知ってもらえる集まりがあると安心できます。（日吉津下口・女性 30 代）
- ・ホームヘルパーのような家事代行サービス等の施設。（富吉・男性 40 代）
- ・家族にひきこもりがいる。今、現在の生活に不安はないが、将来に不安を感じている。人手不足で困っている企業とひきこもりをつなぐ就労相談窓口や、健康相談窓口などがあるとよいと思う。また、ひきこもりにならないための不登校対策もしてほしい。（日吉津上 1・女性 40 代）

- ・悩みを抱えている人、生活に困っている人への支援。（日吉津上 2・女性 40 代）
- ・子育て支援だけではなく、高齢者へのやさしさを前面に出してほしい。（海川・男性 60 代）
- ・高齢者にとっても住みやすい町づくりを考えてほしい。（自治会不明・男性 60 代）
- ・サンライズひえづの施設の早い再開を願っていますので、村としても後押ししてほしい。（今吉・男性 70 代）
- ・高齢者の方、障がい者の方等、日常生活に不安を抱え、例えば買い物・ゴミ出し・通院等、ちょっと助けてほしい方に対して、何かよい方法を考慮していただけたらと思います。日吉津村で安心して過ごしたいための私の思いです。（今吉・女性 70 代）
- ・買い物難民になって困っています。（日吉津上 1・男性 80 歳以上）

【9】持続可能な農業と商工観光の振興について

- ・コンパクトながらも、利便性と自然が共存するユニークな環境を持っている日吉津村。これを打ち出すために、SNS と YouTube を活用したデジタルな PR を発信していくと、よりよいストーリー性を持たせた発信が効果的かと思われます。（日吉津下口・男性 30 代）
- ・店が増えて、日吉津村内で全て片付くことができるので嬉しいです。（日吉津下口・女性 30 代）
- ・日吉津の活性化のため、海浜公園は無料で使用できるようにし、子ども連れで遊べる遊具や広場を作ることで人が集まると思う。うなばら荘も飲食店やカフェなど複合施設を入れて、様々な世代が集まれるように利用できるとよいと思う。（海川・女性 30 代）
- ・海浜公園にしっかりとしたアスレチック遊具を設置する。海水浴ができるようにする。（今吉・女性 40 代）
- ・リップちゃんのグッズを作って、ヴィレステやショッピングセンターで販売する。（今吉・女性 40 代）
- ・海岸を整備・海水浴場になれば、公園が活性化され、店舗などが集まって人々の流れとなり、移住促進となるのでは？（今吉・男性 50 代）
- ・農業問題→農地の集約化。（日吉津下口・男性 60 代）

【10】移住定住の促進について

- ・日吉津で生まれ育った若い子が、将来的にまた地元で結婚・子育て・永住したいと思える村になるといいです。（日吉津下口・男性 30 代）
- ・ショッピングセンターに子ども連れなどの家族が訪れるため、子どもが過ごせる場所を増やすと移住しやすくなると思う。（海川・女性 30 代）
- ・日吉津村の良さを多くの人に知っていただき、住みたい村に！マンションを建築してもらって、県外に出ている若い人たちが帰って来て、子育てしやすい村になるといいと思う。賃貸物件だと定住につながらないので、分譲マンションなら村に定住する人も増えて人口増につながるのではないのでしょうか。（日吉津上 1・女性 50 代）
- ・税金が日吉津村は安いと聞いてきたがそうではなかったし、他の地域では支援があるのに日吉津村は無かったりする。日吉津村に住みたいと相談受けた知人がいたが、空き家が無く、中古物件も高い。9 号線、431 号線側はにぎやかだが、村の中に入ると静かで少し暗いイメージがある。（自治会不明・女性 60 代）

- ・上口一区では高齢化が進み、空室が出始めている状態です。30代後半、40代と未婚者がいるのも現実です。子育て支援もよいのですが、未婚者の応援もしてほしいです。エントリーがあるのは知っていますが、詳しいことは分かりません。もう少し詳しくチラシ等の配布も検討してほしいです。（日吉津上1・男性70代）
- ・独身の若者、若者といえなくなった年齢層が増えることに危機感を覚える。独身者同士の交流の場・出会いの場があればよいと思う。気軽に参加できる機会を何度でも企画してほしい。（富吉・女性70代）

【11】協働のむらづくりの推進について

- ・ボランティアなど、村の行事に参加しやすいものを増やしてほしい。（日吉津下口・女性19歳以下）
- ・24hのジム、手洗い洗車場などの小さなニーズは、村民の会員制でつくれば、同じ趣味の中で顔の見える安心・安全・気楽な関係を築くことができるのではないのでしょうか。村長や、役場が抱えている悩みや現状を村民に伝えることで、村民との距離感・信頼感を得られるのではないのでしょうか。（海川・男性20代）
- ・自治体任せが多い気がします。現在は、共働きの世代が多いと思いますが、自治会の婦人会の強制加入、又、自治会の行事での婦人会のメンバーが料理の準備をしたりする中、男性は酒を飲んだりしている。古い慣習だと思いますので、廃止をしてほしいです。共働き世代に合わない自治会活動が多いと思います。（日吉津上1・男性30代）
- ・自治会の婦人部は解散でいいのでは？今の時代と合っていないです。昔と今は違います。（日吉津上2・男性30代）
- ・平成の大合併のときは、多くの村民に単独存続をした責任とともに、自分達がやらなければという熱量があったと聞く。今一度、村民をまきこみ、熱量を高めることが必要ではないか。他の成功事例を真似ても、日吉津では成功しない。村民とともに、“日吉津の生き方”を見つめなおす機会があってもいいのではないかと思います。（日吉津下口・男性30代）
- ・子育てに関しては満足しているが、子育てしている親がしなければいけないPTA・自治会役員・子ども会・女性部…たくさんの役が回ってきます。特に女性部（婦人部）と呼ばれるものがあり、男女平等といいながら女性の負担が多い。自治会で話題にあげても、村として活動が必要なこともあり、廃止することができないのが現状です。働く母親の負担が少なくできる村になれば、他の村活動にも参加できる時間が増やせるのではないかと思います。フルタイムで働きながら、自治会・子どもの迎え・習い事・スポ少役員・PTA・女性部そして家事をすることがどんなに大変なことか、想像してみてください。まずは女性だから女性がする女性部廃止を検討してください。（日吉津上1・女性30代）
- ・皆が地域同士協力しあえる村にしてほしいです。（日吉津上1・女性30代）
- ・若い共働き、子育て世代に自治会やその他の活動は負担でしかない。協力金を払うだけの会員制度を作るなど、時代にあった仕組みが必要と思う。行政管轄ではないが、PTAや子ども会などにも unnecessaryな活動や強制参加があり、見直しが必要と思う。（日吉津下口・男性40代）

- ・活気のある自治会から学ぶ自治会間交流の促進（自治会格差の是正）。（海川・男性 40 代）
- ・日吉津村のワクにとらわれず、他市町と協働して事業を行ってほしい。（日吉津上 1・女性 40 代）
- ・昔ながらの事業が残っていることの良さもあるが、今の時代、女性部・婦人部などのネーミングが残っていることにすごく違和感を覚えます。時代の感覚を更新してほしいです。（日吉津上 1・女性 40 代）
- ・高齢化の中で、地域の助け合いができる環境が大事だと思います。どこに一人暮らしの方がいるか近所で把握したり、気楽に声をかけ合える環境をつくるために、年代問わず交流できる場などがあるとよいのではと思います。（日吉津下口・女性 40 代）
- ・私自身、日吉津村の行政を深く知っているわけではありませんが、村民のコミュニケーションの場が増えたらよいと思います。（日吉津上 1・男性 50 代）
- ・近隣の方に日頃から声掛け、コミュニケーションを取りながら、災害・防災などにも地域一体となった協力体制が取れている村だと、住民に肌で感じてもらえる推進を行っていくことが大切だと思います。（今吉・男性 50 代）
- ・小さな村だからこそ、たくさんの行事でつながれる機会を大切にしたいです。（日吉津上 1・女性 50 代）
- ・上二自治会では、老人クラブが休止中か？婦人部もどうなるのか分からない状態です。楽な方向に向かっていくと近い将来、何のつながりもなくなり、自治会人数（世帯）も増えていくのか不安です。行政から各自治会へ来られていますが、どうなのでしょう…。（日吉津上 2・女性 50 代）
- ・自治会に入らずとも静かに暮らしたい。ゴミさえ出せば満足です。（今吉・女性 50 代）
- ・村から各自治会への依頼事（ex. みどりの羽根、赤十字等々）、集金業務等が多すぎるため、班長等になったときの負担が多くて困る。老老介護のこともあり、また自身の体調等も悪くて班長が回ってきたときに非常に困る。特に体育会等の当番などが困る。古い習慣が続いており、それを続けるのも負担である。村からの業務委託をもっと少なくすべきだ。（日吉津上 2・男性 60 代）
- ・自治会や村主体で、まずは隣近所と交友を深められるような行事等を企画立案し、実施していただきたい。現在は隣近所との交友が希薄になっていると感じるため。そこが村全体の暮らしの快適な生活のスタートだと思います。（今吉・男性 60 代）
- ・村民が村づくりに参画しようとするしかけづくり（できることから実地：例えばながらゴミひろい・子どもと遊ぶことが好きウォーキング・料理・草取り・体を動かすなど自分の得意分野を活かす）。（日吉津下口・女性 60 代）
- ・日吉津は立地条件も良くて、いいなと思っていますが、私自身歳をとってくると、行事に参加するのも億劫になってきました。行事に伴い、慰労会の準備をされるご婦人の方々が一番大変だと思います。（日吉津上 2・男性 70 代）
- ・あいさつ運動を推進してほしい。（日吉津下口・男性 70 代）
- ・若い人が積極的にイベント等を起こし、活動しているのはお互いのコミュニティーにとってもよいと思います。（今吉・女性 80 歳以上）

【12】その他

- ・役場での対応の態度が、「ん？」と思うことがあったので、気をつけてもらいたいです。
（富吉・女性 20 代）
- ・①持続可能な財源確保。②産業育成。③都市計画の再整理。→このままだと、パンクの可能性。ハイリスク。（海川・男性 30 代）
- ・日吉津村としての価値を高めていき、周囲に負けないような地域にしていけたらと思います。よい意味で、差別化が必要だと思います。（今吉・男性 30 代）
- ・各種補助金や助成は手厚いため、とてもありがたいです。今後も様々な助成があると喜びます。（海川・女性 30 代）
- ・海浜公園のテニスコートの有効利用。フットサルコートに変更。（日吉津下口・男性 40 代）
- ・役場職員さんの視野を広めるため、他の行政での視察、研修を深められたらよいと思います。ぜひ、お願いします（ヴィレステの多様な使い方等々）。（富吉・男性 40 代）
- ・若い人たちが活躍できる場や支援をしてほしい。（日吉津上 2・女性 40 代）
- ・宅配ボックスの補助はよい取組だと思うので、こういう取組を続けてほしいです。私はアパートに住んでいるのですが、以前は広報誌が届いて、こういう情報が入っていました。今は広報誌が届かなくなり、情報は自分で探さないと入りません。それが残念です。もし可能なら、広報誌をアパートにも届けてほしいです。（富吉・女性 40 代）
- ・誰でも気軽に活用できるスペースがあるといい。うなばら荘を老人ホームや温泉を利用した（例南部町の法勝温泉のように）市民活用スペースにする。日吉津村での就職の場を増やす。（今吉・女性 40 代）
- ・全体的には村の行政はよい方向に向かっていると思います。（日吉津上 1・男性 50 代）
- ・村から町へ格上げしてほしい。（今吉・男性 50 代）
- ・海・空・川・山が身近に感じられ、その上、どこに行くのも便利な、とても魅力的な村だと思っています。（日吉津下口・女性 50 代）
- ・431 周辺の街化と昔からの村の良さ、自治会という名の役目ごとの多さ…バランス良く、過度にならず…となるとよいです。（富吉・女性 50 代）
- ・個人的な理由で長く日吉津村に居住の意志はありませんが、村長はじめ村民の行動や活動は応援しています。今後も豊かな村づくりができますよう祈っています。（今吉・女性 50 代）
- ・日吉津の施策や日吉津での暮らしに満足しているので、「特に無し」を基本に丸をしました（少し書いたものもありますが、不満というものではありません）。重要度で、やや重要を選んだのも、日吉津のよい所である近所のつきあいがあったことで、施策に頼ってばかりでもないなあと、自分の反省も含めて思ったのです。日吉津のあったかい雰囲気はみんなで作ってこられたものなんだなあと感謝しています。（今吉・女性 50 代）
- ・娘が空手をしています。全国大会に向け、米子市内の体育館等を借りて練習しています。農業トレーニングセンターを利用し、練習をしようと考えましたが、利用料金が高く、回数が多くなると負担が多く、利用できません。村民が利用するとき、もう少し安くないでしょうか？また、トレーニングセンターやヴィレステ等を利用するとき、電話ではなく、スマホでいつでも予約できるシステムを作してほしいです。（今吉・女性 50 代）

- ・村の事業を考え、実行するのは人ですから、人財育成は欠かせないと思います。優れた人財で日吉津村の未来を切り拓いていただきたい。（海川・男性 60 代）
- ・新しいものを取り入れつつも、古き良きものも残していくよう（その兼ね合いは難しいと思いますが）できれば、魅力的だと思います。人権学習、健康イベント等企画していただき頭が下がります。仕事で多忙だったり、私のように意欲が乏しかったりする者がいる中、参加を広げるのが課題では？車の免許返納後の定住を思うと、交通・医療（通院）・買い物等に不安があります（どうしたらよいか、少しずつ自分でも考えていますが…）。若い世代にも高齢世代にも、住みよい村づくりを目指すことが村の将来性につながるのではないのでしょうか。勝手なことばかり書いて申し訳ありません。日々の取組には、頭の下がる思いでいっぱいです。（日吉津上 1・女性 60 代）
- ・商業施設が増えて、治安・交通・安全面で不安感があります。道路の整備等、決定していること等があれば、具体的に発信していただきたいと思います。（富吉・女性 60 代）
- ・若い人の発想を活用、村の職員の発想（若い職員）を活用（出させる）する。（日吉津上 2・男性 70 代）
- ・【村づくりの第一歩は】職員自身が地域（村内）に足を運び、実状を知る。このような努力がなされていない。努力がなされれば、よい村になると思う。（富吉・男性 70 代）
- ・ここは、都会のように一応何でも揃っていて、住むには非常に便利である。一方、文化芸術面においては、箱物が劣っているように思う。（富吉・男性 70 代）
- ・議会常任委員会の県外視察について、一言進言致します。その成果が村政に反映されなければ、それは無意味な慰安旅行です。視察報告には、「～取り組まれていた。」とか、「検討が必要と考える。」とか、「～であると感じた。」等々とあるが、それに対する具体策がないのは、無能無策といわれても仕方ないと思われます。反論があれば、過去十年間の検証を公表してください。期待しております。視察に行く余裕があれば、そんな時間をわが村の隅から隅まで、見て回ってみては如何でしょうか。ついでに一言、役場職員さんは、接遇マナーも良く、大変感謝しております。村のために、日夜努力を続けておられる姿勢に感謝しています。有難うございます。（今吉・男性 70 代）
- ・E V 車購入の助成があってもよいと思う（国からの補助金はあるが…）。（日吉津下口・女性 70 代）
- ・このアンケートの意図は何でしょうか。どのようにこの結果を扱われるのか、ここから何を得て、どんな施策に生かされるのか、そのあたりがとても漠然としているように思います。アンケートの集計結果と分析を公表してください。行政に望むことは、何事も迅速にお願いします。（海川・女性 70 代）
- ・年 2 回程ある河川（側溝）草刈りは、内容的には役場が業者（土木）に依頼して行うべきです。我々一般住民が行う範疇ではないです。鎌で雑草刈りは無理…出られないと千円過怠金（若い人も出ない、私は年寄り）。（海川・男性 80 歳以上）
- ・いつも行政担当者の方には、お世話になり感謝いたしております。今後とも、よろしくお願い致します。（富吉・男性 80 歳以上）
- ・①常に新しい発想で行政に取り組んでいく。②守秘義務の徹底。③休耕地の雑草対策の徹底。（今吉・男性 80 歳以上）

- ・行政が役立たず、もっと村民の意見をしっかり聞き、村民と心から触れ合う姿勢が必要。
どうして、役場職員がパソコンとばかり向き合っていて、村民の方を見ないのか。（富吉・女性 80 歳以上）
- ・議員定数削減。議員報酬 5 % 減。年金生活者はどうするの？年金アップしない。今の村民は頑張っている。ただし、今の職員はだめだ。（日吉津上 2・男性、年齢不明）

日吉津村 むらづくりのための村民アンケート調査

～ ご協力をお願い ～

村民の皆様には、日頃から村政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

日吉津村では、むらづくりの方針となる令和3年度から10年間の「第7次日吉津村総合計画」に基づいて、様々なむらづくり施策を推進しています。この度、計画の中間見直しに向けた取組を進めています。

この調査は、18歳以上の村民の皆様の中から無作為に抽出した800人の方に、むらづくりに関する現状やニーズなどをお伺いし、計画づくりに向けての基礎的な資料とさせていただきますことを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7（2025）年2月

日吉津村長 中田達彦

ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人が回答してください。
- 2 回答は、各設問文にある（回答は1つ）（回答はあてはまるもの全て）などに注意して記入してください。また、該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただく設問もあります。
- 3 回答は無記名で統計的に処理します。また、本調査の目的以外に利用することはありません。

調査に関する問い合わせ先

日吉津村役場 総合政策課

〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津 872 番地 15

TEL：27-5954 FAX：27-0903

メール：sougouseisaku@vill.hiezu.lg.jp

この調査票は、**2月25日（火曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、返送してください。（切手は不要です。）

● あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたがお住まいの自治会はどちらですか。（回答は1つ）

- | | | | |
|---------|---------|---------|------|
| 1 日吉津上1 | 2 日吉津上2 | 3 日吉津下口 | 4 海川 |
| 5 富吉 | 6 今吉 | 7 樽屋 | |

※ 自治会がわからない場合は、具体的な住所（番地等は不要）をお書きください。
（日吉津村 ）

問2 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）（回答は1つ）

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 答えたくない |
|------|------|-------|----------|

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70～79歳 | 8 80歳以上 |

問4 あなたの主たる職業をお答えください。（回答は1つ）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 会社員・公務員等 | 2 自営業（農林水産業） |
| 3 自営業（商工業・その他） | 4 パート・アルバイト・派遣社員など |
| 5 学生 | 6 家事専業 |
| 7 無職 | 8 その他（ ） |

問5 あなたの通勤先又は通学先はどこですか。（回答は1つ）

- | | | | |
|--------------|----------------|--------|-------------|
| 1 日吉津村 | 2 大山町 | 3 南部町 | 4 伯耆町 |
| 5 日南町 | 6 日野町 | 7 江府町 | 8 米子市 |
| 9 境港市 | 10 松江市 | 11 安来市 | 12 その他県内の市町 |
| 13 その他県外の市町村 | 14 通勤・通学はしていない | | |

問6 あなたは、生まれたときからずっと日吉津村に住んでいますか。（回答は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1 生まれたときからずっと住んでいる |
| 2 一度出ていたが戻ってきた（Uターン） |
| 3 県内西部の市町から引っ越してきた |
| 4 県内中・東部の市町から引っ越してきた |
| 5 島根県東部から引っ越してきた |
| 6 島根県西部から引っ越してきた |
| 7 岡山県・広島県・山口県から引っ越してきた |
| 8 その他の都道府県から引っ越してきた |

● 日吉津村の住みやすさなどについてお尋ねします。

問7 あなたは、日吉津村のイメージについてどのように感じていますか。（1）から（13）までの項目について、それぞれお答えください。（回答は1つずつ）

	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
（1）交通が便利で快適な村である	1	2	3	4	5
（2）活気にあふれた村である	1	2	3	4	5
（3）きれいな村である	1	2	3	4	5
（4）災害や事故が少なく安全な村である	1	2	3	4	5
（5）緑豊かで自然に恵まれた村である	1	2	3	4	5
（6）人のあたたかみを感じられる村である	1	2	3	4	5
（7）健康的な村である	1	2	3	4	5
（8）物価が手頃で買物がしやすい村である	1	2	3	4	5
（9）地価が手頃で不動産を購入しやすい村である	1	2	3	4	5
（10）生活しやすい村である	1	2	3	4	5
（11）安心して子育てができる村である	1	2	3	4	5
（12）将来性のある村である	1	2	3	4	5
（13）村民として誇れる村である	1	2	3	4	5

問8 あなたは、日吉津村のことが好きですか。（回答は1つ）

1 とても好き	2 どちらかといえば好き
3 どちらともいえない	4 どちらかといえば好きではない
5 好きではない	

問9 あなたは、日吉津村を「住みやすい村」だと感じますか。（回答は1つ）

1 住みやすい	2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらともいえない	4 どちらかといえば住みにくい
5 住みにくい	

問 10 あなたは、これからも日吉津村に住み続けたいと思いますか。（回答は1つ）

- 1 住み続けたい → 次は問 11 へ
- 2 どちらかといえば住み続けたい → 次は問 11 へ
- 3 どちらかといえば住み続けたくない → 次は問 12 へ
- 4 住み続けたくない → 次は問 12 へ

問 11 【問 10 で「1～2」と答えた方におたずねします。】

住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 公園や緑地など自然環境がよい | 2 通勤や通学など交通の便がよい |
| 3 働く場所がある | 4 消防・防災・防犯体制が整っている |
| 5 子育て・教育環境が整っている | 6 保健・医療・福祉サービスが整っている |
| 7 価格や広さなど住宅事情がよい | 8 買物など日常生活が便利 |
| 9 行政サービスが充実している | 10 近所付き合いがしやすい |
| 11 村のイメージがよい | 12 文化・スポーツ環境が整っている |
| 13 歴史・伝統・文化資源が充実している | 14 活力ある産業が多い |
| 15 上下水道などの生活環境が整っている | 16 光ファイバーやWi-Fi など情報通信網 |
| 17 地域の連帯感が充実している | が整っている |
| 18 その他（ | 19 特にな |



次は問 13 へお進みください

問 12 【問 10 で「3～4」と答えた方におたずねします。】

住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 公園や緑地など自然環境がよくない | 2 通勤や通学など交通の便がよくない |
| 3 働く場所がない | 4 消防・防災・防犯体制が整っていない |
| 5 子育て・教育環境が整っていない | 6 保健・医療・福祉サービスが整っていない |
| 7 価格や広さなど住宅事情がよくない | 8 買物など日常生活が不便 |
| 9 行政サービスが不足している | 10 近所付き合いがしにくい |
| 11 村のイメージがよくない | 12 文化・スポーツ環境が整っていない |
| 13 歴史・伝統・文化資源が充実していない | 14 活力ある産業が少ない |
| 15 上下水道などの生活環境が整っていない | 16 光ファイバーやWi-Fi など情報通信網 |
| 17 地域の連帯感が乏しい | が整っていない |
| 18 税金や公共施設等の使用料金が高い | 19 その他（ |
| 20 特にな | |

● これからのむらづくりについてお尋ねします。

「第7次日吉津村総合計画（令和3年度～令和12年度）では、7つの施策分野に基づいてむらづくりを進めています。それぞれの施策に関する質問について、ご意見をお聞かせください。

施策1 誰もが学び誇れるむらづくり

問13 「村民一人ひとりがお互いを認め尊重し合う、人権尊重のむらづくり」を実現するために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 学校や地域社会において、人権教育に関する学びの場を充実する
- 2 地域における人権に関する出前講座、研修を充実する
- 3 村全体の講演・イベントによる啓発活動を充実する
- 4 様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する
- 5 啓発看板や垂れ幕、ポスターの掲示及びパネル展を充実する
- 6 その他（)
- 7 特にない

施策2 子どもが生き生き育つむらづくり

問14 子育てしやすい村にするために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 働きながら子育てできる環境づくりを推進する
- 2 子どもへの接し方や育児方法について学べる機会を充実する
- 3 出産、子育てに関する情報や気軽に相談できる場所を充実する
- 4 小児医療体制を充実する
- 5 子連れでも利用しやすい道路や建物、施設などを整備する
- 6 安全、安心な子どもの遊び場（屋内遊技場など）を充実する
- 7 子どもが自然とふれあう場や機会を充実する
- 8 同じ世代の保護者と子どもが一緒に集える場を増やす
- 9 男女が共に子育てに参加できる環境づくりを推進する
- 10 地域住民同士で子育てを助け合う仕組みづくりを推進する
- 11 気軽に参加できる子育てサークルを増やす
- 12 妊娠、出産、子育てに関する経済的支援を充実する
- 13 その他（)
- 14 特にない

問 15 質の高い教育環境をつくるために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する
- 2 児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす
- 3 デジタル化を効果的に活用した教育環境を整備する
- 4 インターネットやスマートフォンの正しい取り扱いなど情報モラル教育を充実する
- 5 国際化を視野に入れた外国語教育を充実する
- 6 体験学習を通じた地域の人との交流など開かれた学校づくりを推進する
- 7 教員が、児童・生徒一人一人に向き合うために業務を改善する
- 8 家庭、地域、学校等関係機関が連携し、地域における教育力の向上を推進する
- 9 子ども同士のつながりを深めるため、学年を越えた交流を促進する
- 10 不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る
- 11 通学路等における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実を図る
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

施策3 暮らしやすいむらづくり

問 16 あなたは、二酸化炭素の排出抑制を進めるために、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 家庭用太陽光発電システムの導入促進
- 2 家庭用蓄電池の導入促進
- 3 電気自動車の導入促進
- 4 ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車の導入促進
- 5 環境教育の推進
- 6 その他（ ）
- 7 特にない

施策4 安心安全なむらづくり

問 17 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など村民への情報提供を充実する
- 2 住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度を充実する
- 3 食料や飲料水、医薬品などの備蓄、整備を充実する
- 4 災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する
- 5 避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る
- 6 災害時の近隣市町や県との広域連携を推進する
- 7 職場や地域における避難訓練、防災研修会を実施する
- 8 災害時避難行動要支援者など災害弱者への対策を強化する
- 9 道路の拡幅や区画整理等により、災害に強いむらづくりを推進する
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

施策5 元気に暮らすむらづくり

問 18 村民の健康づくりを推進するために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 健康診断や各種検診の受診意識の向上を図り、受診しやすい環境整備を図る
- 2 健康に関する相談体制を整備する
- 3 健康づくりや介護予防に関する啓発や情報提供を充実する
- 4 健康イベントや講演会を実施する
- 5 栄養、食生活の改善や食育の推進を図る
- 6 心の健康（メンタルヘルス）に関する対策や情報提供を充実する
- 7 母子の健康対策を充実する
- 8 地域での健康づくり活動の支援を充実する
- 9 予防接種や感染症対策を推進する
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

問 19 地域福祉を推進するために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 困りごとをワンストップで気軽に相談できる身近な相談窓口を充実する
- 2 隣、近所同士で助け合う体制づくりを促進する
- 3 地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材を育成する
- 4 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
- 5 地域での福祉の活動費や運営費など資金面の援助を行う
- 6 困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する
- 7 困りごとを抱えた人に気づき、早期支援につなぐ仕組みをつくる
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

施策6 活力あるむらづくり

問 20 日吉津村への移住支援や定住促進を進めるために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 マイホームの購入や新築時の支援
- 2 結婚の支援（婚活支援）
- 3 出産・子育ての支援
- 4 三世帯同居や近居のための支援
- 5 若者世代が日吉津村へUターンする場合や就労、居住を希望するときの支援
- 6 移住相談窓口の充実
- 7 暮らしの情報、日吉津村の魅力などの情報の発信
- 8 空き家の活用促進
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

施策7 ともに築くむらづくり

問 21 様々な主体が積極的にむらづくりに参画・協働していくために、今後、日吉津村ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 参画と協働を促すための幅広い世代への啓発
- 2 地域の課題を話し合える場
- 3 「向こう三軒両隣」の顔の見えるつながりをつくる
- 4 自治会の活動や地域コミュニティ活動、ボランティア活動、NPOの情報発信
- 5 参画と協働を推進するための研修会の開催
- 6 村民がテーマを提案できる協働事業の推進
- 7 地域をつなぎ、相談を受けるなどの支援
- 8 協働で取り組む事業への財政的な支援
- 9 誰もが気軽に参加できる地域イベントの開催
- 10 その他（ ）
- 11 特になし

問 22 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は1つ）

幸せではない ←————→ とても幸せ										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

● むらづくりの満足度と重要度についておたずねします。

問 23 日吉津村の各施策についてお尋ねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。

(回答はそれぞれ1つずつ)

項 目	評 価	満足度					重要度				
		満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【施策1】誰もが学び誇れるむらづくり											
(1) 人権尊重社会の実現	お互いを認め尊重し合う、人権尊重のむらづくり、人権教育・研修の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 生涯学習の推進	家庭、地域、学校の連携（GUTS 日吉津っ子の育成）の推進、ヴィレステひえづにおける学びの場の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 文化・芸術の振興	日吉津村の歴史や文化についての理解の促進、芸術に親しむ機会の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【施策2】子どもが生き生き育つむらづくり											
(1) 子育て支援の充実	妊娠から子育てまで切れ目のない支援、子育て環境の整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 学校教育の充実	質の高い教育環境の実現、地域と共にある学校教育の実践など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【施策3】暮らしやすいむらづくり											
(1) 快適な生活環境の整備	道路施設や通学路、下水道の適正な維持、管理、安心・安全な公園施設の維持、管理など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 時代に即した快適で便利な環境整備	デジタルを活用した行政手続きのオンライン化、暮らしにおけるデジタル化の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 環境にやさしい暮らしの推進	ごみ減量化や不法投棄の防止、二酸化炭素の排出抑制、公害防止対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【施策4】安心安全なむらづくり											
(1) 安心安全なむらづくりの推進	災害に強い組織づくり、災害時の村民の協力体制の確立、防犯対策や交通安全対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	評 価	満足度					重要度				
		満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【施策5】元気に暮らすむらづくり											
(1) 健康づくりの推進	保健・介護・医療の一体的な取組の推進、村民の健康寿命の延伸、地域の健康づくり活動への支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) ともに支え合う福祉の充実	相談窓口の充実、地域で支え合う意識の醸成、悩みを抱える人の早期発見・対応など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【施策6】活力あるむらづくり											
(1) 持続可能な農業と商工観光の振興	意欲的に農業に取り組める環境づくり、中小企業者の経営支援、観光資源の魅力向上、PRなど	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 移住定住の促進	仕事・住まい・結婚を総合的にサポートし、U・J・Iターン※及び移住定住の促進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【施策7】ともに築くむらづくり											
(1) 協働のむらづくりの推進	村民と行政の協働によるむらづくりの推進、自治会やコミュニティ活動の活性化など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※ Uターンは、地元から他都市へ移住した人が、再び生まれ故郷に戻ることに。
Jターンは、地元から他都市へ移住した人が、生まれ故郷の近くの都市に戻り定住することに。
Iターンは、出身地とは別の地方に移り住むことに。

問 24 あなたが将来に向けて日吉津村の行政に望むことや、むらづくりに関するご意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

～ ご協力ありがとうございました ～

日吉津村 むらづくりのための村民アンケート調査
報告書

発 行／令和 7（2025）年 3 月
発 行 者／日吉津村役場 総合政策課
〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津 872 番地 15
電 話 （0859）27-5954
FAX （0859）27-0903
メール sougouseisaku@vill.hiezu.lg.jp
